



2025 年度

商学部シラバス 1（履修の手引）

School of Commerce Syllabus I

明 治 大 学

Meiji University

2025年度

商学部シラバス 1（履修の手引）

明 治 大 学

目 次

商学部ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー	4
商学部生の皆さんへ	5
2025年度 学年暦	6
2025年度 時間割	7

I 履修方法

1. 1年生用	9
2. 2年生用	28
3. 3・4年生用	43
4. Web履修登録要領	53
5. 学部共通科目紹介	67
6. 「Oh-o! Meijiシステム」の活用について	68

II 授業科目及び担当者

1. 2023年度以降入学者授業科目及び担当者一覧表	71
2. 2022年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表	87
3. 科目名対照表（2021年度以前入学者用）	102
4. 必修科目担当予定者一覧表	103
5. 語学について（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、CLASP）	112

III 特色のある授業・学部間協定留学

1. 特別テーマ実践科目	123
2. 特別テーマ研究科目	125
3. 特別テーマ海外研修科目	127
4. 英語で行う科目	128
5. 商学部協定校への留学	129

IV 商学部カリキュラムマップ（2023年度以降入学者向け）	131
--------------------------------	-----

商学部 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

＜目指すべき人材像＞

商学部は、「権利自由」・「独立自治」の明治大学建学の精神及び「学理実際兼ね通ずる人材の養成」という学部創設以来の基本的教育理念を継承しています。この教育理念のもとで、商学の専門と教養の「知の融合」を通じて、学生の内面に新たな価値観、人間観及び世界観を「創生」することにより、現代社会を理解する知識、課題解決のための思考力を身につけ、他者と積極的に関わり、正義を実現する社会において活躍できる有為な人材、具体的には、新たな時代を担って世界で広く活躍できる人間の育成を目指しています。

＜そのための具体的到達目標＞

商学部の具体的到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位（126単位）*を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士（商学）を授与します。

- （1）商学の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる
- （2）外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける
- （3）商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する
- （4）「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する
- （5）自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

※126単位は2023年度入学者から適用。

商学部 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

＜教育課程の理念＞

商学部は、商学の専門知識と深い教養とを兼ね備え、商学の最先端分野の理論的・実証的研究の成果を習得できるように、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などによって、体系的段階的な教育課程を編成しています。

＜教育課程の構成＞

セメスター制度のもと、1・2年次は、必修科目である基礎教育科目と外国語科目、保健体育科目を中心に構成されていますが、そのほかにも「商業総論」などの基本科目や「社会学」などの総合教育科目を学ぶことができます。

基礎教育科目は、商学部での学びをより充実させるために必要な技能や知識の習得のために設置され、「基礎演習」「文章表現」「経済学」から成り、これは初年次導入教育の役割を担っています。

3・4年次は、7つの専門コースが設定している基幹科目を中心に構成されます。また、2年次から4年次まで、商学の専門知識と深い教養を修得できるように、「総合学際演習」と「商学専門演習」を同時に履修できます。

＜教育課程の特長＞

- （1）少人数教育、体系的段階的履修、初年次導入教育などの原則のもと、「アプライド・エコノミクス」「マーケティング」「ファイナンス&インシュアランス」「グローバル・ビジネス」「マネジメント」「アカウンティング」「クリエイティブ・ビジネス」からなる7コース制を採用しています。
- （2）各コースは、それぞれの教育目標に応じて専門分野を学ぶため、基幹科目を設定しています。
- （3）応用展開科目を含め、自由に履修できる選択科目も開設し、その中には「特別テーマ実践科目」「特別テーマ研究科目」「特別テーマ海外研修科目」があります。「特別テーマ実践科目」は、社会連携活動を通して、社会から見え、社会が見える学生の育成を目指しています。「特別テーマ研究科目」は、商学に関する最先端の研究を学生に紹介し、「特別テーマ海外研修科目」では、海外協定校などで専門分野に関わる事柄を学ぶことができます。
- （4）世界で広く活躍できる人材に必要な外国語の修得にも力を入れ、多言語4年間一貫教育を実施し、一部の科目において英語による授業も行っています。
- （5）アクティブラーニング科目として、ビジネスの現場で企業が直面する課題に向き合い、少人数のチームで問題解決策を立案する「ビジネス・インサイト」を開講するとともに、演習科目等を配置しています。

商学部生の皆さんへ

商学部長

高浜 光信

このシラバスは、皆さんが履修科目を計画的に選択し、充実した大学生活を送るための指針となるものです。シラバスに記載された各科目の詳細を参照し、皆さんの学習目標の設定にぜひ積極的に活用してください。

明治大学は、「権利自由」「独立自治」という建学の精神を礎に、時代の変化に対応しながら多様な学問領域を探究し、社会に貢献する人材を育成してきました。大学生活は、自主的に学び、成長する貴重な時間であると同時に、多様な価値観や背景を持つ人々と出会い、他者への理解を深める機会でもあります。本学部では、建学の精神に則り、人権を尊重し、多様性を受け入れる姿勢を大切にしています。他者の立場や背景を尊重し、相互理解を深めることが、これからの社会を生き抜く力となります。大学で得た知識や経験を通じて、自らの価値観を問い直し、社会全体の持続可能な発展に貢献する人材へと成長してください。そのためにも、すべての学生が安心して学べる環境を堅持することが不可欠です。特に、下記の2点について注意してください。

1. 本学では、いかなる形のハラスメントも許されないという姿勢を徹底しています。ハラスメントとは、性別や年齢、国籍、宗教、障がいの有無、性的指向などに基づく不当な差別や嫌がらせを指します。そのような行為は、相手の尊厳を傷つけるだけでなく、学びの場全体を損なう重大な問題です。一人ひとりが自らの言動に責任を持ち、他者への配慮と思いやりを持った行動を心がけてください。万が一、困ったことがあれば、学内の相談窓口お気軽にご相談ください。
2. また、薬物乱用や不適切なSNS利用の問題は、社会全体で大きな課題となっています。薬物は一時的な誘惑や好奇心で手を出すことで、心身の健康を害するだけでなく、家族や友人との信頼を失い、未来の可能性を閉ざしてしまう非常に危険なものです。絶対に手を出さず、周囲にその兆候がある場合は速やかに信頼できる人や専門窓口にご相談してください。SNSやインターネットの利用についても、慎重さが求められます。発信した内容が予期せぬ形で拡散し、他者を傷つけたり、自分自身の評判を損なったりする危険性があります。何気ない一言や画像が、重大なトラブルにつながることもあります。情報発信の際には、相手の立場や感情を考慮し、責任を持った行動を心がけてください。同時に、不適切な書き込みや誹謗中傷を見かけた場合には、それに加担せず、正しい対応を取るようにしてください。

大学生活は、自由と責任のバランスを学ぶ場でもあります。専門的な知識を深めるとともに、他者との協調や社会への責任を意識しながら行動することが、より良い未来を築く鍵となります。このシラバスを活用して慎重に学習計画を立て、学問やさまざまな経験を通じて大きく成長してください。皆さんが安心して学び、多くの挑戦を経て、それぞれの夢や目標を実現されることを心より応援しています。

明治大学2025年度学年暦

春 学 期		4 月 1 日 (火) ~ 9 月 1 9 日 (金)
入 学 式		4 月 7 日 (月)
学 習 指 導		4 月 1 日 (火) ~ 4 月 9 日 (水)
授 業 期 間		4 月 1 0 日 (木) ~ 7 月 2 2 日 (火)
	前半集中開講科目 (S 1) ※	4 月 1 0 日 (木) ~ 6 月 3 日 (火)
	後半集中開講科目 (S 2) ※	6 月 4 日 (水) ~ 7 月 2 2 日 (火)
臨時休業 (休講) 日		5 月 1 日 (木) ・ 5 月 2 日 (金)
休日授業実施日①		4 月 2 9 日 (火) [昭 和 の 日]
休日授業実施日②		7 月 2 1 日 (月) [海 の 日]
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	5 月 2 4 日 (土) ・ 5 月 3 1 日 (土)
補 講 日 ②	※土曜日の通常時限を利用	7 月 1 2 日 (土) ・ 7 月 1 9 日 (土)
定 期 試 験	※予備日を含む	7 月 2 3 日 (水) ~ 7 月 3 1 日 (木)
夏 季 休 業		8 月 1 日 (金) ~ 9 月 1 9 日 (金)
秋 季 卒 業 式		9 月 1 9 日 (金)
秋 学 期		9 月 2 0 日 (土) ~ 3 月 3 1 日 (火)
秋 季 入 学 式		9 月 1 9 日 (金)
学 習 指 導		9 月 1 8 日 (木)
授 業 期 間		9 月 2 0 日 (土) ~ 1 月 2 3 日 (金)
	前半集中開講科目 (F 1) ※	9 月 2 0 日 (土) ~ 1 1 月 1 4 日 (金)
	後半集中開講科目 (F 2) ※	1 1 月 1 5 日 (土) ~ 1 月 2 3 日 (金)
休日授業実施日①		9 月 2 3 日 (火) [秋 分 の 日]
休日授業実施日②		1 0 月 1 3 日 (月) [スポーツ の 日]
休日授業実施日③		1 1 月 2 4 日 (月) [振 替 休 日]
補 講 日 ①	※土曜日の通常時限を利用	1 0 月 1 8 日 (土) ・ 1 0 月 2 5 日 (土)
補 講 日 ②	※全日補講のみ実施	1 月 2 2 日 (木)
補 講 日 ③	※全日補講のみ実施	1 月 2 3 日 (金)
大 学 祭 週 間	※当該期間中は全日休講	1 0 月 2 9 日 (水) ~ 1 1 月 4 日 (火)
明 大 祭		1 1 月 1 日 (土) ~ 1 1 月 3 日 (月)
生 明 祭		1 1 月 1 日 (土) ~ 1 1 月 3 日 (月)
創 立 記 念 祝 日		1 1 月 1 日 (土)
臨時休業 (休講) 日		1 2 月 2 3 日 (火) ・ 1 2 月 2 4 日 (水)
冬 季 休 業		1 2 月 2 5 日 (木) ~ 1 月 7 日 (水)
創 立 記 念 日		1 月 1 7 日 (土)
定 期 試 験	※予備日を含む	1 月 2 4 日 (土) ~ 2 月 3 日 (火)
春 季 休 業		2 月 4 日 (水) ~ 3 月 3 1 日 (火)
卒 業 式		3 月 2 6 日 (木)

※各学期の前半集中・後半集中開講科目の利用は、一部の授業で7週完結授業を導入する学部に限る。
 ※大学祭週間中の授業休講措置は全キャンパスに適用する。ただし、大学院、専門職大学院において大学祭週間に授業を実施する場合がある。

2025年度 時間割

1. 授業時間割（全キャンパス共通）

時限	時間帯	モジュール	時間帯	備考
Mm（モーニングモジュール）			8：00～ 8：50	原則として、学期を通しての授業は実施しない
1 時限	9：00～10：40	a	9：00～ 9：50	
		b	9：50～10：40	
2 時限	10：50～12：30	a	10：50～11：40	
		b	11：40～12：30	
Lm（ランチモジュール）			12：35～13：25	原則として、前後各5分と合わせて1時間の昼休みとする
3 時限	13：30～15：10	a	13：30～14：20	
		b	14：20～15：10	
4 時限	15：20～17：00	a	15：20～16：10	
		b	16：10～17：00	
5 時限	17：10～18：50	a	17：10～18：00	
		b	18：00～18：50	
6 時限	19：00～20：40	a	19：00～19：50	
		b	19：50～20：40	
Nm（ナイトモジュール）			20：50～21：40	原則として、学部では、学期を通しての授業は実施しない

2. 定期試験時間割（全キャンパス共通）

時限	時間帯	備考
1 時限	9：30～10：30	
2 時限	11：00～12：00	
3 時限	13：30～14：30	
4 時限	15：00～16：00	
5 時限	16：30～17：30	
6 時限	18：00～19：00	
7 時限	19：30～20：30	一部の学部でのみ使用

I 履修方法

— 1 年生用 —

1. 授業について

- (1) 授業は、4月10日（木）から開始する。
- (2) 1・2年生の授業は、和泉キャンパスで行い、3・4年生の授業は、駿河台キャンパスで行う。
- (3) 和泉キャンパスの教室配置は大学ホームページからキャンパス案内図を参照のこと。
- (4) 授業形態については、Oh-o! Meijiクラスウェブより確認すること。

2. 授業および履修等の重要事項に関する連絡について（Oh-o! Meijiからのメール転送）

- (1) 授業の休講、教室・時間割の変更、履修に関する重要事項などの学生への連絡は「Oh-o! Meijiポータルページ」にて行うので、必ず確認すること。
- (2) Oh-o! Meijiのログインページは、大学ホームページの右上の検索窓に「Oh-o! Meiji」と入力し、トップに表示される検索結果のリンク先に表示される。右記のQRコードを読み取ることもアクセスできる。
- (3) i dは「学生番号@meiji.ac.jp」、パスワードは入学手続きの際に、UCAROの本人情報で入力した8文字以上の英数字である。不備・忘失の場合は、UCAROの本人情報欄で確認すること。



重要 Oh-o! Meijiでの連絡内容は携帯端末のメールアドレスへ転送できるので、P68下部を見て、各自で必ず行うこと。

3. 【全員必須】商学部新入生アンケートへの回答について 4月5日（土）17:00まで

Oh-o! Meijiのトップ画面に表示されるアンケートのリンク（下図参照）に従い、商学部アンケートに必ず回答すること。回答が確認できない場合は、履修登録未完了として処理するため、注意すること。アンケートの回答は、スマートフォンではなく、パソコンで行うこと。



4. 仮参加機能について（要注意：正規の履修登録ではない！）

(1) 履修登録期間前は、Oh-o! Meijiの仮参加機能を使うことで、授業に参加できる。

仮参加登録の手順は、以下のとおりである。

① クラスウェブで履修を検討している科目の担当教員を検索する。

② 検索結果一覧に表示される、「出講表」ボタンをクリックする。

氏名	カナ	教員番号/ユーザID ↓	ログイン ↓	出講表
今野 史昭	コンノ フミアキ	120082	有効	出講表

③ 出講表が表示されたら、仮参加登録をする授業をクリックする。

④ 「仮参加する」ボタンをクリックする。

(2) 履修登録期間前の授業に関するお知らせ等を確認するには、仮参加の設定が必要である。

(3) 仮参加は上限単位数を超えて登録することができる。履修登録を検討している科目へ仮参加し履修計画を立てること。

(4) 仮参加機能は、履修登録期間後に自動で解除される。

(5) 仮参加と履修登録は異なる。必ず履修登録を行うこと。

5. 履修登録について

(1) 抽選科目申込期間 **4月8日（火）13時 ～ 4月9日（水）9時30分（厳守）**

総合教育科目、基本科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。

抽選対象科目については、履修登録期間での申込は受け付けない。

履修希望者は上記期間に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【総合教育科目】

科目名	担当教員名
日本文化史 A・B (木曜3時限のみ)	清水 克行
日本近代文学 A・B	永井 善久
日本語表現論 A・B	片山 久留美
法学 A・B	成瀬トーマス誠
社会学 A・B	木村 至聖

科目名	担当教員名
社会思想史 A・B	清水 明美
自然科学概論 A	森永 由紀
生命科学 A・B (木曜4限のみ)	浅賀 宏昭
化学 A・B	久富木 志郎
論理学 A・B	金子 裕介

【基本科目】

科目名	担当教員名
理論経済学 A・B	植村 博恭
商業総論 A・B	庄司 真人
ビジネス・インサイト	中山 千尋
	松尾 隆策
	高野 公三子
	齋藤 美和子
商学入門	畑農 鋭矢

【その他】

科目名	担当教員名
憲法 A	江藤 英樹

- ① 当選者は4月9日（水）20時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される予定。
- ② 詳細は、「総合教育科目、その他科目一部科目の抽選について」（P17）、「基本科目一部科目の抽選について」（P19）を確認すること。

(2) 履修登録期間 **4月12日（土）9時30分 ～ 4月14日（月）9時30分（厳守）**

- ① 1年次に履修する授業科目は、基礎教育科目（基礎演習・文章表現・経済学A・経済学B）、外国語科目（初習外国語のみ）、体育を除いてすべて履修登録しなければならない。指定期間以外での履修登録は一切できないため注意すること。
- ② **春学期と秋学期の両学期分の履修科目を登録すること。履修制限単位数を超過しないこと。**
- ③ **メディア授業科目や履修者数の多い授業科目等は、履修修正期間及び秋学期履修修正期間の追加は認められない。**履修計画を熟考し、登録を希望する科目は当該期間内に登録すること。
- ④ 履修登録をしていない場合、たとえ授業に出席し、定期試験を受験しても単位は認めない。
- ⑤ 履修登録はWEB登録となる。詳細は、「WEB履修登録要領」（P53-66）を確認し、期日を守って登録すること
- ⑥ スマートフォンの動作保証はしていないので、パソコンで操作すること。スマートフォンからの操作による不具合は一切対応しない。

- ⑦ 登録完了前に、P27の「**新入生向け履修チェックシート**」を用いて、確認の上、履修登録すること。

(3) My時間割の確認 4月15日（火）9時～

- ① 履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目がMy時間割に表示されているか確認すること。
- ② 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

(4) 履修修正期間 4月19日（土）9時30分 ～ 4月21日（月）9時30分

- ① 履修の追加登録や、誤登録した科目削除等の修正を行う場合は、必ず当該期間内に行うこと。自己都合による事後の修正は一切認められない。
- ② 一部授業科目（「メディア授業科目」及び履修登録者が多かった授業科目等）の追加は認められない。また、事務室による事前登録科目（必修科目等）や、抽選や選考等により履修が認められた科目の履修削除も認められない。詳細は商学部事務室からOh-o! Meiji等で連絡する。

(5) My時間割の再確認 4月22日（火）～

- ① 履修修正の結果が反映されているか、必ず確認すること。
- ② 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

6. 履修制限単位について

- (1) 1年次での履修制限単位は、必修科目も含めて春学期19単位・秋学期19単位である。
- (2) 履修制限単位数に含まれない科目については、履修上限を超えて履修することができる。
- (3) 単位数は語学科目および保健体育科目は1単位、それ以外は2単位となる。

表：履修制限単位に含まれる科目詳細

履修制限単位※ (2023年度以降入学) 春学期19単位・秋学期19単位 に含まれる科目	① 商学部設置科目 ② 情報関係科目 ③ 全学共通総合講座 ④ 他学部履修科目（認められた科目のみ） ⑤ 学部間共通外国語科目（必修科目に振り替えて履修する場合） ⑥ 資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。8単位まで） ⑦ グローバル人材育成プログラム科目 ※2
履修制限単位以外 に履修できる科目	① 学部間共通外国語科目（卒業要件外として履修する場合） ② 国際教育プログラム科目（他学部開講科目の場合）等 ③ 資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合）

※2022年度以前入学者の履修制限単位は入学年度の便覧を参照すること

※2 2023年度以降入学者の2025年度履修登録から取扱い変更

7. 時間割の組み立てについて

必修科目	基礎教育科目	基礎演習（春or秋学期）	2単位	➡詳細はP14 (1)基礎教育科目を参照
		文章表現（秋or春学期）	2単位	
		経済学 A（春学期）	2単位	
		経済学 B（秋学期）	2単位	
	外国語科目（既習）	英語講読Ⅰ（春学期） ※ 1	1単位	➡詳細はP14 (2)既習外国語（英語）を参照
		英語講読Ⅱ（秋学期） ※ 1	1単位	
		口語英語Ⅰ（春学期） ※ 1	1単位	
		口語英語Ⅱ（秋学期） ※ 1	1単位	
	外国語科目（初習）	初級〇〇語Ⅰ（春学期）※ 2	1単位	➡詳細はP15下部 (3)初習外国語を参照
		初級〇〇語Ⅱ（秋学期）※ 2	1単位	
		初級〇〇語Ⅲ（春学期）※ 2	1単位	
		初級〇〇語Ⅳ（秋学期）※ 2	1単位	
	保健体育科目	体育・スポーツ実習 A（春学期）	1単位	➡詳細はP18 (7)体育・スポーツ実習A・Bを参照
		体育・スポーツ実習 B（秋学期）	1単位	
必修単位合計 18単位 （春学期 9 単位・秋学期 9 単位）				
必修科目以外の科目合計20単位まで（春学期10単位・秋学期10単位）				
・この単位内に収まるように、総合教育科目、基本科目、応用展開科目、その他の中から適宜、科目を選択する。ただし、必修科目の曜日・時限と重複しないように注意すること。 ・履修制限単位数の上限まで履修することは必須ではないため、時間の使い方を考慮した上で時間割を作成すること。 ・商学部便覧の「卒業単位数及び卒業要件」を念頭に入れながら、履修を組み立てること。 ・必修科目の単位を修得できなかった場合は、次年度に再履修すること。				

※1 クラス指定の英語講読および口語英語を履修した場合を想定。他科目に振替履修した場合は、各科目名称になる。詳細はP14「(2)既習外国語（英語）」を参照。

※2 留学生対象の日本語の科目名は「日本語（1年）Ⅰ～日本語（1年）Ⅳ」となる。

8. 科目履修に関する注意点について

(1) 基礎教育科目（基礎演習・文章表現・経済学A・経済学B）

- ① いずれの科目も1年次必修科目となる。授業時間割表でクラス指定されているため、必ず指定された担当者、曜日、時限の授業を受けること。
- ② **この4つの科目は、商学部事務室が履修登録を行うため、自分で登録する必要はない。**
- ③ 基礎演習・文章表現は、学生証交付の際に配布した「基礎演習・文章表現組分表」で自身がAグループ・Bグループのどちらなのかを確認すること。グループは、所属するクラスの番号で振り分けられる。番号は、学生証の裏面に年・組の後に記載された番号である。
- ④ 授業時間割表および基礎演習・文章表現組分表を紛失した者は、以下のQRコードからも確認できる。

	A グループ	B グループ
春学期	基礎演習	文章表現
秋学期	文章表現	基礎演習



新年度配布資料掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/shogaku/information/2025shinnendohaifu.html>

(2) 既習外国語（英語）

必修科目として週2コマを履修する。履修パターンは、以下の3通りのみ。

- ① 履修パターン1…クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」を履修する。
自分のクラスで受ける基本的なパターンとなる。
- ② 履修パターン2…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「上級英語」を必修科目として履修する。以下のa～cの3通りがある。
 - a 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「上級英語Ⅰ・Ⅱ」
 - b 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」
 - c 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 上級英語Ⅰ・Ⅱは、春学期・秋学期セットでの履修となるため、同一曜日・時限の同一教員の授業を履修する必要がある。

イ 上級英語は初回授業で選抜試験を行う。詳細はOh-o! Meijiのグループを確認すること。

ウ 複数の上級英語を履修する場合は、各授業の選抜試験に合格する必要がある。

エ 合格者は、Oh-o! Meijiにて発表する。

オ 合格者は、自身で履修登録期間に履修登録を行うこと。

カ 選抜試験に合格した場合でも履修をとりやめることができる。

キ 上級英語の選抜試験に合格するまでは、クラス指定の「口語英語」「英語講読」を受講すること。

ク 秋学期は、上級英語の申し込みはできない。

- ケ 1年次に申し込まなかった、履修しなかった場合も、2年次から履修することもできる。
- コ 同一教員の授業を履修することもできる。1年次と2年次に同一教員の授業を履修することも可能。

③ 「公募制特別入試（大学入学共通テスト利用の商業部門）入学者」、「スポーツ特別入試入学者」のみ

履修パターン3…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「基礎英語」を必修科目として履修することができる。以下のa～cの3通りがある。

- a 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」
- b 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」
- c 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

ア 履修する場合は、初回授業に必ず出席し、履修登録期間に自身で履修登録を行う。

イ 履修対象者ではない場合は、履修登録画面で表示されない。

重要 履修パターン2～3における必修英語科目を振替履修登録時の注意

- ① クラス指定の「口語英語」「英語講読」を、「上級英語」「基礎英語」に振り替えて履修したい場合は、クラス指定の必修科目（基礎演習、文章表現、経済学A・B、初習外国語Ⅰ～Ⅳ、体育・スポーツ実習A・B）と曜日時限が重複しない時間帯のコマを選択すること。
- ② 「上級英語」「基礎英語」の受講が認められない場合は、クラス英語を履修することになるため、受講が確定するまではできるだけ両方の授業に出席すること。
- ③ 希望する振替科目について、選抜試験不合格など履修できなかった場合は、履修登録期間に自身でクラス指定科目の履修登録を行うこと。
- ④ 選抜試験合格後は、振り替える予定の口語英語Ⅰ・Ⅱ、英語講読Ⅰ・Ⅱの仮参加は解除してよい。
- ⑤ 振替履修した科目の単位が未修得の場合、翌年度開講される商学部設置の再履修クラスの授業を履修すること。

(3) 初習外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語・日本語）

- ① 必修科目として週2コマを履修する。
- ② 2025年度入学者は1～6組はドイツ語、7～13組はフランス語、14～26組は中国語、27～29組は韓国語、30～33組はスペイン語になる。
日本語、ロシア語は商学部事務室（和泉）より通知を送る。
- ③ 初習外国語は、商学部事務室が履修登録を行う。
- ④ 日本語の履修は、留学生（海外指定校含む）に限定されている。
- ⑤ 1年次には、学部間共通外国語科目との振替はできない。
- ⑥ スポーツ特別入試入学者は、ドイツ語・中国語の特別クラスも履修できるため、希望者は別途指示に従うこと。
- ⑦ 1年次の初習外国語の修得単位数が0～1の場合は、2年次における中級クラスの履修ができない。

- ⑧ 2年次終了までに、初級〇〇語Ⅰ～Ⅳの単位を修得しない場合、3年次も和泉キャンパスで授業を受ける必要がある。
- ⑨ 入学試験の際、外国語科目でドイツ語またはフランス語を選択した学生が履修する特別語学科目を設定している。これらの科目は、ドイツ語またはフランス語で受験しなかった学生でも、相当する語学力があれば履修することができるため、希望する学生は、Oh-o! Meijiのお知らせの案内に従うこと。

(4) 初習外国語プラスワン

- ① ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語は、『プラスワン』科目が設置されている。
- ② 約15名の少人数制クラスで、実践的な外国語能力を養い、各国の社会事情・文化を学ぶ。
- ③ 選考（7月上旬を予定）を受け、履修を許可された学生は、1年次秋学期から2年次秋学期までの3学期間連続して履修する。
- ④ 単位（秋学期1単位）は卒業要件に算入され、1年次の新規履修制限単位数に含まれる。
- ⑤ 初習外国語プラスワンは、必修の初習外国語科目の代わりとして受講できない。
- ⑥ 履修登録は秋学期に行う。履修登録期間において、あらかじめ秋学期1単位分を差し引いて履修登録する必要はない。試験内容を含む詳細は6月中旬にOh-o! Meijiにて通知する。
- ⑦ 自身が履修する初習外国語と異なる言語のプラスワン科目を履修することもできるが、授業のレベルが高いため、詳細はガイダンスなどで担当教員に尋ねること。
- ⑧ 選抜に合格した後は履修削除できないため、注意すること。
- ⑨ 2年次からも履修できる。詳細は、1年次期末にOh-o! Meijiで配信するお知らせを確認すること。

(5) 総合教育科目

- ① 3つの分野（文化と芸術、地域と社会、人間と自然）より構成。
- ② 各分野最低4単位、卒業までに24単位以上の単位修得が必要。
- ③ 24単位の中には、総合学際演習の修得科目を含めることができる。
- ④ 日本事情の履修は留学生に限るものとし、修得単位は総合教育科目に含めることができる。
- ⑤ 総合教育科目は3、4年次に駿河台キャンパスでも開講されているが、1、2年次に和泉で履修することを推奨する。
- ⑥ 他の科目同様に春学期のみ、秋学期のみの履修が可能。

総合教育科目、その他科目 一部科目の抽選について

総合教育科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。履修希望者は抽選科目申込期間（P11参照）に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【総合教育科目】

科目名	担当教員名
日本文化史 A・B (木曜3時限のみ)	清水 克行
日本近代文学 A・B	永井 善久
日本語表現論 A・B	片山 久留美
法学 A・B	成瀬トーマス誠
社会学 A・B	木村 至聖

科目名	担当教員名
社会思想史 A・B	清水 明美
自然科学概論 A	森永 由紀
生命科学 A・B (木曜4限のみ)	浅賀 宏昭
化学 A・B	久富木 志郎
論理学 A・B	金子 裕介

【その他】

科目名	担当教員名
憲法 A	江藤 英樹

- ①履修希望者が教室定員を超過した場合に抽選を実施する。
- ②教室定員は、教務システム「履修登録」で確認すること。
- ③抽選に漏れた場合、履修登録はできない。定員に達していない場合も同様である。
- ④複数の科目を申し込むことはできるが、**履修決定後の変更や取消は一切認めない**。なお、履修上限を超過している場合は、すべての申込を無効として扱う。
- ⑤同一曜日・時限に他の抽選科目を申し込むことは禁止とする。複数申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。
- ⑥申込方法は履修登録方法と同じであるため、WEB履修登録要領（P53～66）を確認すること。A・Bともに希望する場合は、春学期、秋学期ともに申し込むこと。
- ⑦抽選結果については、4月9日（水）20時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される。
- ⑧クラス必修科目と重複している場合は、必修科目が優先となる。
- ⑨**申込後や抽選後のキャンセルは一切受け付けない**。
- ⑩なお、抽選科目申込期間では上記科目以外の科目が表示されるが、2年生向けの再履修科目であるため、1年生は履修登録を一切行わないこと。

(6) 総合学際演習（2・3・4年）

- ① 2年次より始まるゼミ形式の授業。
- ② 必修科目ではない。
- ③ ガイダンスおよび入室試験は、1年次秋学期に実施予定。
- ④ ガイダンス日程および選考スケジュールの詳細は、春学期末にOh-o! Meijiで通知。
- ⑤ 翌年度における入室試験合格者の履修登録（ゼミ科目）は商学部事務室が行う。

- ⑥ 1度ゼミが決定した後は変更できず、3年間同一のゼミを履修することになる。
- ⑦ 成績評価は通年評価となるため、学年終了時に春学期、秋学期の評価が行われ、4単位（春学期2単位、秋学期2単位）が付与される。

(7) 体育・スポーツ実習A・B

- ① 各種目の詳細は、学期冒頭に配信される教員の説明を確認すること。
- ② 体育・スポーツ実習A・Bは、必修科目であり、クラスごとに指定された曜日・時限で、「ア」「イ」「ウ」の3つのコースのうち1つのコースを選んで履修する。
- ③ 初回の授業前にOh-o! Meijiアンケートでコースを選択する。（1部のクラスは、「ア」「イ」「ウ」「エ」の4つのコースから1つを選択）
アンケート名は「体育・スポーツ実習A・Bクラス申込み」。
回答期間は4月3日（木）10時から4日（金）15時である。
- ④ 希望者が多い場合は抽選を行う。
- ⑤ 初回授業の集合時間および場所は、「2025年度 体育・スポーツ実習A・B一覧表」を確認すること。（学生証受付時配布）
プリントの紛失者は下のQRコードからも確認できる。



新年度配布資料掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/shogaku/information/2025shinnendohaifu.html>

- ⑥ 体育・スポーツ実習A・Bに関する連絡は、Oh-o! Meiji等で通知する。
- ⑦ スポーツや運動を禁止または制限されている学生は、個人指導を中心とした特別なクラスを編成して授業を行うので、Oh-o! Meijiアンケート（件名:体育スポーツ実習A Bクラス申込）から申し込みを行うこと。原則、学期途中での変更は認めない。履修登録は学部側が行う。
- ⑧ 次の時限にも支障が生じないように着替えの時間も設けてある。
- ⑨ これまでに経験のないスポーツ種目でも経験は求めているので、安心して履修すること。
- ⑩ **コース選択を忘れた者は教員がコースを決定する。**
- ⑪ 選択スポーツ実習は、2年次配当科目のため、受講することはできない。

(8) 基本科目

- ① 卒業までに16単位を修得する必要がある。商学部便覧を確認し、3年次に進みたいコースを考えて、選択すること。
- ② 簿記学A・Bは必修科目ではないが、クラス指定がされているため、履修する際は自分のクラスの曜日・時限で受けること。ただし、中級クラス・上級クラスはクラス指定ではない。
- ③ 簿記学A・Bの上級クラス、中級クラスのレベルについては、新学期初頭に行う会計科目ガイダンスで確認すること。
- ④ 簿記学A・Bは他の科目同様に簿記学Aのみ、簿記学Bのみの履修もできる。

- ⑤ 簿記学 A・B は 2 年次においても履修することができる（2 年次はクラス指定なし）。ただし、1 年次にクラス指定の簿記学 A・B の単位を修得した者が、2 年次に中級クラス、上級クラスを履修することはできない。
- ⑥ ビジネス・インサイトの履修希望者は、春学期学習指導期間に Oh-o! Meiji の「商学部 1 年生向けガイダンス」グループに掲載しているビジネス・インサイトガイダンスを必ず確認すること。また、抽選に当選後はキャンセルできないため申込時には注意すること。
- ⑦ 商学入門は 1 年生のみ履修できる。抽選はないため、希望者は履修登録期間に登録すること。
- ⑧ Essentials of Commerce A・B は抽選はないため、希望者は履修登録期間に登録すること。英語で授業を行う科目である。

基本科目 一部科目の抽選について

基本科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。履修希望者は抽選科目申込期間（P11 参照）に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【基本科目】

科目名	担当教員名
理論経済学 A・B	植村 博恭
商業総論 A・B	庄司 真人
ビジネス・インサイト	中山 千尋
	松尾 隆策
	高野 公三子
	齋藤 美和子
商学入門	畑農 鋭矢

- ① 履修希望者が教室定員を超過した場合に抽選を実施する。
- ② 教室定員は、教務システム「履修登録」の履修登録画面で確認すること。
- ③ 抽選に漏れた場合、履修登録はできない。定員に達していない場合も同様である。
- ④ 複数の科目を申し込むことはできるが、**履修決定後の変更や取消は一切認めない**。なお、履修上限を超過している場合は、すべての申込を無効として扱う。
- ⑤ 同一曜日・時限に他の抽選科目を申し込むことは禁止とする。複数申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。
- ⑥ 申込方法は履修登録方法と同じであるため、WEB履修登録要領（P53～66）を確認すること。A・B ともに希望する場合は、春学期、秋学期ともに申し込むこと。
- ⑦ 抽選結果については、4 月 9 日（水）20 時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される。
- ⑧ クラス必修科目と重複している場合は、必修科目が優先となる。
- ⑨ **申込後や抽選後のキャンセルは一切受け付けない**。
- ⑩ なお、抽選科目申込期間では上記科目以外の科目が表示されるが、2 年生向けの再履修科目であるため、1 年生は履修登録を一切行わないこと。

(9) 商学専門演習

- ① 2年次より始まるゼミ形式の授業。
- ② 必修科目ではない。商学専門演習（2年）は基本科目、商学専門演習（3年）（4年）は基幹科目となる。
- ③ ガイダンスおよび入室試験は、1年次秋学期に実施予定。
- ④ ガイダンス日程および選考スケジュールの詳細は、春学期末にOh-o! Meijiで通知する。
- ⑤ 翌年度における入室試験合格者の履修登録（ゼミ科目）は商学部事務室が行う。
- ⑥ 成績評価は通年評価となるため、学年終了時に春学期、秋学期の評価が行われ、4単位（春学期2単位、秋学期2単位）が付与される。

(10) 基幹科目（駿河台キャンパス設置）

- ① 3年次配当科目のため、1・2年生は履修不可。

(11) 応用展開科目

① 全学共通総合講座について

ア 履修登録期間が異なるため、必ず全学共通総合講座シラバス及び履修の手引きを大学ホームページ又はOh-o! Meijiで確認すること。

イ 履修希望者は、初回の授業に必ず出席すること。



② 特別テーマ実践科目

ア 小グループに分かれ、社会に実在する課題を読み解き、解決策を企画・実行する。その後、成果報告を行うなど、ゼミ同様に実践的な課題解決プロセスを経験できる科目である。

イ 履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。

ウ 一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。詳細は、各科目のシラバスで確認すること。

エ 特別テーマ実践科目の履修登録は商学部事務室が行う。履修申し込みをした学生は、4月17日（木）以降に教務システム「My時間割」から履修希望をした科目が登録されているか確認すること。

オ **履修決定後のキャンセル・履修削除は認めない**ため、熟考の上、履修すること。

カ 同一曜日・時限に抽選科目（P11参照）を申し込むことは禁止とする。重複して申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。

キ 開講曜日・時限に必修科目がある場合は、必修科目が優先となる。ただし、他の科目に振替履修している場合は除く。振替履修対象科目は英語講読、口語英語、2年次の初習外国語科目の一部。

ク 在学中、各科目は2回（例：Aを2回、Bを2回）までしか履修することができない。但し、同一教員による・同一テーマの科目の単位修得は在学中に1回のみ限定される。

ケ 科目に関する詳細はP123を参照。

③ 特別テーマ研究科目

ア 履修に関して、抽選申込、選抜などの条件はない。履修登録期間に各自が登録を行うこと。

イ 在学中、各科目は2回（例：Aを2回、Bを2回）までしか履修することができない。但し、同一教員による・同一テーマの科目の単位修得は在学中に1回のみに限定される。

ウ 科目に関する詳細はP125を参照。

④ 特別テーマ海外研修科目

ア 海外で、実践的なビジネス英語と本場のワインやファッションビジネスを学べる。

イ 2単位（卒業要件に含まれる）。履修制限単位を超えて履修できる。

ウ 履修登録方法・募集要項等の詳細は確定次第、Oh-o! Meiji等で通知する。

エ 科目に関する詳細はP127を参照。

オ 同科目ほか、留学関連など国際交流については商学部ホームページに詳細が記載されている。右記のQRコードより確認できる。



(12) 情報関係科目（ICTベーシックなど）

① 「その他」科目群の卒業要件科目として、履修制限単位に含まれる。

② 商学部の履修登録とは別途に履修登録が必要となる。履修希望者は、大学ホームページに公開されているガイダンス動画を確認し、情報関係科目シラバスを熟読したうえで申込を行うこと。

③ この科目に関する詳細は、和泉キャンパスメディア棟1階のサポートデスクへ確認すること。または、wsd@meiji.ac.jp に尋ねること。



情報関係科目シラバス掲載ページ

URL: https://www.meiji.ac.jp/edu-info/about_ict.html

(13) 資格課程関係科目

- ① 資格課程関係科目の履修者は、資格課程関係科目のうち学部設置科目から8単位までを卒業に必要な単位数に含めることができる。(2017年度以降入学者のみ)
- ② 卒業に必要な単位数に含める場合は履修制限単位の対象となる(春19単位・秋19単位)
- ③ 卒業要件単位として認められる科目は、「資格課程関係科目」(P86・P101参照)のみである。
- ④ 8単位を超過した分については、卒業に必要な単位には含まれない。
- ⑤ 当該科目を履修するには、Oh-o! Meijiグループ「全学部共通ガイダンス」の資格課程ガイダンスを確認し、資格課程事務室で所定の手続きを行なうこと。
- ⑥ 卒業に必要な単位数に含める場合は、履修登録期間に「資格課程関係(卒単内)」と表記された科目を登録すること。登録期間外での変更はできないため、注意すること。

例：卒業に必要な単位数に含める場合 → 日本史概論(担当者名)／資格課程関係(卒単内)
卒業に必要な単位数に含めない場合 → 日本史概論(担当者名)／資格課程関係(卒単外)

(14) 学部間共通外国語科目

学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目以外を履修し、単位を修得した場合が対象となる。

振替対象科目(これらの科目については対象外となる)

ドイツ語会話ⅡA, ドイツ語会話ⅡB, ドイツ語会話ⅢA, ドイツ語会話ⅢB,
フランス語会話ⅡA, フランス語会話ⅡB, フランス語会話ⅢA, フランス語会話ⅢB,

(以上、8科目)

【学部間共通外国語を必修語学科目の振替ではなく、卒業要件外科目として履修登録する場合の手順】

- 1 学部間共通外国語シラバス(春学期学習指導期間に明治大学HPに公開予定)を読む。



- 2 シラバスをよく読んで履修申し込みを行う。

※事前抽選があるため、注意すること。

(15) グローバル人材育成プログラム

- ① 履修希望者は大学ホームページを確認し、グローバル人材育成プログラム科目シラバスを熟読したうえで申込を行うこと。
- ② この科目の内容に関する詳細は国際連携事務室へ確認すること。
- ③ 2023年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取り扱いを、2025年度の履修登録から変更する。なお、2024年度までに修得した科目の単位を卒業要件単位に含めることはできない。

	履修制限単位	修得単位
2024年度履修登録まで	含めない	卒業に必要な単位数に含めない
2025年度履修登録から	含める	卒業に必要な単位数に含める（フリーゾーン）

- ④ 2018～2022年度入学者の単位取扱いはP47を参照すること。

(16) 他学部履修

- ① 商学部設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に20単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではない。詳細はOh-o! Meijiの学年向けガイダンスグループで確認すること。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載に関わらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数（在学中20単位）を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。
- ⑦ 2年生以降で履修計画に余裕が出てきた場合に他学部科目を履修することを推奨する。

(17) フリーゾーン

- ① フリーゾーン12単位を卒業要件に含められる。フリーゾーンとして卒業要件に算入できる単位は以下の2種類がある。2025年度商学部便覧を参照。
 ア 外国語科目～商学専門演習の要件単位を超えて修得した単位
 イ 応用展開科目、その他、資格課程関係科目（8単位まで）、グローバル人材育成プログラム（2023年度以降入学者の2025年度以降履修登録から適用）、他学部履修科目の修得単位
 例）卒業までに、基本科目を20単位修得した場合、20から「基本科目の卒業までに必要な単位である16」を差し引いた4単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される

(18) その他履修の注意事項

- ① 時間割に同一科目名が週に2コマ以上ある場合は、どちらか1コマを履修すること。
 例：生命科学A・Bは、木4・木5に設置されているが、どちらかの時限を履修する。
 定期試験は、履修している曜日・時間、あるいは試験時間割表で指定された日程で受験すること。
- ② 同一科目名で週に2コマ以上ある科目を通年で受講する場合、時間割が異なる場合も受講が可能である。担当教員が異なる場合も可能である。ただし、シラバスで授業内容は確認すること。
 例：春学期 生命科学A（木4）
 秋学期 生命科学B（木5）

- ③ 通年で春学期、秋学期開講されているものについて、春学期、または、秋学期のみの受講も可能である。

例：春学期に生命科学Aのみを受講

- ④ 毎年時間割は変わるため、履修したい科目があれば、履修できる年で履修すること。次年度に必修科目と重なる可能性がある。
- ⑤ 便覧に載っている1・2年次配当科目で、時間割に記載されていない科目は本年度未開講となる（例：宗教学）。
- ⑥ 経理研究所の学内講座と必修科目が重複している者は商学部事務室（和泉）に申し出ること。ただし、提携スクールの講座が重複している場合は、必修科目を優先すること。
- ⑦ 課題等の提出時のデータ（ワードファイル、PDFファイル）については、教員に確認すること。
- ⑧ データ提出時には、データ内に学年、組、番号、学生番号、氏名を必ず入力すること。
- ⑨ 既に単位修得した科目は教員が異なっても再度履修はできない。

例：1年次に日本語表現論A（石出先生）の単位を修得した学生は2年次に日本語表現論A（片山先生）を履修することはできない。

9. 定期試験について

- ① 定期試験の時間割は、必ず大学ホームページを確認すること。
- ② 定期試験期間中に行われる試験は、通常授業の時間帯と異なることがあるので注意すること。
- ③ 定期試験を受けられない場合は、試験日当日、事務室に必ず連絡すること。

10. その他の注意事項について

(1) 学費について

- ① **学費の振込用紙は、春学期と秋学期分をまとめて4月中旬に発送する。**
1年生の春学期分は、入学手続き時に納入されているため、振込用紙は送付されない。1年生の秋学期分は10月上旬に発送する。
- ② 学費の振込用紙が届かない場合、以下の理由が考えられるため、注意すること。
住所を移転したが、大学に住所変更を届け出していない。（大学に届け出していない場合でも、郵便局に転送届を出せば、転送される。住所移転時は必ず転送届を提出すること。）
住所変更はOh-o! Meijiアンケート（住所変更）で行うこと。
- ③ 学費が期日までに支払えない場合、学費の延納願を提出する必要がある。
詳細は商学部事務室に問い合わせること。

(2) 証明書について

- ① 在学証明書・学割証等は和泉キャンパス第一校舎1階事務室前の証明書自動発行機で発行できる。発行時には学生証とパスワードが必要となる。
- ② 一部の証明書は、証明書学外発行サービスから、コンビニエンスストア等で発行が可能。詳細は、以下のURLから確認すること。

<https://www.meiji.ac.jp/certificate/6t5h7p00003d0aza.html>

(3) Oh-o! Meijiなどの大学提供の情報サービスに関する問い合わせ

- ① 情報関係の質問は、以下のアドレスで確認すること。

wsd@meiji.ac.jp



MIND利用講習会掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/mind/seminar/index.html>

- ② 大学の情報設備（Wi-Fi、VPN、MeijiMailの多要素認証設定）を利用する際は、MIND利用講習会（4月上旬に実施）を受講する必要がある。

- ③ 明治大学では、Microsoft、Apple、Adobeのソフトウェアを安く購入することができる。詳細は、上記のメールアドレスに問い合わせること。

(4) 教科書販売について

- ① 教科書は、シラバス及び各授業科目担当者の指示を確認すること。
② 教科書は、履修が確定したものから購入すること。
③ 教科書販売については、Oh-o! Meijiより詳細を通知する。

(5) 履修以外の問い合わせについて

- ① 授業科目の履修及び事務手続等で不明な点がある場合は、和泉キャンパス第一校舎1階の商学部事務室（和泉）の窓口に来ること。電話での履修相談は受け付けないので、注意すること。

(6) 資格試験等について

- ① 英語関連資格検定 …商学部では、TOEIC IPテスト、TOEFL ITPテストの団体受験を無料で行っている。1年生対象TOEIC IPテストは4月実施のみのため、注意すること。詳細は、Oh-o! Meijiより通知する。なお、TOEIC・TOEFL等の英語関連資格検定の個別の受験料補助は行っていない。
② その他、以下の検定等について助成を行っている。詳細は、Oh-o! Meijiより通知する。
初習外国語検定、日商簿記検定、統計検定、法制研究所・行政研究所・経理研究所在籍料等、リバティアカデミー講座受講

(7) 学内設備について

- ① 明治大学図書館では、新聞記事や日経テレコン等のオンライン情報源にアクセスすることができる。詳細は、以下のアドレスで確認すること。



明治大学図書館オンライン情報源掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/library/search/e-resource.html>

メールアドレス: lib-webmaster@lib.meiji.ac.jp

(8) 学生証交付時の書類について

- ① 4月3日(木)の学生証交付時に配布した書類を紛失した者は以下のQRコードからも確認することができる。



新年度配布資料掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/shogaku/information/2025shinnendohaifu.html>

商学部で何を学びたいかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ① 「基礎演習」や「文章表現」は商学部での学びの基礎となる科目である。
- ② 商学部での学びをもっと知りたいと思う場合は、「商学入門」を薦める。
- ③ 自分の学びたいことを確認しながら、秋学期に行われる演習室選択にも役立つ、基本科目、総合教育科目から履修したい科目を選ぶこと。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮している。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成すること。

◎授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められない。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもある。

新入生向け履修チェックシート

履修エラーが生じた場合、期間内に商学部事務室（和泉）の窓口で修正する必要があります。窓口が混雑した場合、手続きに多大な時間を要することが予想されます。そのため、履修登録完了前に当シートで確認し、エラーを起こさずに履修登録を行ってください。

全員が確認する項目

- ☐ P68を見て、Oh-o! Meijiより自身の携帯端末のメールアドレスへの転送設定を行った。
- ☐ 商学部新入生アンケートをOh-o! Meijiより回答した（未回答の場合は履修未登録として処理するので、全員必ず回答すること）。
- ☐ 春学期だけではなく、秋学期分の履修登録を行った。
- ☐ 履修上限を超えていない（春19単位・秋19単位）。
- ☐ 英語の履修単位の合計が4単位である（春2単位・秋2単位）。
- ☐ 初習外国語の履修単位の合計が4単位である（春2単位・秋2単位）。

該当者のみが確認する項目

- ☐ 簿記学A・B（上級・中級を除く）を履修する学生は、春学期・秋学期ともに指定クラスのことを履修登録した。
- ☐ 履修を希望する特別テーマ実践科目の曜日・時限にクラス指定の必修科目（文章表現、基礎演習、経済学A・B、体育・スポーツ実習A・B、初級〇〇語、日本語、ロシア語、英語講読Ⅰ・Ⅱ、口語英語Ⅰ・Ⅱ）がない（振替履修している場合を除く）。
- ☐ 卒業に必要な単位として資格課程関係科目を履修登録する場合、教職または社会教育主事課程の履修料を支払っており、教務システムで「卒単内」と記載されている科目を登録している。

— 2 年生用 —

1. 授業について

- (1) 授業は、4月10日（木）から開始する。
- (2) 授業形態については、Oh-o! Meijiクラスウェブより確認すること。

2. 仮参加機能について

- (1) 履修登録期間前は、Oh-o! Meijiの仮参加機能（P10参照）を使うことで、授業に参加することができる。
- (2) 履修登録期間前の授業に関するお知らせ等を確認するには、仮参加の設定が必要である。
- (3) 仮参加は上限単位数を超えて登録することができる。履修登録を検討している科目へ仮参加し履修計画を立てること。
- (4) 仮参加機能は、履修登録期間後に自動で解除される。
- (5) 仮参加と履修登録は異なる。必ず履修登録を行うこと。

3. 履修登録スケジュールについて **重要**

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| (1) 抽選科目申込期間 | 4月8日（火）13時 ～ 4月9日（水）9時30分（厳守） |
|--------------|-------------------------------|

総合教育科目、基本科目、再履修科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。

抽選対象科目については、履修登録期間での申込は受け付けない。

履修希望者は上記期間に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【総合教育科目】

科目名	担当教員名
日本文化史 A・B (木曜3時限のみ)	清水 克行
日本近代文学 A・B	永井 善久
日本語表現論 A・B	片山 久留美
法学 A・B	成瀬トーマス誠
社会学 A・B	木村 至聖

科目名	担当教員名
社会思想史 A・B	清水 明美
自然科学概論 A	森永 由紀
生命科学 A・B (木曜4限のみ)	浅賀 宏昭
化学 A・B	久富木 志郎
論理学 A・B	金子 裕介

【基本科目】

科目名	担当教員名
理論経済学 A・B	植村 博恭
商業総論 A・B	庄司 真人

【その他】

科目名	担当教員名
憲法 A	江藤 英樹

- ① 当選者は4月9日（水）20時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される（予定）。
- ② 詳細は、「総合教育科目、その他科目一部科目の抽選について」（P33）、「基本科目一部科目の抽選について」（P34）、「再履修科目の履修申込・日程について」（P38）を確認すること。

★学部間共通外国語・全学共通総合講座・情報関係科目

別途、学部間共通外国語シラバス、全学共通総合講座シラバス、情報関係科目シラバスをそれぞれ確認すること。以下、履修登録期間よりも登録期間が早い場合があるので注意すること。

(2) 履修登録期間 4月12日(土) 9時30分 ～ 4月14日(月) 9時30分(厳守)

- ① 春学期と秋学期の両学期分の履修科目を登録すること。履修制限単位数を超過しないこと。
- ② **メディア授業科目や履修者数の多い授業科目等は、履修修正期間及び秋学期履修修正期間の追加は認められない。**履修計画を熟考し、登録を希望する科目は当該期間内に登録すること。
- ③ 履修登録をしていない場合、たとえ授業に出席し、定期試験を受験しても単位は認めない。
- ④ 履修登録はWEB登録となる。詳細は、「WEB履修登録要領」(P53-66)を確認し、期日を守って登録すること
- ⑤ スマートフォンの動作保証はしていないので、パソコンで操作すること。スマートフォンからの操作による不具合は一切対応しない。
- ⑥ 登録完了前に、P42の「**2年生向け履修チェックシート**」を用いて、確認の上、履修登録すること。

(3) My時間割の確認 4月15日(火) 9時～

- ① 履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目がMy時間割に表示されているか確認すること。
- ② 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話(和泉商学部事務室03-5300-1142/駿河台商学部事務室03-3296-4160)等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

(4) 履修修正期間 4月19日(土) 9時30分 ～ 4月21日(月) 9時30分

- ① 履修の追加登録や、誤登録した科目削除等の修正を行う場合は、必ず当該期間内に行うこと。自己都合による事後の修正は一切認められない。
- ② 一部授業科目(「メディア授業科目」及び履修登録者が多かった授業科目等)の追加は認められない。また、事務室による事前登録科目(必修科目等)や、抽選や選考等により履修が認められた科目の履修削除も認められない。詳細は商学部事務室からOh-o! Meiji等で連絡する。

(5) My時間割の再確認 4月22日(火) ～

- ① 履修修正の結果が反映されているか、必ず確認すること。
- ② 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話(和泉商学部事務室03-5300-1142/駿河台商学部事務室03-3296-4160)等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

4. 【全員必須】商学部2年生アンケートへの回答について 4月11日（金）17：00まで

Oh-o! Meijiのトップ画面に表示されるアンケートのリンク（下図）に従い、商学部アンケートに必ず回答すること。回答が確認できない場合は、履修登録未完了として処理するほか、**3年次からのコース選択ができなくなる恐れ**があるため、十分に注意すること。



5. 履修制限単位について

2年次での履修制限単位は、必修科目も含めて春学期22単位・秋学期22単位である。

再履修する科目の単位は履修制限単位に含まれる。履修制限単位数に含まれない科目については、履修上限を超えて履修することはできる。

履修制限単位※ (2023年度以降入学) 春学期22単位・秋学期22単位 に含まれる科目	新規履修科目	① 商学部設置科目 ② 情報関係科目 ③ 全学共通総合講座 ④ 他学部履修科目（認められた科目のみ） ⑤ 学部間共通外国語科目（必修科目に振り替えて履修する場合） ⑥ グローバル人材育成プログラム科目※2 ⑦ 資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。8単位まで）
	再履修科目	上記①～⑦の科目で、前年度単位が未修得のため、再度履修する場合
履修制限単位以外 に履修できる科目	新規・再履修科目	① 学部間共通外国語科目（卒業要件外として履修する場合） ② 国際教育プログラム基幹科目（他学部開講科目の場合）等 ③ 資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合）

※ 2022年度以前入学者の履修制限単位は入学年度の便覧を参照すること。

※2 2023年度以降入学者の2025年度履修登録から取扱い変更

6. 科目履修に関する注意点について

※再履修については、P38「7. 再履修科目について」を確認すること。

(1) 既習外国語（英語）

履修パターンは、以下の3通りのみである。しっかり確認した上で履修すること。

なお、1年次の口語英語Ⅰ・Ⅱ、英語講読Ⅰ・Ⅱの単位を修得していない者は、必ず再履修クラスの履修登録を行うこと。

① 履修パターン1…クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」を履修する。

② 履修パターン2…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「上級英語」を必修科目として履修することができる。以下のa～cの3通りがある。

a 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

b 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

c 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」と「上級英語Ⅰ・Ⅱ」

ア なお、上級英語は初回授業で選抜試験を行う。

詳細はOh-o! Meijiのグループで確認すること。

イ 上級英語Ⅰ・Ⅱはセットでの履修となるため、同一曜日・時限の同一教員の授業を春学期、秋学期で履修する必要がある。

ウ 複数の上級英語を履修する場合は各授業の選抜試験に合格する必要がある。

エ 合格者については、Oh-o! Meijiで公開する。

オ 1年次に申し込みをしなかった、1年次に履修をしなかった場合も、2年次から履修することができる。

カ 秋学期は上級英語の申し込みはできない。

キ 合格者は自身で履修登録期間に履修登録を行うこと。

ク 選抜試験に合格した場合でも履修をとりやめることができる。

③ 履修パターン3…クラス指定の「口語英語」「英語講読」の代わりに「基礎英語」を必修科目として履修することができる。以下のa～cの3通りがある。

a 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「口語英語Ⅰ・Ⅱ」

b 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「英語講読Ⅰ・Ⅱ」

c 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」と「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」

公募制特別入試（大学入学共通テスト利用の商業部門）入学者、スポーツ特別入試入学者に限り、履修できる。履修する場合は初回授業に必ず出席することが条件になる。

注意 振替履修を希望する者で振替科目の受講が認められない場合は、クラス英語を履修することになるため、受講が確定するまではできるだけ両方の授業に仮参加すること。

選抜試験合格後は、振り替え予定の口語英語Ⅰ・Ⅱ、英語講読Ⅰ・Ⅱの仮参加は解除してよい。希望する振替科目について、選抜試験不合格など履修できなかった場合は、履修登録期間に自身でクラス指定科目の履修登録を行うこと。

(2) 初習外国語

- ① 1年次配当の初習外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語・日本語）の評価がF・Tだった者は必ず再履修クラスの科目を履修すること（再履修に関するルールはP38「7. 再履修科目について」を参照）。
- ② 1年次配当の初習外国語4単位中2単位以上修得していない者（修得単位数が0～1である者）は、2年次配当の初習外国語（中級●●語Ⅰ～Ⅳまたは日本語（2年）Ⅰ～Ⅳ）を履修することができない。2年次には1年次配当の初習外国語を再履修することになり、2年次配当の初習外国語科目は履修条件を満たした場合、次年度以降に履修することになる（駿河台キャンパスでも開講）。
- ③ ドイツ語、フランス語については、2年次の履修の4単位のうち2単位に限り、学部間共通外国語の会話科目について、次のように振り替えることができる。履修登録方法の詳細は「(3) 学部間共通外国語の振替履修の手順」を参照。
「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」→「ドイツ語会話Ⅱ」または「ドイツ語会話Ⅲ」
「中級フランス語Ⅲ・Ⅳ」→「フランス語会話ⅡA・B」または「フランス語会話ⅢA・B」
なお、中国語（2021年度以降入学者）、韓国語、スペイン語、ロシア語、日本語は振替履修できない。
- ④ 中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ及び中級フランス語Ⅲ・Ⅳの振替希望者は商学部事務室に事前に相談すること。

(3) 学部間共通外国語の振替履修の手順

- ① 学部間共通外国語シラバス（春学期学習指導期間に大学ホームページに公開予定）を読む。
- ② 履修したい科目の初回授業に出席して受講許可を受ける。
- ③ 履修登録期間にOh-o! Meijiで通知する振替履修用時間割を確認の上、WEB履修登録を行う。
- ④ その他注意点
 - ・学部間共通外国語を振替履修する場合の単位は、履修制限単位及び卒業要件単位に含まれる。
 - ・学部間共通外国語を履修する場合、和泉、駿河台、生田、中野のどのキャンパスでもよい。

(4) 総合教育科目

- ① 総合教育科目は各分野4単位ずつ修得し、合計で24単位を修得する必要がある。この総合教育科目は3、4年次に駿河台キャンパスでも開講されている。

総合教育科目、その他科目 一部科目の抽選について

総合教育科目、保健体育科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。履修希望者は抽選科目申込期間（P28参照）に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【総合教育科目】

科目名	担当教員名	科目名	担当教員名
日本文化史 A・B (木曜3限のみ)	清水 克行	社会思想史 A・B	清水 明美
日本近代文学 A・B	永井 善久	自然科学概論 A	森永 由紀
日本語表現論 A・B	片山 久留美	生命科学 A・B (木曜4限のみ)	浅賀 宏昭
法学 A・B	成瀬トーマス誠	化学 A・B	久富木 志郎
社会学 A・B	木村 至聖	論理学 A・B	金子 裕介

【その他】

科目名	担当教員名
憲法 A	江藤 英樹

- ①履修希望者が教室定員を超過した場合に抽選を実施する。
- ②教室定員は、教務システム「履修登録」で確認すること。
- ③抽選に漏れた場合、履修登録はできない。
- ④複数の科目を申し込むことはできるが、**履修決定後の変更や取消は一切認めない**。なお、履修上限を超過している場合は、すべての申込を無効として扱う。
- ⑤同一曜日・時限に他の抽選科目を申し込むことは禁止とする。複数申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。
- ⑥申込方法は履修登録方法と同じであるため、WEB履修登録要領（P53～66）を確認すること。A・Bともに希望する場合は、春学期、秋学期ともに申し込むこと。
- ⑦抽選結果については、4月9日（水）20時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される。
- ⑧クラス必修科目と重複している場合は、必修科目が優先となる。
- ⑨**申込後や抽選後のキャンセルは一切受け付けない**。

(5) 基本科目

- ① 卒業要件で16単位修得が必須となる基本科目は、原則**和泉キャンパス**で開講される。
- ② 簿記学 A・B は2年次にも履修できる。クラス指定はないため、希望する授業を履修すること。簿記学 A と簿記学 B の担当教員が異なっても問題ない。
- ③ 簿記学 A・B は他の科目同様に簿記学 A のみ、簿記学 B のみの履修もできる。
- ④ 簿記学 A・B は、1年次に単位を修得している者は今年度履修できない。

基本科目 一部科目の抽選について

基本科目において、一部の科目は抽選によって履修者を決定する。

履修希望者は抽選科目申込期間（P28参照）に教務システム「履修登録」で申し込みを行うこと。抽選を実施する科目は、以下になる。

【基本科目】

科目名	担当教員名
理論経済学 A・B	植村 博恭
商業総論 A・B	庄司 真人

- ①履修希望者が教室定員を超過した場合に抽選を実施する。
- ②教室定員は、教務システム「履修登録」で確認すること。
- ③抽選に漏れた場合、履修登録はできない。定員に達していない場合も同様である。
- ④複数の科目を申し込むことはできるが、履修決定後の変更や取消は一切認めないため、注意すること。なお、履修上限を超過している場合は、すべての申込を無効として扱う。
- ⑤同一曜日・時限に他の抽選科目を申し込むことは禁止とする。複数申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。
- ⑥申込方法は履修登録方法と同じであるため、WEB履修登録要領（P53～66）を確認すること。A・Bともに希望する場合は、春学期、秋学期ともに申し込むこと。
- ⑦抽選結果については、4月9日（水）20時ごろに教務システム「抽選結果照会」に科目名が表示される。
- ⑧クラス必修科目と重複している場合は、必修科目が優先となる。
- ⑨**申込後や抽選後のキャンセルは一切受け付けない。**

(6) 総合学際演習・商学専門演習

- ① 商学部事務室が履修登録を行う。
- ② 成績評価については、通年評価とし、翌年の3月に春・秋学期ともに開示される。
- ③ 4月募集がある場合はOh-o! Meijiおよび掲示で指示する。ただし、すでに入室が決まっている者は受験できない。

(7) 応用展開科目

① 全学共通総合講座について

- ア 履修登録期間が異なるため、必ず全学共通総合講座シラバス及び履修の手引きを大学ホームページ又はOh-o! Meijiで確認すること。
- イ 履修希望者は、初回の授業に必ず出席すること。

注意 ・昨年度以前に単位を修得した科目は、異なるテーマでも履修はできない。

例：1年次に総合講座A（図書館活用法）の単位を修得した場合、2年次に総合講座A（青年社長育成講座）は履修できない。ただし、総合講座Bは履修可能。総合講座A、総合講座B、総合講座C、総合講座Dは在学中に各1回のみ履修できる。

・総合講座A、Bを受講していない場合でも、3・4年次に総合講座C、Dを取ることは可能である。

② 特別テーマ実践科目

ア 小グループに分かれ、社会に実在する課題を読み解き、解決策を企画・実行する。その後、成果報告を行うなど、ゼミ同様に実践的な課題解決プロセスを経験できる科目である。

イ 履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。

ウ 一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。詳細は、各科目のシラバスで確認すること。

エ 特別テーマ実践科目の履修登録は商学部事務室が行う。履修申し込みをした学生は、4月17日（木）以降に教務システム「My時間割」から履修希望をした科目が登録されているか確認すること。

オ **履修決定後のキャンセル・履修削除は認めない**ため、熟考の上、履修すること。

カ 同一曜日・時限に抽選科目（P28参照）を申し込むことは禁止とする。重複して申し込んでいることが判明した場合はすべての申込を無効とする。

キ 開講曜日・時限に必修科目がある場合は、必修科目が優先となる。ただし、他の科目に振替履修している場合は除く。振替履修対象科目は英語講読、口語英語、2年次の初習外国語科目の一部。

ク 在学中、各科目は2回（例：Aを2回、Bを2回）までしか履修することができない。但し、同一教員による・同一テーマの科目の単位修得は在学中に1回のみ限定される。

ケ 科目に関する詳細はP123を参照。

③ 特別テーマ研究科目

ア 履修に関して、抽選申込、選抜などの条件はない。履修登録期間に各自が登録を行うこと。

イ 在学中、各科目は2回（例：Aを2回、Bを2回）までしか履修することができない。但し、同一教員による・同一テーマの科目の単位修得は在学中に1回のみ限定される。

ウ 科目に関する詳細はP125を参照。

④ 特別テーマ海外研修科目

ア 海外で、実践的なビジネス英語と本場のワインやファッションビジネスを学べる。

イ 2単位（卒業要件に含まれる）。履修制限単位を超えて、履修できる。

ウ 履修登録方法・募集要項等の詳細は確定次第、Oh-o! Meiji等で通知する。

エ 科目に関する詳細はP127を参照。

(8) 情報関係科目 (ICTベーシックなど)

- ① 「その他」科目群の卒業要件科目として、履修制限単位に含まれる。ただし、1年次に「ICTベーシックⅠ」の単位を修得できなかった者(成績評価がFまたはTの場合)が、2年次に情報関係科目を履修する際は、「ICTベーシックⅠ」を再履修することが必須となる。
- ② 商学部の履修登録とは別途に履修登録が必要となる。履修希望者は、大学ホームページに公開されているガイダンス動画を確認し、情報関係科目シラバスを熟読したうえで申込を行うこと。
- ③ この科目に関する詳細は、和泉キャンパスメディア棟1階のサポートデスクへ確認すること。または、wsd@meiji.ac.jp に尋ねること。

(9) 資格課程関係科目

- ① 資格課程関係科目の履修者は、資格課程関係科目のうち学部設置科目から8単位までを卒業に必要な単位数に含めることができる。(2017年度以降入学者のみ)
- ② 卒業に必要な単位数に含める場合は履修制限単位の対象となる(春22単位・秋22単位)
- ③ 卒業要件単位として認められる科目は、「資格課程関係科目」(P86・P101参照)のみである。
- ④ 8単位を超過した分については、卒業に必要な単位には含まれない。
- ⑤ 卒業に必要な単位数に含める場合は、履修登録期間に「資格課程関係(卒単内)」と表記された科目を登録すること。登録期間外での変更はできないため、注意すること。

例：卒業に必要な単位数に含める場合 → 日本史概論(担当者名)/資格課程関係(卒単内)

例：卒業に必要な単位数に含めない場合 → 日本史概論(担当者名)/資格課程関係(卒単外)

(10) 学部間共通外国語科目

学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目以外を履修し、単位を修得した場合が対象となる。

振替対象科目(これらの科目については対象外となる)

ドイツ語会話ⅡA, ドイツ語会話ⅡB, ドイツ語会話ⅢA, ドイツ語会話ⅢB,
フランス語会話ⅡA, フランス語会話ⅡB, フランス語会話ⅢA, フランス語会話ⅢB,
(以上、8科目)

【学部間共通外国語を必修語学科目の振替ではなく、卒業要件外科目として履修登録する場合の手順】

1 学部間共通外国語シラバスを読む。

2 シラバスをよく読んで履修申し込みを行う。

※事前抽選があるため、注意すること。



学部間共通外国語シラバス掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/jikan/syllabus.html>

(11) グローバル人材育成プログラム

- ① 履修希望者は大学ホームページを確認し、グローバル人材育成プログラム科目シラバスを熟読したうえで申込を行うこと。
- ② この科目の内容に関する詳細は国際連携事務室へ確認すること。
- ③ 2023年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取り扱いを、2025年度の履修登録から変更する。なお、2024年度までに修得した科目の単位を卒業要件単位に含めることはできない。

	履修制限単位	修得単位
2024年度履修登録まで	含めない	卒業に必要な単位数に含めない
2025年度履修登録から	含める	卒業に必要な単位数に含める（フリーゾーン）

- ④ 2018～2022年度入学者の単位取扱いはP47を参照すること。

(12) 他学部履修

- ① 商学部に設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に20単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではない。詳細はOh-o! Meijiの学年向けガイダンスグループで確認すること。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載に関わらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数（在学中20単位）を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。

(13) その他履修の注意事項

- ① 既に単位修得した科目は教員が異なっても再度履修はできない。
例：1年次に日本語表現論A（石出先生）の単位を修得した者が2年次に日本語表現論A（片山先生）を履修することはできない。
- ② 「選択スポーツ実習」「選択集中スポーツ実習」は、他学部履修に含まれない。

7. 再履修科目について **重要**

- (1) 卒業要件科目の再履修科目は2年次の履修制限単位（春学期22単位・秋学期22単位）に含む。
- (2) 再履修が必須となる科目は、以下の通り。
語学の必修科目および体育・スポーツ実習A・B、基礎演習、文章表現、経済学A・B。履修登録をしない場合は、履修エラーとなる。
- (3) 1年次の必修科目の単位未修得者は、2年次で必ず再履修すること。
- (4) 1年次の評価が「T」または「F」だった科目は翌年以降、再履修することができる。複数の担当者がいる場合は担当者を変更して再履修してもよい。
- (5) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、基礎演習、文章表現、体育・スポーツ実習を再履修する場合は、授業時間割表に「再履」と表記されている授業を履修すること。
- (6) 韓国語の再履修は1年生の授業時間割表を確認し、自身が希望する1年生の授業を履修登録期間に履修登録すること。
- (7) ロシア語、日本語の再履修科目は、事務室で履修登録を行う。個別に授業の曜日・時限をお知らせするため、選択はできない。
- (8) 昨年度、必修の英語科目（口語英語・英語講読）を「上級英語、基礎英語」に振り替えて履修した者のうち、単位を修得できなかった者は今年度、商学部2年生の授業時間割表にある再履修クラスを履修すること。
- (9) スポーツ特別入試入学者で昨年度、スポーツ語学（英語・ドイツ語・中国語）の履修者で単位を落とした者は商学部の再履修クラスを履修すること。あらかじめ、成績通知書を出し、自分が単位を取得できなかった科目の正式名称を把握した上で申し込みを行うこと。
- (10) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・基礎演習・文章表現の再履修は、以下の通り、WEB上で事前の申し込みの上、抽選をおこなう。申し込みをしていない者の履修は認めない。
抽選科目決定後の取り消しはできない。また、抽選期間に申し込みを忘れた者は、先着申込期間で申し込みを行うこと。

再履修科目の履修申込・日程について

科目名 口語英語（1年）Ⅰ・Ⅱ、英語講読（1年）Ⅰ・Ⅱ、初級ドイツ語Ⅰ～Ⅳ
初級フランス語Ⅰ～Ⅳ、初級中国語Ⅰ～Ⅳ、初級韓国語Ⅰ～Ⅳ、
初級スペイン語Ⅰ～Ⅳ、基礎演習・文章表現

【抽選科目申込期間】

日 時 4月8日（火）13時 ～ 4月9日（水）9時30分

登録方法 WEB抽選（履修希望人数が定員を上回った場合）

抽選結果 4月9日（水）20時 発表予定（教務システム「抽選結果照会」より確認）
当選の場合、科目名が表示される。

- (11) 授業時間割表において、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語の再履修クラスでは、同じ曜日・時限・担当者・教室で「口語英語Ⅰ」「英語講読Ⅰ」等のように複数の科目名が表記されているが、この授業を履修した場合は「口語英語Ⅰ」もしくは「英語講読Ⅰ」の履修となる。「口語英語Ⅰ」と「英語講読Ⅰ」の2科目分の単位を修得できるわけではないため、注意すること。

- (12) 経済学 A・B を再履修する際は、2 年生授業時間割表に記載のある科目を履修登録期間に履修登録すること。1 年次とは異なり、クラス指定はない。
- (13) 体育・スポーツ実習 A・B の単位未修得者は再履修クラスの体育・スポーツ実習 A・B の初回授業に必ず参加すること。初回の集合場所については、体育館掲示板で確認してください。

体育・スポーツ実習 A	春学期 水曜 5 限	三浦 康二
体育・スポーツ実習 B	秋学期 水曜 5 限	三浦 康二
体育・スポーツ実習 B	春学期 金曜 5 限	後藤 肇
体育・スポーツ実習 A	秋学期 金曜 5 限	後藤 肇

- (14) 再履修科目は授業に必ず出席しなければならない。
- (15) 科目名が同一であれば、1 年次の春学期に履修して、単位を落とした科目を 2 年次の秋学期に再履修してもよい。
- (16) 再履修科目は、ゼミよりも優先となるため、万が一、曜日時限が重複した場合は、再履修科目が優先となる。
- (17) 再履修科目は必修科目となるため、秋学期の履修修正期間において、追加、削除を含む履修修正はできない。

重要 再履修科目の時間割表での表記および履修登録方法について

再履修科目名	授業時間割表での「組」欄の表記	履修登録方法	注意事項
基礎演習・文章表現 英語（振替を含む） ドイツ語、フランス語、 中国語、韓国語、 スペイン語	再履	事前申込・抽選	申込・抽選等の日程は前ページの「 再履修科目の履修申込・日程について 」を確認。
経済学 A・B	空欄	履修登録期間に登録	授業を自由に選択可能。
体育・スポーツ実習 A・B	再履	履修登録期間に登録	
ロシア語・日本語	時間割表に表記なし 別途配布。	学部事務室が登録	商学部事務室より別途連絡
上記以外の科目	空欄	履修登録期間に登録	

8. 進級条件について

2 年次の終わりまでに在学年数 2 年以上を経過し、次の要件を満たさなければ 3 年へ進級することができない。協定留学または認定留学の期間は、在学年数に計上する。

入学年度によって、進級条件が異なるため、注意すること。

〔2021 年度以降入学者〕

- 基礎教育科目（基礎演習・文章表現・経済学 A・B）4 単位
- 既習外国語（必修）3 単位・初習外国語（必修）3 単位
- 体育・スポーツ実習 A・B 2 単位
- 上記(1)～(3)を含め、卒業要件科目から合計 42 単位以上修得すること。

〔2020年度以前入学者〕

- (1) 基礎教育科目（基礎演習・文章表現・経済学A・B）4単位
- (2) 既習外国語（必修）4単位・初習外国語（必修）2単位 または
既習外国語（必修）2単位・初習外国語（必修）4単位
- (3) 体育・スポーツ実習A・B 2単位
- (4) 上記(1)～(3)を含め、卒業要件科目から合計42単位以上修得すること。

9. その他の注意事項について

- (1) 学費について
 - ① 学費の振込用紙が届かない場合、以下の理由が考えられる。
住所を移転したが、大学に住所変更を届け出していない。（大学に届け出していない場合でも、郵便局に転送届を出せば、転送される。住所移転時は必ず転送届を提出すること。）
住所変更はOh-o! Meijiアンケート（住所変更）で行うこと。
 - ② 学費が期日までに支払えない場合、学費の延納願いを提出する必要がある。詳細は商学部事務室に問い合わせること。
- (2) 証明書について
 - ① 在学証明書・学割証等は和泉キャンパス第一校舎1階事務室前の証明書自動発行機で発行できる。発行時には学生証とパスワードが必要となる。
 - ② 一部の証明書は、証明書学外発行サービスから、コンビニエンスストア等で発行が可能。詳細は、以下のURLから確認すること。
<https://www.meiji.ac.jp/certificate/6t5h7p00003d0aza.html>
- (3) Oh-o! Meijiなどの大学提供の情報サービスに関する問い合わせ
 - ① 情報関係の質問は、以下のアドレスで確認すること。
wsd@meiji.ac.jp
 - ② 大学の情報設備（Wi-Fi, VPN, MeijiMailの多要素認証設定）を利用する上で、MIND利用講習会を受講する必要がある。詳細は、上記のメールアドレスに問い合わせること。
 - ③ 明治大学では、Microsoft, Apple, Adobeのソフトウェアを安く購入することが出来る。詳細は、上記のメールアドレスに問い合わせること。
- (4) 教科書販売について
 - ① 教科書は、シラバス及び各授業科目担当者の指示を確認すること。
 - ② 教科書は、履修が確定したものから購入すること。
 - ③ 教科書販売については、詳細をOh-o! Meijiより通知する。
- (5) 履修以外の問い合わせについて
 - ① 授業科目の履修及び事務手続等で不明な点がある場合は、和泉キャンパス第一校舎1階の商学部事務室（和泉）の窓口に来ること。電話での履修相談は受け付けないので、注意すること。
- (6) 資格試験等について
 - ① 英語関連資格検定 …商学部では、TOEIC IPテスト、TOEFL ITPテストの団体受験を無料で行っている。詳細は4月頃にOh-o! Meijiより通知する。なお、TOEIC・TOEFL等の英語関連資格検定の個別の受験料補助は行っていない。

- ② その他、以下の検定等について助成を行っている。詳細は、Oh-o! Meijiより通知する。
初習外国語検定、日商簿記検定、統計検定、法制研究所・行政研究所・経理研究所在籍料等、
リバティアカデミー講座受講

(7) 学内設備について

- ① 明治大学図書館では、新聞記事や日
経テレコン等のオンライン情報源に
アクセスすることができる。詳細は、
以下のアドレスで確認すること。

メールアドレス：

lib-webmaster@lib.meiji.ac.jp



明治大学図書館オンライン情報源掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/library/search/e-resource.html>

(8) 新年度行事に関する配布資料について

- ① 新年度の配布した書類を紛失した者は以下のQRコードからも確認することができる。



新年度配布資料掲載ページ

URL: <https://www.meiji.ac.jp/shogaku/information/2025shinnendohaifu.html>

商学部で何を深く学びたいかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ① クラス指定の必修科目の曜日、時限を確認しましょう。必修科目を再履修しなければならない場合、再履修クラスの曜日、時限を確認してください。
- ② 入室試験で合格した演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ③ 自分の学びたいことを確認しながら、秋学期に行われるコース選択にも役立つ、基本科目、総合教育科目から履修したい科目を選びましょう。その際、各科目の単位をどれだけ修得できたかを確認し、卒業要件を満たすようにしましょう。
- ④ 大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ⑤ 「特別テーマ実践科目」は、初回授業で科目担当教員が履修者を選考し、決定します。履修を希望する方は、初回授業へ必ず出席してください。
- ◎ 授業中の写真等の撮影について
- 授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

2 年生向け履修チェックシート

履修エラーが生じた場合、期間内に修正する必要があります。手続きに多大な時間を要することが予想されます。そのため、履修登録完了前に当シートで確認し、エラーを起こさずに履修登録を行ってください。

全員が確認する項目

- ☐ P68を見て、Oh-o! Meijiより自身の携帯端末のメールアドレスへの転送設定を行った。
- ☐ 春学期だけではなく、秋学期分の履修登録を行った。
- ☐ 履修上限を超えていない（春22単位・秋22単位）。
- ☐ 英語の履修単位の合計が4である（春2単位・秋2単位）。ただし、再履修がある者はこれに再履修分が加算される。
- ☐ 初習外国語の履修単位の合計が4である（春2単位・秋2単位）。ただし、再履修がある者はこれに再履修分が加算される。
- ※1年次に初習外国語の取得単位数が0～1の者は再履修分のみの履修となる。

該当者のみが確認する項目

- ☐ クラス指定の語学（英語および初習外国語）を履修する学生は、自身のクラスの科目を間違いないで履修を登録した（春学期・秋学期ともに）。
- ☐ 中級ドイツ語Ⅲ～Ⅳ、中級フランス語Ⅲ～Ⅳを選択クラスで履修登録する場合、学部間共通外国語科目（ドイツ語会話、フランス語会話）を振替による履修登録をしていない。
- ☐ これまでに初習外国語（初級〇〇語Ⅰ～Ⅳ）の修得単位数が0～1である学生は「中級〇〇語Ⅰ～Ⅳ」を履修登録していない。
- ☐ 1年次に不合格だった英語科目の再履修として、上級英語、基礎英語を履修登録していない。
- ※商学部時間割に掲載されている再履表記のある科目を履修する。

以 上

— 3・4年生用 —

1. 授業について

- (1) 授業は、4月10日（木）から開始する。
- (2) 授業形態については、Oh-o! Meijiシラバスより確認すること。

2. 仮参加機能について

- (1) 履修登録期間前は、Oh-o! Meijiの仮参加機能（P10参照）を使うことで、授業に参加することができる。
- (2) 履修登録期間前の授業に関するお知らせ等を確認するには、仮参加の設定が必要である。
- (3) 仮参加は上限単位数を超えて登録することができる。履修登録を検討している科目へ仮参加し履修計画を立てること。
- (4) 仮参加機能は、履修登録期間後に自動で解除される。
- (5) 仮参加と履修登録は異なる。必ず履修登録を行うこと。

3. 履修について

- (1) 履修登録スケジュールについて

① 駿河台抽選科目申込期間	4月4日（金）13時 ～ 4月5日（土）9時30分
---------------	---------------------------

「マーケティング企画A・B」、「経済予測入門A・B（2020年度以前入学者は、「経済予測入門」）」「計量経済学A・B」「メディアとリテラシー」「ベンチャービジネス論」は抽選により履修者を決定する。履修登録期間での申込は受け付けない。別途WEBでの抽選登録が必要のため、Oh-o! Meijiのガイダンスグループで詳細を確認すること。

② 和泉開講再履修科目申込期間	4月8日（火）13時 ～ 4月9日（水）9時30分
-----------------	---------------------------

「基礎演習」、「文章表現」、1年次配当の必修初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語）は、別途WEBでの抽選登録が必要である。詳細は、Oh-o! Meijiのガイダンスグループで確認すること。

③ 履修登録期間	4月12日（土）9時30分 ～ 4月14日（月）9時30分（厳守）
----------	-----------------------------------

ア 2025年度に履修する授業科目は、**春学期と秋学期の両学期分**の履修科目を登録すること。履修制限単位数を超過しないこと。

イ **メディア授業科目や履修者数の多い授業科目等は、履修修正期間及び秋学期履修修正期間での追加は認められない。**履修計画を熟考し、登録を希望する科目は当該期間内に登録すること。

ウ 履修登録をしていない場合、たとえ授業に出席し、定期試験を受験しても単位は認めない。

エ 履修登録はWEB登録となる。詳細は、「WEB履修登録要領」（P53－66）を確認し、期日を守って登録すること。

オ 学部共通科目（情報関係科目・全学共通総合講座・資格課程科目・グローバル人材育成プログラム科目）の履修登録期間の詳細はHPやシラバス等で確認すること。

【HP】<https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/>

④ My時間割の確認 4月15日（火）9時～

- ア 履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目がMy時間割に表示されているか確認すること。
- イ 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

⑤ 履修修正期間 4月19日（土）9時30分 ～ 4月21日（月）9時30分

- ア 履修の追加登録や、誤登録した科目削除等の修正を行う場合は、必ず当該期間内に行うこと。自己都合による事後の修正は一切認められない。
- イ 一部授業科目（「メディア授業科目」及び履修登録者が多かった授業科目等）の追加は認められない。また、事務室による事前登録科目（必修科目等）や、抽選や選考等により履修が認められた科目の履修削除も認められない。詳細は商学部事務室からOh-o! Meiji等で連絡する。

⑥ My時間割の再確認 4月22日（火）～

- ア 履修修正の結果が反映されているか、必ず確認すること。
- イ 履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

(2) 履修制限単位について

履修制限単位 (2021年度以降入学) 春学期22単位・秋学期22単位 に含まれる科目 (2020年度以前入学) 春学期24単位・秋学期24単位 に含まれる科目	新規履修科目	①商学部設置科目 ②情報関係科目 ③全学共通総合講座 ④他学部履修科目（認められた科目のみ） ⑤学部間共通外国語科目（必修科目に振り替えて履修する場合） ⑥資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。8単位まで。ただし、2017年度以降入学のみ） ⑦グローバル人材育成プログラム科目（2023年度以降入学）*1
履修制限単位以外 に履修できる科目	新規・再履修科目	上記①～⑦の科目で、前年度以前の単位が未修得のため、再度履修する場合 ①学部間共通外国語科目（卒業要件外として履修する場合）*2 ②グローバル人材育成プログラム科目（2022年度以前入学）*2 ③国際教育プログラム基幹科目（他学部開講科目の場合）等 ④資格課程関係科目（資格課程履修者のみ登録可。卒業要件外として履修する場合） ⑤大学院商学研究科博士前期課程設置科目（4年次に限り16単位まで履修可） ⑥専門職大学院会計専門職研究科設置科目（最終学年次に限り10単位まで履修可）

- (*1) 2025年度から、2023年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取扱いを変更する。詳細はP48を確認すること。
- (*2) 2018～2022年度入学者は、1年生から3年生の間に卒業要件外として履修・修得した学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム科目を、フリーゾーンの単位として4単位までを上限に卒業要件に参入する申請を行うことができる。詳細はP47を確認すること。

4. 科目履修に関する注意点

(1) 外国専門書講読について

3年生については、外国専門書講読は商学部事務室が履修登録を行う。4年生で再履修の必要がある場合は、昨年度と同様の教員が担当する外国専門書講読を自身で履修登録すること。春・秋学期各々3分の2以上出席しない場合、評価の対象とならないので留意すること。

① 2022年度以前入学者

外国専門書講読（各コース）は必修科目である。必ず指定された、曜日、時限の授業を受けること。変更は認めない。

② 2023年度以降入学者

外国専門書講読は基幹英語科目群の選択必修科目の一つである。指定された曜日・時限の変更は認めないが、外国専門書講読の代わりに、「Applied Commerce A・B」、もしくは基幹科目の英語開講科目に変更することができる。詳細は、Oh-o! Meijiのガイダンスグループで確認すること。

(2) 商学専門演習について

商学専門演習は通年評価である。修得単位の卒業要件への算入は入学年度によって異なるため注意すること。

① 2022年度以前入学者

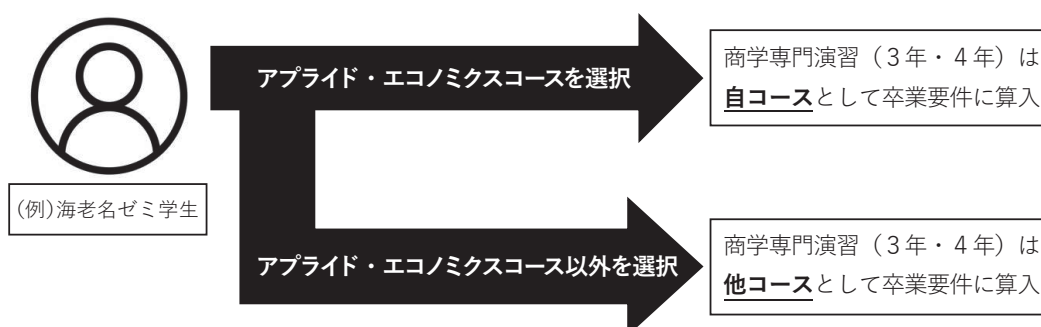
商学専門演習（2年～4年）はすべて基幹科目群（48単位）に算入する。自コースには含まれない。

② 2023年度以降入学者

商学専門演習（2年）は基本科目、商学専門演習（3年）・商学専門演習（4年）は自身のコースと教員の所属コースによって算入先が異なる。

	2023年度以降入学者
商学専門演習（2年）	基本科目群に算入
商学専門演習（3年）	演習担当教員が、自コース所属教員の場合、基幹科目群自コースに算入。
商学専門演習（4年）	演習担当教員が、他コース所属教員の場合、基幹科目群他コースに算入。

(例) 海老名剛先生（アプライド・エコノミクスコース所属）商学専門演習を履修している学生の場合



(3) 国際マーケティング論A・Bについて

「国際マーケティング論A・B」はクラス指定がある選択科目である。クラス分けは以下の表を確認すること。

組	曜日時限・教員
3年(1組～16組) 4年(1組～17組)	木曜1限：鈴木 仁里 先生
3年(17組～33組) 4年(18組～34組)	木曜3限：深澤 琢也 先生

(4) 既習外国語と初習外国語の必修科目（再履修）について

- ① 初習外国語の初級外国語（1年次配当）の再履修科目は、和泉キャンパスで履修すること。
既習外国語（1・2年次配当）及び初習外国語の中級外国語（2年次配当）の再履修科目は駿河台キャンパスで履修すること。ただし、ロシア語・日本語の選択者は、1年次・2年次配当のいずれも、再履修は和泉キャンパスで履修すること。ロシア語・日本語の再履修科目は、事務室で登録を行う。
- ② 中級韓国語（2年次配当）は、駿河台キャンパスで1科目のみ開講している。2科目以上の履修を希望する場合は、和泉キャンパスで不足分を履修する必要があるため、登録方法を商学部事務室へ相談すること。
- ③ 協定留学等で2年次に既習外国語と初習外国語を履修せず、3年次に進学した場合は、和泉キャンパスではなく、駿河台キャンパスで開講している再履修科目を履修すること。なお、1・2年次に「上級英語」「基礎英語」の単位を修得できなかった者は、修得できていない学年・学期の「口語英語」又は「英語講読」を再履修すること。

(5) 既習外国語と初習外国語の選択科目（3・4年次配当）について

- ① 既習外国語は「発展英語」（半期科目）を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同時に複数の「発展英語」を履修することができる。
- ② 初習外国語は「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」（それぞれ半期科目）を、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「上級ドイツ語」、「上級フランス語」、「上級中国語」、「上級韓国語」、「上級スペイン語」を履修することができる。
- ③ 初習外国語について、さらに深く学ぼうとする学生のために、発展クラスを設置している。シラバスの「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」をそれぞれ参照し、受講を希望するものは、初回の授業に必ず出席すること。発展クラスは、春学期・秋学期の両方、または半期で履修することができる。また、いずれの学期も同じ科目が複数開講されている場合、同時に複数の「発展ドイツ語」、「発展フランス語」、「発展中国語」、「発展韓国語」を履修することができる。

(6) 特別テーマ実践科目について

特別テーマ実践科目は、春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業で履修者を選考し、決定する。特別テーマ実践科目の履修を希望する場合は、初回授業へ必ず出席すること。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考、決定するため各担当教員のシラバスを確認すること。履修にあたっての注意事項等、詳細はP123を参照のこと。

(7) メディア科目について

科目名称の末尾に〔M〕が表示されている科目はメディア授業科目である。メディア授業科目は、在学時に60単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に参入できる。メディア授業科目には授業全てをオンラインで実施するフルオンデマンド型と、メディア授業と対面授業を組み合わせて実施するオンデマンド・対面併用型があるため、各科目のシラバスを確認すること。

(8) 他学部履修について

- ① 商学部設置されていない、他学部の授業科目を履修することを他学部履修といい、在学中に20単位まで履修することができる。
- ② 他学部履修の履修単位は、各年次の履修制限単位数の中に含まれる。
- ③ 他学部が開講する全科目の履修が認められるわけではない。詳細はOh-o! Meijiのガイダンスグループで確認すること。
- ④ 申込は、履修登録期間内に教務システム「履修登録」で行う。
- ⑤ 他学部開講科目には抽選を行う科目がある。
- ⑥ 上記②の記載に関わらず、海外留学を伴う他学部開講科目は、他学部履修の上限単位数（在学中20単位）を超えない場合に限り、各年次の履修制限単位数に含めずに履修できる。ただし、4年次については、秋学期開講科目の履修追加を認めない。また、主催学部が許可する場合は、履修登録および単位付与を伴わない形式で参加することができる。

(9) 学部間共通外国語科目・グローバル人材育成プログラム科目について

① 2018～2022年度入学者

- ア 1年生から3年生の間に「卒業要件外」として履修・修得した科目を、4年次の春学期に商学部事務室（駿河台）に申請した場合、フリーゾーンの単位として4単位までを上限に卒業要件に参入する。対象者には申請方法等の詳細を、4月上旬にOh-o! Meijiから配信する。なお、**4年次に履修したものは対象外となるため注意すること。**
- イ 4年次の申請により卒業要件への算入を認められた該当科目は、**4年次に修得しなければならない最低12単位分の科目には含まれない。**
- ウ **4年次の申請により卒業要件への算入を認められた該当科目は、4年次春学期の履修制限単位数に含まれる。**
- エ 該当科目の修得年度は、実際に履修した年度のままで変更はされない。
- オ 学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目以外を履修し、単位を修得した場合が対象となる。振替申請をせず、振替対象科目を卒業要件外として登録した場合も申請対象外となるので注意すること。

カ 学部間共通外国語・グローバル人材育成プログラム科目の詳細については、明治大学HPを確認すること。

② 2023年度以降入学者

ア 学部間共通外国語科目については、各語学科目の振替対象科目（P22参照）以外は「卒業要件外」としてのみ履修が可能となる。

イ 2023年度以降入学者のグローバル人材育成プログラムの単位取り扱いを、2025年度の履修登録から次のとおり変更する。

	履修制限単位	卒業要件単位
2024年度履修登録まで	含めない	含めない
2025年度履修登録から	含める	含める（フリーズゾーン）

ウ 2024年度までに履修したグローバル人材育成プログラム科目については「卒業要件外」科目となる。また、既に履修・修得した科目の単位を卒業要件単位に含めることは認められない。

③ 2017年度以前入学者

ア 入学年度の便覧を参照すること。

(10) 大学院商学研究科博士前期課程設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目について
大学院商学研究科博士前期課程設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目を履修する際は、所定の手続きを行うこと。なお、これらは商学部の卒業要件には含まれない（ただし、修得した単位はそれぞれに入学後、修了に必要な単位数に算入することができる）。

5. その他の注意事項

① 休学・留学に伴う履修登録について

春学期休学・留学予定（もしくは留学中）の場合の秋学期の履修登録は、秋学期履修修正期間に登録できない科目もあるので、必ず春学期履修期間で履修登録すること。

また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。

② キャンパス間移動について

同じ日に他キャンパスで開講している科目を連続して履修する場合は、2限と3限の連続に限る。それ以外の場合は、キャンパス間の移動時間を考慮し、1コマ以上空けること。

③ 学部共通科目について

学部共通科目（情報関係科目・全学共通総合講座・資格課程科目・グローバル人材育成プログラム科目）の履修登録期間の詳細はHPやシラバス等で確認すること。

【HP】 <https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/>

6. 卒業要件について

(2022年度以前入学者)

科目群			単位数		備考
基礎教育科目	基礎演習	必修	2	8	
	文章表現	必修	2		
	経済学A	必修	2		
	経済学B	必修	2		
外国語科目	既習外国語	必修	8		英語
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）		
	初習外国語	必修	8		1カ国語を選択
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）		
総合教育科目	文化と芸術		4	24	総合教育科目の3分野から4単位以上を含め、総合教育科目と総合学際演習から合計24単位以上。留学生は「日本事情A～F」のうち8単位を含めることができる
	地域と社会		4		
	人間と自然		4		
総合学際演習	総合学際演習				
保健体育科目		必修	2		「体育・スポーツ実習A・B」は必修科目
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）		
基本科目			16		
基幹科目	自コース科目		28	48	自コースの「外国専門書講読（春・秋）4単位を含め28単位以上かつ、自コース科目・他コース科目・商学専門演習を合わせて48単位以上
	他コース科目				
商学専門演習	商学専門演習				
応用展開科目			フリーゾーン（任意選択科目）20単位 ※基礎教育科目・必修語学を除く科目群から各要件単位を超えて修得した単位はフリーゾーン（任意選択科目）となる。		
その他					
資格課程関係科目 (8単位まで※2017年度以降入学者のみ)					
他学部履修科目					
学部間共通外国語 国際協力人材育成プログラム 日本ASEAN相互理解プログラム グローバル人材育成プログラム (4単位まで※2018年度以降入学者のみ)					
合 計			134		

注意事項

- 卒業に必要な単位数は、134単位以上とする。
- 各科目群の必要な単位数を、満たすこと。
 - ① 「文化と芸術」、「地域と社会」及び「人間と自然」の3分野からそれぞれ最低4単位ずつ、合計24単位以上を修得しなければならない。
 - ② 総合学際演習の修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。
 - ③ 基幹科目は、選択したコース科目のうちから、各コースの外国専門書講読（必修、春学期・秋学期各2単位の計4単位）を含め28単位以上と、自コース科目・他コース科目・商学専門演

習の単位を合わせて、48単位以上を修得しなければならない。なお、入学年度によって自コース科目が一部異なるので、注意すること。自コースの基幹科目は、P87以降の授業科目を参照すること。

- 基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン（任意選択科目）とし、20単位を卒業要件とする。

例）卒業までに、基本科目を20単位修得した場合、20から「基本科目の卒業までに必要な単位である16」を差し引いた4単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される

- 4年次においては、最低12単位以上を修得しなければならない。この単位は新規履修・再履修の区別なく卒業要件科目のうちから修得すること。この条件が満たされない場合、たとえ他の卒業要件が全て満たされても卒業することができない。また、この条件で原級した者は、残りの単位を修得しなければならない。

（2023年度以降入学者）

科目群			単位数		備考		
基礎教育科目	基礎演習	必修	2	8			
	文章表現	必修	2				
	経済学A	必修	2				
	経済学B	必修	2				
外国語科目	既習外国語	必修	8		英語		
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）				
	初習外国語	必修	8		1か国語を選択		
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）				
総合教育科目	文化と芸術		4	24	総合教育科目の3分野から4単位以上を含め、合計24単位以上。留学生は「日本事情A～F」の8単位を含めることができる。		
	地域と社会		4				
	人間と自然		4				
総合学際演習	総合学際演習						
保健体育科目		必修	2		「体育・スポーツ実習A・B」は必修科目		
		選択	フリーゾーン（任意選択科目）				
基本科目			16		商学専門演習（2年）は基本科目		
商学専門演習	商学専門演習（3・4年）		48			自コースのゼミに所属している場合には、 自コース科目（28単位）に含める	
基幹科目	自コース						28
	他コース						
	基幹英語科目		4				
応用展開科目			フリーゾーン（任意選択科目）12単位 ※基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した単位はフリーゾーン（任意選択科目）となる。				
その他							
資格課程関係科目(8単位まで)							
他学部履修科目							
グローバル人材育成プログラム科目（2025年度以降に修得した単位）							
合 計			126				

注意事項

1. 卒業に必要な単位数は、126単位以上とする。
2. 各科目群の必要な単位数を、満たすこと。
 - ① 「文化と芸術」、「地域と社会」及び「人間と自然」の3分野からそれぞれ最低4単位ずつ、合計24単位以上を修得しなければならない。
 - ② 総合学際演習の修得単位は、総合教育科目の単位数に含めることができる。
 - ③ 基本科目より16単位修得すること。商学専門演習（2年）も基本科目に算入する。
 - ④ 基幹科目については、48単位のうち28単位以上は、自らが選択したコースの指定した科目を修得しなければならない。
 - ⑤ 商学専門演習（3年）・商学専門演習（4年）は演習担当教員が、自コース所属教員の場合、基幹科目群「自コース」に算入する。演習担当教員が、他コース所属教員の場合は基幹科目群「他コース」に算入する。
 - ⑥ 基幹英語科目については、原則、「外国専門書講読」、「Applied Commerce A・B」、「特別認定科目（基幹英語科目）」の中から4単位以上を修得すること。なお、事前に申請を行うことで英語で授業が行われる基幹科目を基幹英語科目とすることができる。Oh-o! Meijiのガイダンスグループで詳細を確認すること。
3. 基礎教育科目・必修外国語科目を除く科目群から各要件単位を超えて修得した科目をフリーゾーン（任意選択科目）とし、12単位を卒業要件とする。

例）卒業までに、基本科目を20単位修得した場合、20から「基本科目の卒業までに必要な単位である16」を差し引いた4単位がフリーゾーンとして卒業要件に算入される
4. 4年次においては、最低12単位以上を修得しなければならない。この単位は新規履修・再履修の区別なく卒業要件科目のうちから修得すること。この条件が満たされない場合、たとえ他の卒業要件が全て満たされても卒業することができない。また、この条件で原級した者は、残りの単位を修得しなければならない。

7. 定期試験について

定期試験の時間割は必ず商学部ホームページにて確認すること。

定期試験期間中に行われる試験は、通常授業の時間帯と異なることがあるので注意すること。

8. 卒業見込みについて

最終年次の前年度末までに、所定の在籍年数を満たし卒業要件科目から92単位以上を修得した者には、最終年次の4月上旬に卒業見込証明書の発行が可能となる（就職活動の際、必要となる場合がある）。

3年次では、商学部で何を深く学びたいかを考えながら、時間割を作成しましょう。

- ①指定された外国専門書講読の曜日、時限を確認しましょう。必修科目を再履修しなければならない場合、再履修クラスの曜日、時限を確認してください。
- ②所属している演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ③自分の選択したコースの基幹科目から履修したい科目を選びましょう。総合教育科目、基本科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、こちらも履修しましょう。
- ④大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ⑤履修登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

◎授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

4年次では、商学部の卒業要件を満たせるかを確認しながら、時間割を作成しましょう。

- ①自分の選択したコースの基幹科目、他コースの基幹科目、総合教育科目、基本科目などで、卒業要件を満たしていない場合には、必ず余裕をもって履修しましょう。
- ②4年次には、卒業要件科目のうちから、最低12単位を修得しなければいけません。
- ③所属している演習科目の曜日、時限を確認しましょう。
- ④大学の単位は、授業以外の事前学習、事後学習を考慮したものです。1日の時間の使い方についてもよく考え、自分にあった時間割を作成しましょう。
- ⑤履修登録期間前に、事前に抽選等で履修者を決める科目もあるので、注意してください。

◎授業中の写真等の撮影について

授業中の写真等の撮影は、原則認められません。教室は、公共の空間であり、授業中の板書やパワーポイント等のスライドは、著作物に該当するものもあります。

— WEB履修登録要領 —

1. 履修登録について

履修登録に関する日程は以下のとおり。

		期 間	注意事項
抽 選 科 目	注 意 駿河台キャンパス 抽選科目申込	4月4日（金）13時 ～ 4月5日（土）9時30分 【期限厳守】	本冊子（シラバス1）P43、大学ホームページ、Oh-o! Meijiのガイダンスグループ等で各自確認すること。
	注 意 和泉キャンパス 抽選科目申込	4月8日（火）13時 ～ 4月9日（水）9時30分 【期限厳守】	本冊子（シラバス1）P11、P28、大学ホームページ、Oh-o! Meijiのガイダンスグループ等で各自確認すること。
重 要 履修登録期間		4月12日（土）9時30分 ～ 4月14日（月）9時30分 【期限厳守】	本冊子（シラバス1）、大学ホームページ、Oh-o! Meijiのガイダンスグループ等で各自確認すること。
My時間割の確認		4月15日（火）9時～	教務システムにて公開
履修修正期間		4月19日（土）9時30分 ～ 4月21日（月）9時30分	履修修正期間後、自己都合での履修修正は認めないので、十分注意すること。
My時間割の再確認		4月22日（火）～	教務システムにて公開

※履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

【注意事項】

（1）抽選科目申込について

- ① 一部科目は履修登録期間の前に、抽選によって履修者を決定する。
- ② 対象科目は学年により異なる。P11、P28、P43を確認すること。
- ③ 語学の必修科目・基礎演習・文章表現等の再履修科目も抽選によって履修者を決定する。詳細はOh-o! Meijiのガイダンスグループを確認すること。
- ④ 全学共通総合講座、学部間共通外国語、情報関係科目、資格課程関係科目等の一部科目も抽選によって履修者を決定する。P67、大学ホームページ等を参考に各科目の詳細を確認すること。
- ⑤ 抽選の応募には指定の期間内に教務システム等で申し込む必要がある。申込開始日や受付期間、登録方法が科目により異なるため、本冊子、大学ホームページ、Oh-o! Meijiのガイダンスグループ等で確認すること。

(2) 履修登録について

- ① 一部科目は初回授業に出席しなければ、履修登録が認められない。対象科目は本冊子（シラバス1）、大学ホームページ、Oh-o! Meiji等で各自確認すること。
- ② 履修登録は原則として4月の年1回のみである。**秋学期科目も忘れずに登録すること。休学や留学等を理由に春学期通常在籍していない場合も、秋学期履修予定の場合は必ず登録を行うこと**（一部科目は秋学期修正期間の登録が認められない）。また、秋学期に休学・留学予定の学生についても、不測の事態に備え、必ず秋学期分の履修登録を行うこと。休学・留学手続き完了後、該当学期の履修登録科目は事務室で削除する。
- ③ **履修登録していない科目は、たとえ試験を受験しても単位は与えられない。**また、科目名・担当者が同じでも、曜日・時限が履修登録と異なる場合は無効になる。
- ④ 他学部授業科目の履修を希望する場合も、4月12日（土）9時30分～4月14日（月）9時30分までに登録を行うこと。
- ⑤ 1、2年生の一部科目、外国専門書講読（3年生のみ）は事前に登録されている。登録状況は本冊子（シラバス1）のP64に記載している教務システム「My時間割」で確認すること。

(3) 登録環境の注意

- ① 履修登録期間中は、大学のパソコン設置施設は大変混み合う。開室時間・台数は限られるため、自宅等のパソコンを利用し、期限に間に合うよう手続きを行うこと。また、不測の事態（急にインターネットに接続できなくなった、パスワードを忘れてしまった等）に備える意味でも、登録は余裕を持って早めに行うこと。なお、**スマートフォンでは不具合が生じる恐れがあるため、必ずパソコンで登録すること。**
- ② **電話及びメールでは、操作方法に関する問合せには一切応じられない。**この要領を熟読のうえ、登録を行うこと。
- ③ 学外の施設を利用する場合は、パスワードをブラウザに残さないように注意すること。

2. 秋学期履修制度について

春学期の成績評価開示後、秋学期科目の学習計画を変更したい者に限り、所定の手続期間内において、秋学期の履修登録科目を変更（履修制限単位数の中での新規追加を含む）することができる。

(1) 秋学期に新規追加する仮参加登録について

履修登録が完了していない科目のクラスウェブを閲覧するには、仮参加登録が必要である。秋学期の仮参加期間については、7月下旬にOh-o! Meijiよりお知らせする。

(2) 履修修正期間

9月下旬

※詳細は、7月下旬にOh-o! Meijiより通知する。

「入力を間違えた」「期間を間違えた」「PCが壊れた」など如何なる理由があっても、システムの都合上、修正ができないため注意すること。

(3) 履修修正方法

履修修正は、教務システムを利用して行うこと。

(4) 履修科目の削除及び追加について

① 商学部開講科目

ア 以下の科目の履修削除・追加はできない。

- ・必修科目、クラス指定科目（但し、簿記学A・Bを除く）
- ・商学専門演習、総合学際演習
- ・抽選等により履修が認められた科目・事前登録科目

イ 以下の科目は履修削除のみ可能である。（履修追加は不可）

※WEB履修登録システム上で一度履修削除した場合、履修修正期間であっても追加登録を行うことはできない。

- ・駿河台開講科目において、春学期の履修状況により、履修追加不可科目に該当された科目

ウ 履修追加科目について

[和泉開講科目]

- ・7月下旬に、Oh-o! Meiji及び大学HPにて公開する「2025年度商学部履修追加可能科目一覧」で履修追加可能科目を確認すること。
- ・「2025年度商学部履修追加可能科目一覧」に掲載されていない科目は、履修の追加はできない。
- ・春学期に単位未修得だった科目を秋学期に履修追加することはできない。
例：春学期に理論経済学Aを落としたので、秋学期に理論経済学Aを再履修することはできない。
- ・特別テーマ実践科目については、エ「特別テーマ実践科目について」を確認すること。

[駿河台開講科目]

- ・上記のア・イに該当しないもので、商学部・駿河台キャンパス授業時間割に掲載されている科目は、履修の追加及び削除が可能である。
- ・春学期に単位未修得だった科目を秋学期に履修追加することはできない。
例：春学期に理論経済学Aを落としたので、秋学期に理論経済学Aを再履修することはできない。
- ・特別テーマ実践科目については、エ「特別テーマ実践科目について」を確認すること。

エ 特別テーマ実践科目について

履修を希望する場合は、各科目のシラバスを確認したうえで、秋学期の初回授業へ必ず出席すること。初回授業で履修者を選考、決定し商学部事務室で履修登録を行う。履修決定後のキャンセル・履修削除は認めない。なお、一部の特別テーマ実践科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を決定することがある。該当する科目の履修追加は認められない。

② その他開講科目

・以下の科目は担当の各事務室よりお知らせ予定です。

- ・全学共通総合講座・学部間共通外国語科目（振替を除く）→ 教務事務室
- ・情報関係科目 → 和泉メディア支援事務室
- ・資格課程関係科目 → 資格課程事務室

(5) 履修登録確認について

・修正完了後、「My時間割」で修正した科目に間違いがない必ず確認すること。

【重要】誤って削除した場合に復旧できない科目がありますので、**細心の注意**を払って操作すること。

3. WEB履修登録方法

1. WEB履修登録の流れ

ガイダンスへ参加（Oh-o! Meiji グループ内から閲覧）

- Meiji ID（学生番号@meiji.ac.jp）とパスワードを確認し、Oh-o! Meiji へログイン
- 2025年度授業時間割表、シラバスを Oh-o! Meiji グループまたは商学部ホームページから確認
- ガイダンス動画や資料を確認し、履修計画を立てる。適宜 Oh-o! Meiji で仮参加登録を行う
- 希望の抽選科目・申込期間・登録方法を確認



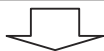
抽選科目申込（希望者のみ・学年、科目により受付期間が異なるため要注意）

- 履修を希望する抽選科目がある場合は指定の方法・期間内に申込



授業開始（4月10日（木）～）

- 授業に出席する。一部科目は初回授業に出席しなければ、履修登録できないため注意



教務システム「履修登録」から履修登録（4月12日（土）9時30分～4月14日（月）9時30分）

（※時間帯に注意）

インターネットを使える環境から教務システムにアクセス（自宅、学内施設等）



教務システム「My時間割」の確認（4月15日（火）9時～）



登録科目を修正したい

教務システムから履修修正（4月19日（土）9時30分～4月21日（月）9時30分）

- メディア授業科目・履修者数の多い科目については履修修正期間では履修追加できないため注意



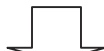
「My時間割」から履修修正後の時間割再確認（4月22日（火）～）



履修エラー対象者だけに商学部事務室からOh-o! Meijiで修正方法をお知らせします。

4月22日（火）～4月25日（金）の期間内で手続きを行ってください。

なお、大学の事務室（和泉キャンパス 03-5300-1142・駿河台キャンパス03-3296-4160）から着信があった際は必ず折り返しご連絡ください。



登録完了

2. WEB履修登録受付開始までに必要事項を確認すること

WEB履修登録前に、以下のことを確認すること。

① Meiji IDと多要素認証を確認する

教務システムを利用するには、Meiji IDでのログインが必要である。WEB履修登録受付開始までに、Oh-o! Meijiシステムにログインする等して、自分のパスワードが正しいか各自で事前に確認すること。

重要 共通認証IDの変更と多要素認証の必須化について

共通認証IDが「学生番号」ではなく「学生番号@meiji.ac.jp」に変更された。学外でログインの際の多要素認証も必須となるため以下ページを確認すること。

https://www.meiji.ac.jp/isc/id/mfa_announce.html

② 履修計画を立てる

教務システムは、60分間操作しないでいると自動的に切断される。あらかじめ、履修する科目を決めた上で登録すること。

③ インターネットが利用可能なパソコンを確認する

インターネットが利用できるパソコンであれば、どこからでもWEB上で履修登録をすることができる。周りに利用可能なパソコンがない場合は、大学で利用できるパソコンから履修登録を行うこと。

また、教務システムの動作環境は以下のとおりである。利用するパソコンの動作環境が不明な場合は、大学設置のパソコンを利用すること。ただし、パソコンが設置されている場所は大変混み合うことが予想される。期限に間に合うよう余裕をもって早めに登録すること。

[動作環境]

No.	端末	環境	
1	PC	OS	・Windows 8.1、Windows 10 ・macOS
		Webブラウザ	・Microsoft Edge ・Google Chrome ・Safari

3. 教務システム「履修登録」から履修登録

重要 (登録前に必ず読むこと)

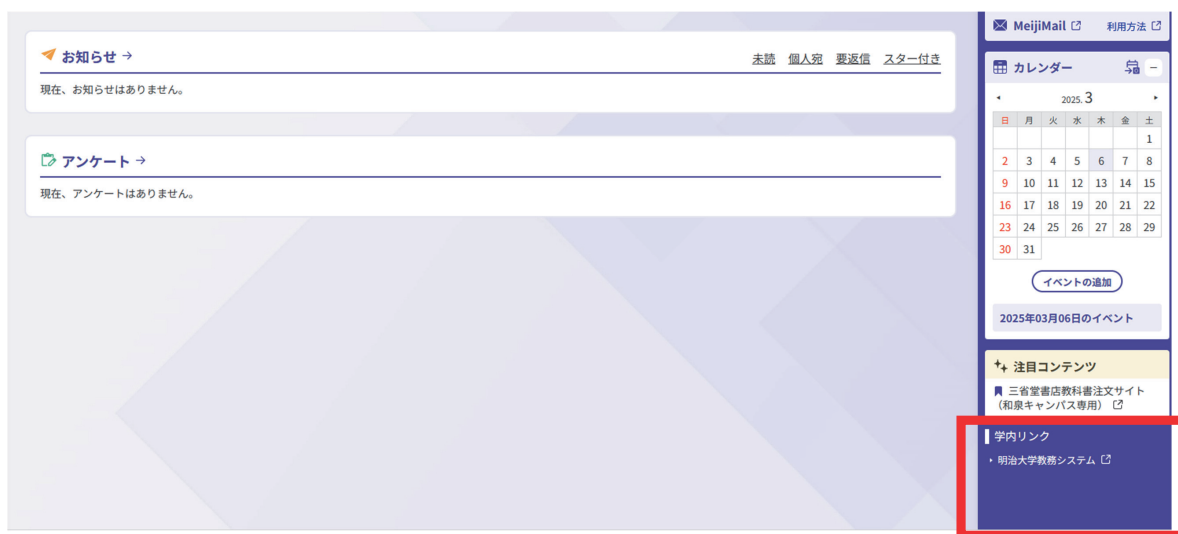
以下の手順に従い、登録時間に余裕を持って履修登録すること。

※教務システムを複数画面開いた場合、正常な動作が担保されない。

登録方法は以下のとおり。

(1)「教務システム」へのアクセスは、Oh-o! Meijiのトップページ右下のリンクから行う。

<Oh-o! Meiji <https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>>



(2)「教務システム」へのログイン

言語を選択してログインを押す。認証方法を選択してログインする。

「履修登録」を選択。



(3) 登録手順

①登録画面

既に履修登録が済んでいる科目はあらかじめ表示される。

鍵マークのついている科目の履修変更はできない。

履修したい講義のある曜日・時限を選択してください。

春(2024年度) 秋(2024年度)

通常講義

春学期と秋学期はタブで表示を切り替える

講義検索

	月	火	水	木	金	土
1	12K26401 公益事業論B 大塚 良治 COCMM391J			12K54201 労働関係論B 久保 晴光 COMAN331J		
2	12K85901 外国専門書講読 村山 賢哉 COCMM391J					
3	12K85601 外国専門書講読 村山 賢哉 COCMM391J			12K91451 商学専門演習(3年) 恩田 健 COCMM392J		
4	12K27601 消費者行動論A 佐藤 平吉 COCMM321J			12K47501 ビジネス英語B 山本 雄一郎 COCMM391J		
5				12K86101 ファッション・ビジネス論B 東野 高代子 COMAN391J		
6						
7						

集中講義

集中講義選択

選択	期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
☐	秋	12B34203	理学B(M)	佐々木 美加	COPSY196J
☒	秋	12K33401	コーポレート・ファイナンスB(M)	朝岡 大輔	COECN376J
☐	秋	12K34001	金融取引論B(M)	萩原 航宏	COECN366J

削除

集中講義、フルオンデマンド型メディア授業は選択にチェックを入れると削除できる

②履修科目の登録・検索

科目の検索、登録は3つのボタンから行う。

履修したい講義のある曜日・時限を選択してください。

春(2024年度)

春(2024年度)

秋(2024年度)

他学部科目の登録は講義検索から行う

通常講義

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						

1 から検索・登録できる科目

当該曜日時限に開講されている
商学部科目/他学部科目/資格課程科目
/学部間共通外国語/グローバル人材育成プログラム科目/情報関係科目

2 講義検索

講義検索から検索・登録できる科目

当該履修登録期間に登録できる
商学部科目/他学部科目/資格課程科目/学部間共通外国語/グローバル人材育成プログラム科目/情報関係科目

3 集中講義選択

集中講義選択から検索・登録できる科目

集中科目・フルオンデマンド型メディア授業科目

講義検索

講義の検索条件を入力してください。

検索条件

講義の種類	通常講義	集中講義	学部	自学部	他学部
曜日	月曜日 土曜日	火曜日 その他	水曜日	木曜日	金曜日
時限	1時限 6時限	2時限 7時限	3時限	4時限	5時限
講義名	カナ・英字/略称		講義コード	(前方一致)	
分野系列			担当教員	(前方一致)	

講義検索で曜日時限で検索ができる

③講義の選択

履修したい科目を表示させて✓をつけた後に<講義選択>を押す。

選択を解除したい場合は✓をはずした後に<講義選択>を押す。

講義を選択してください。

曜日	時限	講義コード	講義名	分野系列	科目ナンバリング	単位	開講期間	担当教員	キャンパス	定員	情報
☒	金曜日	1	12K15001	日本経済論 B	COECN381J	2	2024年度秋	千田 亮吉	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K35101	社会保険論 B	COCMM381J	2	2024年度秋	野上 秀人	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K47301	貿易政策論 B	COCMM351J	2	2024年度秋	小林 尚朗	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K53202	経営戦略論 B		2	2024年度秋	近藤 光	駿河台	0	
☐	金曜日	1	12K54501	経営哲学	COMAN391J	2	2024年度秋	出見世 信之	駿河台	0	

講義選択

キャンセル

選択	期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
☒	秋	12B34203	心理学 B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
☒	秋	12K33401	コーポレート・ファイナンス B (M)	朝岡 大輔	COECN376J
☐	秋	12K34001	金融取引論 B (M)	萩原 統宏	COECN366J

削除

集中講義、フルオンデマンド型メディア授業は選択にチェックを入ると削除できる

④講義の確認

全ての科目を登録した後、ページ下部の＜登録内容を確認＞を押す。



登録内容を確認し、正しければ、ページ下部の＜登録実行＞を押す。

① 登録内容入力 ② 登録内容確認 ● 登録完了

履修内容を確認してください。

春(2024年度) 秋(2024年度) **開講期を切り替えて、全ての科目が登録されていることを確認する**

通常講義

	月	火	水	木	金	土
1	12K36401 公法事論B 大橋 昌治 COCMM391J			12K54201 労働法論B 久保 隆光 COMAN331J		
2	12K85901 外国語内閣議決 村山 義典 COCMM391J					
3	12K85601 クリエイティブ・マーケティング論B 大野 益 COCMM311J			12K91451 憲法専門演習(3年) 恵田 隆 COCMM392J		
4	12K27601 新電力市場論A 佐藤 孝典 COCMM321J			12K47501 ビジネス英語B 山本 健一郎 COCMM391J		
5				12K86101 ファッション・ビジネス論B 東野 晋代子 COMAN391J		
6						
7						

集中講義

期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
秋	12B34203	心理学B(M)	佐々木 美加	COPSY196J
秋	12K33401	コーポレート・ファイナンスB(M)	朝岡 大輔	COECN376J
秋	12K34001	金融取引論B(M)	萩原 航宏	COECN366J

履修単位数

年間			春			秋		
履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限
44	44	-	22	22	-	22	22	-

その他単位数

他所属単位数

履修単位	修得単位	上限
-	-	-

メディア授業単位数

メディア		
履修単位	修得単位	上限
6	6	60

戻る **クリック** **登録実行**

⑤登録完了と登録内容の確認

ページ中央の＜登録内容を確認する＞を押す。

履修登録

① 登録内容入力 ② 登録内容確認 ③ 登録完了

✓

履修内容を登録しました。

登録内容を確認する **クリック**

登録内容を確認し、正しければ、「印刷」ボタンを押し、登録確認画面を印刷する。

履修登録

春(2024年度)

秋(2024年度)

クリックして登録内容確認画面を印刷

印刷

	月	火	水	木	金	土
1	12K26401 公益事業論 B 大塚 良治 COCMM391J			12K54201 労働関係論 B 久保 隆光 COMAN331J		
2	12K85901 外国専門語講読 村山 隆哉 COCMM391J					
3	12K85601 クリエイティブ・マーケティング論 B 水野 誠 COCMM311J			12K91451 商学専門演習 (3 年) 恩田 隆 COCMM392J		
4	12K27601 消費者行動論 A 佐藤 平国 COCMM321J			12K47501 ビジネス英語 B 山本 雄一郎 COCMM391J		
5				12K86101 アクション・ビジネス論 B 東野 香代子 COMAN391J		
6						
7						

戻る

印刷

期間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング
秋	12B34203	心理学 B (M)	佐々木 美加	COPSY196J
秋	12K33401	コーポレート・ファイナンス B (M)	朝岡 大輔	COECN376J
秋	12K34001	金融取引論 B (M)	萩原 統宏	COECN366J

履修単位数

年間			春			秋		
履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限	履修単位	上限	下限
44	44	-	22	22	-	22	22	-

その他単位数

他所属単位数

-		
履修単位	修得単位	上限
-	-	-

メディア授業単位数

メディア		
履修単位	修得単位	上限
0	12	60

重要 WEB履修登録確認チェック項目

- ☐ 秋学期の科目も忘れずに登録しましたか？
- ☐ 進級要件や卒業要件等と登録内容を照らし合わせ、登録漏れがないことを確認しましたか？
- ☐ 登録完了後、自分が登録したすべての科目が登録されている状態ですか？
- ☐ 登録した画面を印刷し、保管できるようにしましたか？

(4) 抽選結果・時間割の公開

指定された公開日にそれぞれのメニューから確認することができる。

学生カルテ

- 履修成績
- My時間割
- 履修登録
- 成績照会
- 抽選結果照会

抽選結果照会

抽選結果の一覧です。(2024年度)

開講期間	曜日時間	講義コード	講義名	担当教員	科目ナンバリング	当選状態
2024年度 春	火4	26G04201	心理学A			当選
2024年度 秋	木5	26G05609	全学共通総合講座(環境と政治)			落選

当選 または 落選 が表示される

4. 教務システム「My時間割」の確認

- ①履修登録されている科目に過不足がないか、抽選で当選した科目がMy時間割に表示されているか確認すること。
- ②履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

5. 履修修正期間

- ①履修の追加登録や、誤登録した科目削除等の修正を行う場合は、必ず当該期間内に行うこと。自己都合による事後の修正は一切認められない。
- ②一部授業科目（「メディア授業科目」及び履修登録者が多かった授業科目等）の追加は認められない。また、事務室による事前登録科目（必修科目等）や、抽選や選考等により履修が認められた科目の履修削除も認められない。詳細は商学部事務室からOh-o! Meiji等で連絡する。

6. 教務システム「My時間割」の再確認

- ①履修修正の結果が反映されているか、必ず確認すること。
- ②履修登録の結果、修正が必要な学生に対し、商学部事務室からOh-o! Meijiや電話（和泉商学部事務室03-5300-1142／駿河台商学部事務室03-3296-4160）等で連絡することがある。商学部事務室から着信があった際は必ず折り返すこと。

4. WEB履修に関するFAQ

Q 1：教務システムにログインできません。

A 1：ログインには、MeijiID（“学生番号”@meiji.ac.jp）が必要です。

MeijiIDを入力する際は、学生番号は半角で入力していますか？入力仕様をよく確認してください。

どうしてもログインできない場合は、サポートデスク（wsd@meiji.ac.jp）へお問い合わせください。

Q 2：多要素認証がうまくいかず、ログインできません。

A 2：多要素認証についてのお問い合わせは商学部事務室では受け付けておりません。

サポートデスク（wsd@meiji.ac.jp）へお問い合わせください。

Q 3：時間割表に載っている科目を登録しようとしたのですが、画面上に表示されません。

A 3：所属学部、学年、カリキュラムによって履修できない科目は表示されません。その科目が本当に履修できる科目なのかもう一度確認してください。履修できるはずの科目が表示されない場合は、商学部事務室までお知らせください。

Q 4：登録したはずの科目が登録されていません。

A 4：科目を選択後、「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンをクリックしないと科目は登録されません。もう一度登録しなおしてください。また、複数画面で操作している場合、正常な動作が担保されません。履修登録画面で登録していても登録完了後に確認できる登録内容確認画面に表示されていない場合、正常に登録できていない可能性があります。「登録完了画面」に表示される「登録内容を確認する」をクリックして登録した科目が登録できているか必ず確認してください。

Q 5：削除したはずの科目が消えていません。

A 5：

- ① 通常講義の場合・・・「講義選択画面」で削除したい科目のチェックボックスからチェックを外した後、「講義選択」ボタン→「登録内容確認」ボタン→「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンまでクリックしないと科目は削除されません。もう一度削除しなおしてください。
- ② 集中講義の場合・・・削除したい科目のチェックボックスにチェックを入れた後、「削除」ボタン→「登録内容確認」ボタン→「登録実行」ボタンをクリックしましたか？「登録実行」ボタンまでクリックしないと科目は削除されません。もう一度削除しなおしてください。

Q 6：履修登録時のエラーメッセージについて、具体的には何が原因で表示されるのですか？

A 6：表示されるエラーメッセージと原因は以下の通りです。

エラーメッセージ	原因
この講義の科目は重複して履修可能な科目数を上回っているため、これ以上履修できません。	前年度までに当該科目を履修しているため。または、今年度に当該科目を既に履修しているため。
時間割重複エラーが発生しています。	同じ曜日時限に2科目以上登録しているため。
キャンパス間移動エラーが発生しています。	他地区へ移動する時間が確保されていないため。
単位制限エラーが発生しています。	当該学期に履修できる単位数の上限を超過しているため。

Q 7：大学内のパソコンを利用するにはどうすればよいですか？

A 7：各地区で手続きが異なります。パソコンを利用するキャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

※学内で利用可能なパソコンについて

以下の場所にて大学設置のパソコンを利用することができます。ただし、履修登録期間は大変混み合うことが予想されますので、登録は早めに行うよう心掛けてください。

なお、以下の事務室では、履修内容に関する質問は一切受け付けられません。

キャンパス・窓口	場 所
《駿河台キャンパス》 12号館7F メディア支援事務室	■リバティタワー 中央図書館1階 ■12号館 メディア自習室（8階） ・その他時間により開放されている施設もあります。 ※就職キャリア支援センターのパソコンはWEB履修登録には利用できません。
《和泉キャンパス》 メディア棟1F 和泉メディア支援事務室	■和泉メディア棟 メディア自習室（2階） ・その他時間により開放されている施設もあります。
《生田キャンパス》 中央校舎5F 生田メディア支援事務室	■中央校舎 情報処理教室（5階） ・利用できる教室は指定されています。 ※生田キャンパス内のオープンスペースのパソコンも利用することができます。
《中野キャンパス》 低層棟3F 中野教育研究支援事務室	■高層棟 メディア自習室（2階） ・その他時間により開放されている施設もあります。

【注意】利用可能な日時、教室及び端末等利用に関する詳細は、各キャンパスのメディア支援事務室で確認してください。

—学部共通科目紹介—

商学部における単位及び履修の取り扱いは「商学部便覧」及び「商学部シラバス」で確認すること。
また、学部共通科目のシラバスは以下リンク先から詳細を確認すること。



URL : <https://www.meiji.ac.jp/koho/syllabus/index.html>

1. 全学共通総合講座

学部設置のカリキュラムを基礎としながら、学部や文理の枠を越えた学際的授業を提供している。学生の学問的視野を広げ、問題発見能力や判断力を養うことができる。各分野で活躍するゲスト講師を招き、現代社会で話題となっている事柄、最先端のホットなニュース等をテーマに取り上げている。履修登録方法や科目の詳細等は「全学共通総合講座履修の手引き及びシラバス」を参照のこと。

2. 学部間共通外国語科目

各学部の外国語教育とは別に学部の枠を超えて自由に履修できる外国の共通科目である。特徴として、ネイティブスピーカーの講師による会話を中心とした科目が多いことや夏季/春季の休暇期間に、集中講座を開講していることがあげられる。履修登録方法や科目の詳細等は「学部間共通外国語履修の手引き及びシラバス」を参照のこと。

3. グローバル人材育成プログラム

グローバル人材育成プログラムでは、将来、協定留学や海外進学する人材、国際機関や企業において世界を舞台に活躍する人材を育成する。グローバル人材育成プログラムで提供する科目を合わせて履修することで、より広範な知識と専門性を身に付けることが可能になる。履修登録方法や科目の詳細等は「2025年度グローバル人材育成プログラム科目一覧」等を参照のこと。

4. 情報関係科目

情報に関する基礎的な知識と、情報技術を活用するために必要な情報機器の基本操作を習得し、各学部の教育におけるリテラシーとしての役割を担っている。また、情報化が進展する社会へ積極的に参画できる能力を養うことを目標としている。履修登録方法や科目の詳細等は「情報関係科目シラバス」等を参照のこと。

《明治大学数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム》

数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うプログラムが2022年度より開始されている。全学共通総合講座・情報関係科目の一部の科目が本プログラムの修了要件として認められる。商学部の修了要件等の詳細はHPから確認のこと。



— 「Oh-o! Meijiシステム」の活用について —

教育の情報化推進本部

「Oh-o! Meiji システム」(<https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>)は、明治大学の教育・研究をインターネット上に公開し、より一層効果的なものにするために開発された全学的な教育サポートシステムです。このシステムは、明治大学の全ての授業情報をネット上に展開した「クラスウェブ」と、明治大学での生活に関わるお知らせを各自に配信する「ポータル」などの機能から構成されています。

「クラスウェブ」を利用することにより、「いつ」でも「どこから」でも、教員・学生双方が明治大学のすべての授業情報にアクセスできます。学生のみなさんは、教室において「授業を聞く」というだけの受動的な姿勢から、クラスウェブで得られる多様な情報を事前・事後の学習に生かすことにより、能動的に授業に参加していくことができるでしょう。^{注1}

クラスウェブでは、明治大学で開設されている個々の科目についての、さまざまな情報がウェブ上に公開されています。シラバスの閲覧をはじめ、授業資料のダウンロード、授業内容の予習・復習、レポートの提出、ディスカッション（掲示板）による意見交換、教員からのお知らせの確認などに活用することができます。

大学生活を送る上で必要な情報は「ポータル」で確認できます。ポータルは、大学のあらゆる情報を、必要に応じてみなさんへ提供することを目指すものです。例えば、事務室からの連絡や休講情報等のお知らせもオンラインで確認できます。ポータルに表示されるお知らせは、PC や携帯電話のメールアドレスに転送することもできます。^{注2}

明大生にとって、「Oh-o! Meiji システム」は大学生活の一部となり、よりよい学生生活を支援するシステムとして発展していきます。ぜひ、活用してください。

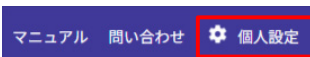
注 1

公開される内容は教員ごとに異なります。

注 2

お知らせ転送設定について

- ① Oh-o!Meiji（P C 版）へログイン後、【個人設定】をクリック



- ② 転送先メールアドレスを入力し、お知らせ種類別にメール転送設定を確認する

※ 転送先メールアドレスは2つまで登録可能

転送先	
メールアドレス1	
メールアドレス2	

※メールアドレス変更時に設定確認メールが送信されます。

転送内容	
個人院・所属事務室のお知らせ	☐ 本文を転送
授業に関するお知らせ	☐ 本文を転送
業務に関するお知らせ	☐ URLのみ転送
学生生活	☐ 本文を転送
研究	☐ 本文を転送
国際	☐ 本文を転送
その他大学からのお知らせ	☐ 本文を転送

- ③ ページ下部の【確認画面に進む】をクリックし、確認画面で【登録する】をクリックする



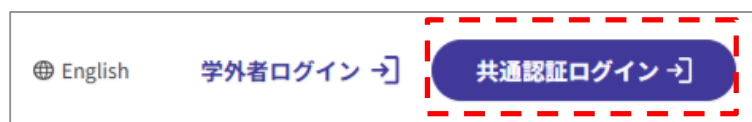
- ④ 転送設定したメールアドレスで「登録メールアドレスの確認」メールが受信できることを確認する

「Oh-o! Meiji システム」の利用イメージ

Oh-o! Meiji システムのトップページ (<https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>) へアクセスします。「共通認証ログイン」をクリックすると、明治大学の共通認証の画面が表示されます。ここで「学生番号」@meiji.ac.jp」と「パスワード」を入力してください。「学生番号」は学生証にある 10 桁の番号です。「パスワード」は、証明書発行機の利用と同じもので、新入生は入学手続き時に初期パスワードとして登録したものです。

※ パスワードが分からない場合は、各学部窓口で変更手続きをしてください。

Oh-o! Meiji システムトップページ
<https://www.oh-o.meiji.ac.jp/>

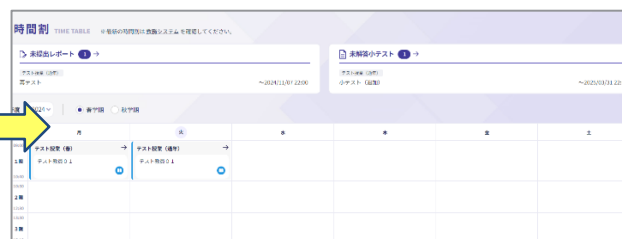


★ ポータル ★

お知らせ、カレンダーなど、大学生活に関わる様々な情報にアクセス

★ クラスウェブ ★

時間割表から、履修している科目の授業ページにアクセス



曜日・時限、フリーワード検索などにより講義を検索する

授業ページにはシラバス、授業内容、資料、レポート、小テスト・ディスカッション・アンケート等の機能があります


授業検索


シラバス（PDF版）

学部シラバス 

共通科目シラバス 


授業情報

フリーワード	例) 授業名 教員名
曜日・時間	2024年度 
	すべて 
	すべて 
開講期	指定なし  ☐ 集中のみ
受講登録	☐ 受講登録可能な授業のみ

マニュアル お問い合わせ 個人情報設定 ログイン / ログアウト

法学部 民法（物権）

開講教員 [安土教授 山本](#)

開講日
(月曜授業 隔日・休校) 秋学期 / 土曜日 / 4回

シラバスの概要

新クワースウェブに関するお問い合わせは下記からお申し込みます。

[お問い合わせ専用フォーム](#)
 ※フォームへのアクセス時に、Me@Mailアカウントでのログインが必要です。

お知らせ →

現在、お知らせはありません。

教材とメッセージ →

現在、メッセージはありません。

コンテンツメニュー すべて

授業トピックをすべて開く ▶

第1回授業

Ⅱ 授業科目及び担当者

入学年度のカリキュラムにより履修できない科目や、一部科目名称、単位数が異なる場合がある（＊印）。2021年度以前入学者は「2022年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表」（P87～P101）とともに、P102の「科目名対照表（カリキュラム年度別）」を確認すること。

メディア授業科目については、Oh-ol Meijiシステムで確認すること。科目名称の末尾に〔M〕が表示されている科目がメディア授業科目である。また、対面授業科目でも、メディア授業を実施することがあるため、シラバスを確認すること。メディア授業科目は、60単位を超えない範囲で、卒業の要件として修得すべき単位数に算入できる。

1. 2023年度以降入学者授業科目及び担当者一覧表

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基礎教育科目		1	基礎演習	2	別表Ⅰ
			文章表現	2	別表Ⅱ
			経済学A	2	海老名 剛
					山田 知明
			経済学B	2	海老名 剛
山田 知明					
総合教育科目	文化と芸術	1・2	日本文化史A	2	清水 克行
			日本文化史B	2	清水 克行
			西洋文化史A	2	北田 葉子
			西洋文化史B	2	北田 葉子
			日本語表現論A	2	石出 靖雄
					片山 久留美
			日本語表現論B	2	石出 靖雄
					片山 久留美
			日本近代文学A	2	永井 善久
					西山 春文
			日本近代文学B	2	永井 善久
					西山 春文
		日本古典文学A	2	中村 成里	
		日本古典文学B	2	中村 成里	
		宗教学A	2	開講せず	
		宗教学B	2		
		3・4	外国文学（西洋）A	2	開講せず
			外国文学（西洋）B	2	
			外国文学（東洋）A	2	開講せず
			外国文学（東洋）B	2	
芸術（音楽）A	2		宮川 渉		
芸術（音楽）B	2		宮川 渉		
芸術（美術）A	2		千葉 慶		
芸術（美術）B	2		新保 淳乃		

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
総合教育科目	地域と社会	1・2	法学A	2	成瀬 トーマス 誠
			法学B	2	成瀬 トーマス 誠
			アジア史A	2	鳥居 高
			アジア史B	2	鳥居 高
			地理学A	2	中川 秀一
			地理学B	2	中川 秀一
			社会学A	2	木村 至聖
			社会学B	2	木村 至聖
			社会思想史A	2	清水 明美
			社会思想史B	2	清水 明美
		3・4	日本思想史A	2	開講せず
			日本思想史B	2	
			政治学A	2	三森 ちかし
			政治学B	2	三森 ちかし
			人類学A	2	開講せず
			人類学B	2	
	人間と自然	1・2	哲学A	2	清水 真木
			哲学B	2	清水 真木
			自然科学概論A	2	森永 由紀
			自然科学概論B	2	亀山 浩文
			生命科学A	2	浅賀 宏昭
			生命科学B	2	浅賀 宏昭
			線型数学A	2	鴨井 祐二
			線型数学B	2	鴨井 祐二
			解析数学A	2	鴨井 祐二
			解析数学B	2	鴨井 祐二
			化学A	2	久富木 志郎
			化学B	2	久富木 志郎
			言語学A	2	吉田 浩美
			言語学B	2	吉田 浩美
			論理学A	2	金子 裕介
			論理学B	2	金子 裕介
			心理学A	2	佐々木 美加
			心理学B	2	佐々木 美加
		3・4	物理学A	2	洞口 拓磨
			物理学B	2	洞口 拓磨
			環境科学A	2	森永 由紀
			環境科学B	2	森永 由紀

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国人留学生のための科目			1・2	日本事情 A	2	兼子 歩
				日本事情 B	2	菊地 端夫
				日本事情 C	2	開講せず
				日本事情 D	2	開講せず
				日本事情 E	2	森永 由紀
総合学際演習			2	総合学際演習	2	Oh-o! Meiji公開シラバス参照
			3		2	
			4		2	
			2	特別テーマ演習科目（総合教育科目）A	2	開講せず
				特別テーマ演習科目（総合教育科目）B	2	
			3・4	特別テーマ演習科目（総合教育科目）C	2	
				特別テーマ演習科目（総合教育科目）D	2	
			3	卒論指導科目 A	2	適宜開講
				卒論指導科目 B	2	
			1~4	特別認定科目（総合教育科目）	2	
外国語科目	既習外国語	必修	1・2	口語英語Ⅰ	1	別表Ⅲ－①
				口語英語Ⅱ	1	
				英語講読Ⅰ	1	
				英語講読Ⅱ	1	
				基礎英語Ⅰ	1	石黒 太郎
						瀧口 美香
						井出 新
						岡田 優子
				基礎英語Ⅱ	1	石黒 太郎
						瀧口 美香
						井出 新
						岡田 優子
				上級英語Ⅰ	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						趙 泰昊
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
				上級英語Ⅱ	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						趙 泰昊
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
		選択	3・4	発展英語	1	ルブレクト, ブライアン G.
						佐藤 寛子

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				初級ドイツ語Ⅱ	1	
				初級ドイツ語Ⅲ	1	
				初級ドイツ語Ⅳ	1	
			2	中級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				中級ドイツ語Ⅱ	1	
				中級ドイツ語Ⅲ	1	
				中級ドイツ語Ⅳ	1	
			1・2	特別ドイツ語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別ドイツ語Ⅱ	1	
				特別ドイツ語Ⅲ	1	
				特別ドイツ語Ⅳ	1	
			1	初級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③
				初級フランス語Ⅱ	1	
				初級フランス語Ⅲ	1	
				初級フランス語Ⅳ	1	
			2	中級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③
				中級フランス語Ⅱ	1	
				中級フランス語Ⅲ	1	
				中級フランス語Ⅳ	1	
			1・2	特別フランス語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別フランス語Ⅱ	1	
				特別フランス語Ⅲ	1	
				特別フランス語Ⅳ	1	
			1	初級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④
				初級中国語Ⅱ	1	
				初級中国語Ⅲ	1	
				初級中国語Ⅳ	1	
			2	中級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④
				中級中国語Ⅱ	1	
				中級中国語Ⅲ	1	
				中級中国語Ⅳ	1	
			1	初級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤
				初級韓国語Ⅱ	1	
				初級韓国語Ⅲ	1	
				初級韓国語Ⅳ	1	
			2	中級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤
				中級韓国語Ⅱ	1	
				中級韓国語Ⅲ	1	
				中級韓国語Ⅳ	1	
			1	初級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥
				初級スペイン語Ⅱ	1	
				初級スペイン語Ⅲ	1	
				初級スペイン語Ⅳ	1	

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	2	中級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥
				中級スペイン語Ⅱ	1	
				中級スペイン語Ⅲ	1	
				中級スペイン語Ⅳ	1	
			1	初級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				初級ロシア語Ⅱ	1	
				初級ロシア語Ⅲ	1	
				初級ロシア語Ⅳ	1	
			2	中級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				中級ロシア語Ⅱ	1	
				中級ロシア語Ⅲ	1	
				中級ロシア語Ⅳ	1	
			1・2	日本語 ※外国人留学生のみ選択可	1	日本語シラバス参照
		選択	1	初級ドイツ語プラスワン	1	小松 真帆
			2	中級ドイツ語プラスワン	1	シックハウス, トビアス
			3・4	上級ドイツ語	1	シックハウス, トビアス
			4	発展ドイツ語	1	レンドラー, ローマン D.
			1	初級フランス語プラスワン	1	富塚 真理子
			2	中級フランス語プラスワン	1	久松 健一
			3・4	上級フランス語	1	松原 陽子
			4	発展フランス語	1	松原 陽子
			1	初級中国語プラスワン	1	葉 紅
			2	中級中国語プラスワン	1	葉 紅
			3・4	上級中国語	1	三田 剛史 江田 いづみ
			4	発展中国語	1	石井 知章
			1	初級韓国語プラスワン	1	高 成鳳
			2	中級韓国語プラスワン	1	李 興淑
			3・4	上級韓国語	1	高 成鳳
			4	発展韓国語	1	桔川 純子
			1	初級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			2	中級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			3・4	上級スペイン語	1	松尾 俊輔
			4	発展スペイン語	1	開講せず
	保健体育科目	必修	1	体育・スポーツ実習A	1	別表Ⅲ－⑦、Oh-ol Meiji公開 シラバスおよび選択体育実技 パンフレットシラバス参照
				体育・スポーツ実習B	1	
		選択	2	選択スポーツ実習	1	
			3・4	選択集中スポーツ実習	1	
			1	スポーツとグローバリゼーション	2	澤井 和彦
			2	スポーツと健康	2	桑森 真介

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者	
基本科目	1・2	ミクロ経済学	2	千田 亮吉 賈 執孝	
		マクロ経済学	2	千田 亮吉 賈 執孝	
		理論経済学A	2	植村 博恭	
		理論経済学B	2	植村 博恭	
		経済史A（*1）	2	井上 達樹	
		経済史B（*2）	2	井上 達樹	
		商業総論A	2	竹村 正明	
			2	庄司 真人	
		商業総論B	2	竹村 正明	
			2	庄司 真人	
		経営学総論A	2	會澤 綾子 水村 典弘	
			経営学総論B	2	會澤 綾子 水村 典弘
		簿記学A		2	神田 良介
			渡邊 雅雄		
			葛 暁鵬		
			吉沢 壮二郎		
			渡邊 智		
		簿記学B	2	神田 良介	
				渡邊 雅雄	
				葛 暁鵬	
				吉沢 壮二郎	
				渡邊 智	
		会計学総論A	2	梅原 秀継	
		会計学総論B	2	前田 陽	
		統計学A	2	小林 弦矢	
				太田 悠太	
		統計学B	2	小林 弦矢	
				太田 悠太	
		金融総論A	2	小原 英隆	
		金融総論B	2	小原 英隆	
		貿易総論A	2	森元 晶文	
		貿易総論B	2	鈴木 仁里	
		1	ビジネス・インサイト	2	高野 公三子 中山 千尋 松尾 隆策 齋藤 美和子
		1	商学入門	2	畑農 鋭矢
	1・2	商学研究入門	2	開講せず	
	1 4	Essentials of Commerce A	2	中山 千尋	
		Essentials of Commerce B	2	中山 千尋	
	2	特別テーマ演習科目（基本科目）A	2	開講せず	
		特別テーマ演習科目（基本科目）B	2	開講せず	
	1～4	特別認定科目（基本科目）	2		
	2	商学専門演習（2年）	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照	

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	アプライド・エコノミクスコース	3・4	経済政策論 A	2	山田 知明
			経済政策論 B	2	山田 知明
			公共経済学	2	畑農 鋭矢
			財政学	2	畑農 鋭矢
			中小企業論 A	2	樋渡 雅幸
			中小企業論 B	2	樋渡 雅幸
			産業組織論 A	2	海老名 剛
			産業組織論 B	2	海老名 剛
			地域経済論 A	2	開講せず
			地域経済論 B	2	開講せず
			国際経済学 A	2	高浜 光信
			国際経済学 B	2	高浜 光信
			日本経済論 A	2	千田 亮吉
			日本経済論 B	2	千田 亮吉
			環境経済学 A	2	赤石 秀之
			環境経済学 B	2	赤石 秀之
			計量経済学 A	2	水野 勝之
			計量経済学 B	2	水野 勝之
			金融論 A	2	小原 英隆
					土屋 陽一
			金融論 B	2	小原 英隆
					土屋 陽一
			国際金融論 A	2	太田 壘
			国際金融論 B	2	太田 壘
			貿易論 A	2	所 康弘
			貿易論 B	2	所 康弘
			世界経済論 A	2	小林 尚朗
			世界経済論 B	2	小林 尚朗
			労使関係論 A	2	久保 隆光
			労使関係論 B	2	久保 隆光
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			公益事業論 A	2	大塚 良治
			公益事業論 B	2	大塚 良治
			経営情報システム論 A	2	村田 潔
			経営情報システム論 B	2	村田 潔
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			中国政治経済論	2	三田 剛史
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門 A (*17)	2	千田 亮吉
			経済予測入門 B (*18)	2	千田 亮吉

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	マーケティングコース	3・4	商業経営論 A	2	岸本 徹也
			商業経営論 B	2	岸本 徹也
			マーケティング管理論 A	2	加藤 拓巳
			マーケティング管理論 B	2	加藤 拓巳
			市場調査論 A	2	福田 康典
			市場調査論 B	2	福田 康典
			広告論 A (*3)	2	竹内 亮介
			広告論 B (*4)	2	竹内 亮介
			インダストリアルマーケティング論 A (*5)	2	中 麻弥美
			インダストリアルマーケティング論 B (*6)	2	中 麻弥美
			商品学 A	2	高橋 昭夫
					上原 義子
			商品学 B	2	高橋 昭夫
					上原 義子
			流通史 A (*7)	2	若林 幸男
			流通史 B (*8)	2	若林 幸男
			消費者行動論 A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論 B (*10)	2	佐藤 平国
			マーケティング企画 A	2	高橋 昭夫
					福田 康典
					王 暁芸
					佐藤 敏久
					劉 亜氷
			マーケティング企画 B	2	高橋 昭夫
					福田 康典
					王 暁芸
					佐藤 敏久
					劉 亜氷
			競争戦略論 A	2	山崎 喜代宏
			競争戦略論 B	2	山崎 喜代宏
			交通論 A	2	藤井 秀登
			交通論 B	2	藤井 秀登
			物の流通論 A	2	水谷 淳
			物の流通論 B	2	水谷 淳
			国際交通論 A	2	町田 一兵
			国際交通論 B	2	町田 一兵
			都市・地域交通論 A	2	恩田 睦
			都市・地域交通論 B	2	恩田 睦
			公益事業論 A	2	大塚 良治
			公益事業論 B	2	大塚 良治
			観光事業論 A	2	藤井 秀登
			観光事業論 B	2	藤井 秀登
			産業組織論 A	2	海老名 剛
			産業組織論 B	2	海老名 剛
			情報管理論 A	2	山下 洋史
			情報管理論 B	2	山下 洋史
			国際マーケティング論 A	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			国際マーケティング論 B	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			流通システム論 A	2	原 頼利
			流通システム論 B	2	原 頼利
			クリエイティブ・マーケティング論 A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論 B	2	水野 誠

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	ファイナンス& インシュアランス コース	3・4	金融論A	2	小原 英隆 土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆 土屋 陽一
			コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
			コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
			金融機関論A	2	伊藤 隆康
			金融機関論B	2	伊藤 隆康
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			証券市場論A	2	野田 顕彦
			証券市場論B	2	野田 顕彦
			機関投資家論A	2	三和 裕美子
			機関投資家論B	2	三和 裕美子
			保険学A	2	中林 真理子
			保険学B	2	中林 真理子
			損害保険論A	2	柳瀬 典由
			損害保険論B	2	柳瀬 典由
			生命保険論	2	内藤 和美
			社会保障論A	2	畔上 秀人
			社会保障論B	2	畔上 秀人
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	グ ロ ー バ ル ・ ビ ジ ネ ス コ ー ス	3 ・ 4	貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			貿易商務論A	2	篠原 敏彦
			貿易商務論B	2	篠原 敏彦
			貿易政策論A	2	小林 尚朗
			貿易政策論B	2	小林 尚朗
			ビジネス英語A	2	山本 雄一郎
			ビジネス英語B	2	山本 雄一郎
			バーバル・ビジネス英語A	2	塩澤 恵理
			バーバル・ビジネス英語B	2	塩澤 恵理
			国際ビジネス交渉論A	2	中谷 安男
			国際ビジネス交渉論B	2	中谷 安男
			北米地域市場論	2	朝比奈 剛
			欧州地域市場論	2	道満 治彦
			中南米地域市場論	2	所 康弘
			アジア・太平洋地域市場論	2	朱 永浩
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際経営論A	2	内堀 敬則
					鷲見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
					鷲見 淳

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	マネジメントコース	3・4	経営戦略論 A	2	西 剛広 近藤 光
			経営戦略論 B	2	西 剛広 近藤 光
			生産管理論 A	2	富野 貴弘
			生産管理論 B	2	富野 貴弘
			情報管理論 A	2	山下 洋史
			情報管理論 B	2	山下 洋史
			経営情報システム論 A	2	村田 潔
			経営情報システム論 B	2	村田 潔
			経営組織論 (*11)	2	佐藤 香織
			経営労務論 (*12)	2	佐藤 香織
			労使関係論 A	2	久保 隆光
			労使関係論 B	2	久保 隆光
			経営管理論 (*13)	2	會澤 綾子
			産業心理学 (*14)	2	東海 詩帆
			経営哲学	2	出見世 信之
			経営倫理	2	水村 典弘
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			国際経営論 A	2	内堀 敬則 鷺見 淳
			国際経営論 B	2	内堀 敬則 鷺見 淳
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			クリエイティブ・マーケティング論 A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論 B	2	水野 誠
			企業と倫理 A	2	出見世 信之
			企業と倫理 B	2	金子 裕介
			保険リスクマネジメント論 A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論 B	2	浅井 義裕
			ファッション・ビジネス論 A	2	東野 香代子
			ファッション・ビジネス論 B	2	東野 香代子
			企業評価論 A	2	米谷 健司
			企業評価論 B	2	米谷 健司

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	アカウンティング コース	3・4	財務会計論A	2	姚 俊
			財務会計論B	2	姚 俊
			原価計算論A	2	千葉 修身
			原価計算論B	2	千葉 修身
			意思決定会計論A	2	前田 陽
			意思決定会計論B	2	前田 陽
			業績管理会計論A	2	小田 康治
			業績管理会計論B	2	小田 康治
			監査論A	2	加藤 達彦
			監査論B	2	加藤 達彦
			経営分析論A	2	王 志
			経営分析論B	2	王 志
			税務会計論A	2	神田 良介
			税務会計論B	2	神田 良介
			国際会計論A	2	山本 昌弘
			国際会計論B	2	山本 昌弘
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			企業評価論A	2	米谷 健司
			企業評価論B	2	米谷 健司
			企業法A	2	秋坂 朝則
			企業法B	2	秋坂 朝則
			租税法A	2	松原 有里
			租税法B	2	松原 有里
			コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
			コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	クリエイティブ・ビジネスコース	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	加藤 健太
			バイオテクノロジーとバイオビジネス	2	浅賀 宏昭
			企業と倫理 A	2	出見世 信之
			企業と倫理 B	2	金子 裕介
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			メディアとリテラシー	2	滝口 直樹
			中国政治経済論	2	三田 剛史
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			スポーツビジネス論	2	澤井 和彦
			レジャービジネス論	2	野澤 智行
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門 A (*17)	2	千田 亮吉
			経済予測入門 B (*18)	2	千田 亮吉
			流通システム論 A	2	原 頼利
			流通システム論 B	2	原 頼利
			ベンチャー・ファイナンス A (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンス B (*20)	2	姜 理恵
			e-ビジネス A	2	上原 衛
			e-ビジネス B	2	上原 衛
			ビジネス法務 A	2	片山 史英
			ビジネス法務 B	2	中川 達也
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			実践会計論 A	2	山口 不二夫
			実践会計論 B	2	富田 竜一
			クリエイティブ・マーケティング論 A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論 B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論 A	2	東野 香代子
			ファッション・ビジネス論 B	2	東野 香代子
			消費者行動論 A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論 B (*10)	2	佐藤 平国
			ビジネス英語 A	2	山本 雄一郎
			ビジネス英語 B	2	山本 雄一郎
			経営戦略論 A	2	西 剛広 近藤 光
			経営戦略論 B	2	西 剛広 近藤 光
			企業評価論 A	2	米谷 健司
			企業評価論 B	2	米谷 健司
	基幹英語科目	3	外国専門書講読	2	別表Ⅳ
		3・4	Applied Commerce A	2	臼井 哲也
		3・4	Applied Commerce B	2	臼井 哲也
		1~4	特別認定科目(基幹英語科目)	2	
	商学専門演習	3	商学専門演習	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		4	商学専門演習	2	
		3・4	特別テーマ演習科目(基幹科目) C	2	開講せず
		3・4	特別テーマ演習科目(基幹科目) D	2	
		3	卒論指導科目 C	2	適宜開講
		3	卒論指導科目 D	2	
	特別認定科目(基幹科目)	1~4	特別認定科目(基幹科目)	2	

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
応用展開科目	1 ┐ 4	総合講座 A	2	学部間共通総合講座シラバス参照
		総合講座 B	2	
		総合講座 C	2	
		総合講座 D	2	
	1 ・ 2	会計特殊講義 A	2	吉川 信將
		会計特殊講義 B	2	小松 義明
	1 ┐ 4	特別テーマ実践科目 A	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ実践科目 B	2	
		特別テーマ実践科目 C	2	
		特別テーマ実践科目 D	2	
	1 ┐ 4	特別テーマ研究科目 A	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ研究科目 B	2	
		特別テーマ研究科目 C	2	
		特別テーマ研究科目 D	2	
		特別テーマ研究科目 E	2	開講せず
		特別テーマ研究科目 F	2	
	1 ┐ 4	特別テーマ海外研修科目 A	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目 B	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ海外研修科目 C	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目 D	2	
	1 ┐ 4	地域活性化システム論 A	2	松尾 隆策
		地域活性化システム論 B	2	樋渡 雅幸
	3 ・ 4	外国文化・言語特殊講義 A	2	趙 泰昊
		外国文化・言語特殊講義 B	2	趙 泰昊
	3	ジョブ・インターンシップ	2	開講せず
	上記以外の応用展開科目は今年度は開講せず			

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
その他	1・2	憲法A	2	江藤 英樹
		憲法B	2	江藤 英樹
	3・4	民法A	2	戸田 知行
		民法B	2	戸田 知行
		商法A	2	陳 亮
		商法B	2	陳 亮
		労働法A	2	小林 大祐
		労働法B	2	小林 大祐
	1 ～ 4 (2023・2024年度入学者)	ICTエレメンタリー	2	情報関係科目シラバス参照 ※2024年度以前入学者と2025年度入学者で履修できる科目が異なる。 詳細はシラバスで確認すること。
		ICTベーシックⅠ	2	
		ICTベーシックⅡ	2	
		ICT統計解析Ⅰ	2	
		ICT統計解析Ⅱ	2	
		ICTデータベースⅠ	2	
		ICTデータベースⅡ	2	
		ICTメディア編集Ⅰ	2	
		ICTメディア編集Ⅱ	2	
		ICTアプリ開発Ⅰ	2	
		ICTアプリ開発Ⅱ	2	
		ICTコンテンツデザインⅠ	2	
		ICTコンテンツデザインⅡ	2	
		ICT総合実践Ⅰ	2	
		ICT総合実践Ⅱ	2	
	1 ～ 4 (2025年度入学者)	ICTベーシック	2	
		ICT統計解析入門	2	
		ICT統計解析応用	2	
		ICTデータベース入門	2	
		ICTデータベース応用	2	
		ICT画像編集入門	2	
		ICT画像編集応用	2	
		ICT動画編集入門	2	
		ICT動画編集応用	2	
		ICT音楽編集入門	2	
		ICT音楽編集応用	2	
		ICTプログラミング入門	2	
		ICTプログラミング応用	2	
		ICTWebページ作成	2	
		ICTeラーニングデザイン入門	2	
		ICTeラーニングデザイン応用	2	
		ICTプレゼンテーション	2	

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
資格課程関係科目	1 4	日本史概論	2	資格課程関係科目シラバス参照 ※資格課程対象者のみ履修可。 ※2017年度以降の入学者で資格課程履修者は、8単位まで卒業要件単位に含めることができる。
		東洋史概論	2	
		西洋史概論	2	
		人文地理学概論	2	
		自然地理学概論	2	
		地誌学概論	2	
		法律学概論	2	
		政治学概論	2	
		哲学概論	2	
		倫理学概論	2	
		職業指導	2	
グローバル人材育成プログラム	グローバル人材育成プログラムシラバス参照 ※卒業要件単位に含めることができる（フリーゾーン）P48参照			
学部間共通外国語科目	学部間共通外国語シラバス参照 ※卒業要件単位には含まれない			
大学院 商学研究科 設置科目	4			大学院シラバス参照 ※卒業要件単位には含まれない
専門職大学院 会計専門職研究科 設置科目	4			専門職大学院シラバス参照 ※卒業要件単位には含まれない

2. 2022年度以前入学者授業科目及び担当者一覧表

2021年度以前入学者はP102「科目名対照表」を併せて確認すること

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基礎教育科目	1	基礎演習	2	別表Ⅰ
		文章表現	2	別表Ⅱ
		経済学A	2	海老名 剛 山田 知明
		経済学B	2	海老名 剛
				山田 知明
総合教育科目	1・2	日本文化史A	2	清水 克行
		日本文化史B	2	清水 克行
		西洋文化史A	2	北田 葉子
		西洋文化史B	2	北田 葉子
		日本語表現論A	2	石出 靖雄
				片山 久留美
		日本語表現論B	2	石出 靖雄
				片山 久留美
		日本近代文学A	2	永井 善久
				西山 春文
		日本近代文学B	2	永井 善久
				西山 春文
		日本古典文学A	2	中村 成里
		日本古典文学B	2	中村 成里
		宗教学A	2	開講せず
		宗教学B	2	
	3・4	外国文学（西洋）A	2	開講せず
		外国文学（西洋）B	2	
		外国文学（東洋）A	2	開講せず
		外国文学（東洋）B	2	
		芸術（音楽）A	2	宮川 渉
		芸術（音楽）B	2	宮川 渉
		芸術（美術）A	2	千葉 慶
		芸術（美術）B	2	新保 淳乃

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
総合教育科目	地域と社会	1・2	法学A	2	成瀬 トーマス 誠
			法学B	2	成瀬 トーマス 誠
			アジア史A	2	鳥居 高
			アジア史B	2	鳥居 高
			地理学A	2	中川 秀一
			地理学B	2	中川 秀一
			社会学A	2	木村 至聖
			社会学B	2	木村 至聖
			社会思想史A	2	清水 明美
			社会思想史B	2	清水 明美
		3・4	日本思想史A	2	開講せず
			日本思想史B	2	
			政治学A	2	三森 ちかし
			政治学B	2	三森 ちかし
			人類学A	2	開講せず
			人類学B	2	
	人間と自然	1・2	哲学A	2	清水 真木
			哲学B	2	清水 真木
			自然科学概論A	2	森永 由紀
			自然科学概論B	2	亀山 浩文
			生命科学A	2	浅賀 宏昭
			生命科学B	2	浅賀 宏昭
			線型数学A	2	鴨井 祐二
			線型数学B	2	鴨井 祐二
			解析数学A	2	鴨井 祐二
			解析数学B	2	鴨井 祐二
			化学A	2	久富木 志郎
			化学B	2	久富木 志郎
			言語学A	2	吉田 浩美
			言語学B	2	吉田 浩美
			論理学A	2	金子 裕介
			論理学B	2	金子 裕介
			心理学A	2	佐々木 美加
			心理学B	2	佐々木 美加
		3・4	物理学A	2	洞口 拓磨
			物理学B	2	洞口 拓磨
			環境科学A	2	森永 由紀
			環境科学B	2	森永 由紀

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国人留学生のための科目			1・2	日本事情 A	2	兼子 歩
				日本事情 B	2	菊地 端夫
				日本事情 C	2	開講せず
				日本事情 D	2	開講せず
				日本事情 E	2	森永 由紀
総合学際演習			2	総合学際演習	2	Oh-o! Meiji公開シラバス参照
			3		2	
			4		2	
外国語科目	既習外国語	必修	1・2	口語英語 I	1	別表Ⅲ－①
				口語英語 II	1	
				英語講読 I	1	
				英語講読 II	1	
				基礎英語 I	1	石黒 太郎
						瀧口 美香
						井出 新
						岡田 優子
				基礎英語 II	1	石黒 太郎
						瀧口 美香
						井出 新
						岡田 優子
				上級英語 I	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						趙 泰昊
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
				上級英語 II	1	石黒 太郎
						海田 皓介
						小宮 彩加
						今野 史昭
						ジェームズ, アンドリュー S.
						趙 泰昊
						中島 渉
						ルブレクト, ブライアン G.
		選択	3・4	発展英語	1	ルブレクト, ブライアン G.
						佐藤 寛子

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	1	初級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				初級ドイツ語Ⅱ	1	
				初級ドイツ語Ⅲ	1	
				初級ドイツ語Ⅳ	1	
			2	中級ドイツ語Ⅰ	1	別表Ⅲ－②
				中級ドイツ語Ⅱ	1	
				中級ドイツ語Ⅲ	1	
				中級ドイツ語Ⅳ	1	
			1・2	特別ドイツ語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別ドイツ語Ⅱ	1	
				特別ドイツ語Ⅲ	1	
				特別ドイツ語Ⅳ	1	
			1	初級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③
				初級フランス語Ⅱ	1	
				初級フランス語Ⅲ	1	
				初級フランス語Ⅳ	1	
			2	中級フランス語Ⅰ	1	別表Ⅲ－③
				中級フランス語Ⅱ	1	
				中級フランス語Ⅲ	1	
				中級フランス語Ⅳ	1	
			1・2	特別フランス語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				特別フランス語Ⅱ	1	
				特別フランス語Ⅲ	1	
				特別フランス語Ⅳ	1	
			1	初級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④
				初級中国語Ⅱ	1	
				初級中国語Ⅲ	1	
				初級中国語Ⅳ	1	
			2	中級中国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－④
				中級中国語Ⅱ	1	
				中級中国語Ⅲ	1	
				中級中国語Ⅳ	1	
			1	初級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤
				初級韓国語Ⅱ	1	
				初級韓国語Ⅲ	1	
				初級韓国語Ⅳ	1	
			2	中級韓国語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑤
				中級韓国語Ⅱ	1	
				中級韓国語Ⅲ	1	
				中級韓国語Ⅳ	1	
			1	初級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥
				初級スペイン語Ⅱ	1	
				初級スペイン語Ⅲ	1	
				初級スペイン語Ⅳ	1	

区分			配当年次	授業科目	単位数	担当者
外国語科目	初習外国語	必修	2	中級スペイン語Ⅰ	1	別表Ⅲ－⑥
				中級スペイン語Ⅱ	1	
				中級スペイン語Ⅲ	1	
				中級スペイン語Ⅳ	1	
			1	初級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				初級ロシア語Ⅱ	1	
				初級ロシア語Ⅲ	1	
				初級ロシア語Ⅳ	1	
			2	中級ロシア語Ⅰ	1	シラバス等は別途指示する
				中級ロシア語Ⅱ	1	
				中級ロシア語Ⅲ	1	
				中級ロシア語Ⅳ	1	
			1・2	日本語 ※外国人留学生のみ選択可	1	日本語シラバス参照
		選択	1	初級ドイツ語プラスワン	1	小松 真帆
			2	中級ドイツ語プラスワン	1	シックハウス, トビアス
			3・4	上級ドイツ語	1	シックハウス, トビアス
			4	発展ドイツ語	1	レンドラー, ローマン D.
			1	初級フランス語プラスワン	1	富塚 真理子
			2	中級フランス語プラスワン	1	久松 健一
			3・4	上級フランス語	1	松原 陽子
			4	発展フランス語	1	松原 陽子
			1	初級中国語プラスワン	1	葉 紅
			2	中級中国語プラスワン	1	葉 紅
			3・4	上級中国語	1	三田 剛史 江田 いづみ
			4	発展中国語	1	石井 知章
			1	初級韓国語プラスワン	1	高 成鳳
			2	中級韓国語プラスワン	1	李 興淑
			3・4	上級韓国語	1	高 成鳳
			4	発展韓国語	1	桔川 純子
			1	初級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			2	中級スペイン語プラスワン	1	開講せず
			3・4	上級スペイン語	1	松尾 俊輔
			4	発展スペイン語	1	開講せず
	保健体育科目	必修	1	体育・スポーツ実習 A	1	別表Ⅲ－⑦、Oh-ol Meiji公開 シラバスおよび選択体育実技 パンフレットシラバス参照
				体育・スポーツ実習 B	1	
		選択	2	選択スポーツ実習	1	
			3・4	選択集中スポーツ実習	1	
			1	スポーツとグローバリゼーション	2	澤井 和彦
			2	スポーツと健康	2	桑森 真介

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
基本科目	1・2	ミクロ経済学	2	千田 亮吉 賈 執孝
		マクロ経済学	2	千田 亮吉 賈 執孝
		理論経済学 A	2	植村 博恭
		理論経済学 B	2	植村 博恭
		経済史 A (*1)	2	井上 達樹
		経済史 B (*2)	2	井上 達樹
		商業総論 A	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		商業総論 B	2	竹村 正明
			2	庄司 真人
		経営学総論 A	2	會澤 綾子 水村 典弘
			2	會澤 綾子 水村 典弘
		簿記学 A	2	神田 良介
				渡邊 雅雄
				葛 暁鵬
				吉沢 壮二郎
				渡邊 智
		簿記学 B	2	神田 良介
				渡邊 雅雄
				葛 暁鵬
				吉沢 壮二郎
				渡邊 智
		会計学総論 A	2	梅原 秀継
		会計学総論 B	2	前田 陽
		統計学 A	2	小林 弦矢 太田 悠太
			2	小林 弦矢 太田 悠太
		統計学 B	2	小林 弦矢 太田 悠太
		金融総論 A	2	小原 英隆
		金融総論 B	2	小原 英隆
		貿易総論 A	2	森元 晶文
		貿易総論 B	2	鈴木 仁里

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	アプライド・エコノミクスコース	3・4	経済政策論 A	2	山田 知明
			経済政策論 B	2	山田 知明
			公共経済学	2	畑農 鋭矢
			財政学	2	畑農 鋭矢
			中小企業論 A	2	樋渡 雅幸
			中小企業論 B	2	樋渡 雅幸
			産業組織論 A	2	海老名 剛
			産業組織論 B	2	海老名 剛
			地域経済論 A	2	開講せず
			地域経済論 B	2	開講せず
			国際経済学 A	2	高浜 光信
			国際経済学 B	2	高浜 光信
			日本経済論 A	2	千田 亮吉
			日本経済論 B	2	千田 亮吉
			環境経済学 A	2	赤石 秀之
			環境経済学 B	2	赤石 秀之
			計量経済学 A	2	水野 勝之
			計量経済学 B	2	水野 勝之
			金融論 A	2	小原 英隆
					土屋 陽一
			金融論 B	2	小原 英隆
					土屋 陽一
			国際金融論 A	2	太田 壘
			国際金融論 B	2	太田 壘
			貿易論 A	2	所 康弘
			貿易論 B	2	所 康弘
			世界経済論 A	2	小林 尚朗
			世界経済論 B	2	小林 尚朗
			労使関係論 A	2	久保 隆光
			労使関係論 B	2	久保 隆光
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			公益事業論 A	2	大塚 良治
			公益事業論 B	2	大塚 良治
			経営情報システム論 A	2	村田 潔
			経営情報システム論 B	2	村田 潔
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			中国政治経済論	2	三田 剛史
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門 A (*17)	2	千田 亮吉
			経済予測入門 B (*18)	2	千田 亮吉
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	マーケティングコース	3・4	商業経営論 A	2	岸本 徹也
			商業経営論 B	2	岸本 徹也
			マーケティング管理論 A	2	加藤 拓巳
			マーケティング管理論 B	2	加藤 拓巳
			市場調査論 A	2	福田 康典
			市場調査論 B	2	福田 康典
			広告論 A (*3)	2	竹内 亮介
			広告論 B (*4)	2	竹内 亮介
			インダストリアルマーケティング論 A (*5)	2	中 麻弥美
			インダストリアルマーケティング論 B (*6)	2	中 麻弥美
			商品学 A	2	高橋 昭夫
					上原 義子
			商品学 B	2	高橋 昭夫
					上原 義子
			流通史 A (*7)	2	若林 幸男
			流通史 B (*8)	2	若林 幸男
			消費者行動論 A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論 B (*10)	2	佐藤 平国
			マーケティング企画 A	2	高橋 昭夫
					福田 康典
					王 暁芸
					佐藤 敏久
					劉 亜水
			マーケティング企画 B	2	高橋 昭夫
					福田 康典
					王 暁芸
					佐藤 敏久
					劉 亜水
			交通論 A	2	藤井 秀登
			交通論 B	2	藤井 秀登
			物的流通論 A	2	水谷 淳
			物的流通論 B	2	水谷 淳
			国際交通論 A	2	町田 一兵
			国際交通論 B	2	町田 一兵
			都市・地域交通論 A	2	恩田 睦
			都市・地域交通論 B	2	恩田 睦
			公益事業論 A	2	大塚 良治
			公益事業論 B	2	大塚 良治
			観光事業論 A	2	藤井 秀登
			観光事業論 B	2	藤井 秀登
			産業組織論 A	2	海老名 剛
			産業組織論 B	2	海老名 剛
			情報管理論 A	2	山下 洋史
			情報管理論 B	2	山下 洋史
			国際マーケティング論 A	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			国際マーケティング論 B	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			流通システム論 A	2	原 頼利
			流通システム論 B	2	原 頼利
			クリエイティブ・マーケティング論 A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論 B	2	水野 誠
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担 当 者
基 幹 科 目	ファイナンス＆ インシュアランス コース	3 ・ 4	金融論A	2	小原 英隆 土屋 陽一
			金融論B	2	小原 英隆 土屋 陽一
			コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
			コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
			金融機関論A	2	伊藤 隆康
			金融機関論B	2	伊藤 隆康
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			証券市場論A	2	野田 顕彦
			証券市場論B	2	野田 顕彦
			機関投資家論A	2	三和 裕美子
			機関投資家論B	2	三和 裕美子
			保険学A	2	中林 真理子
			保険学B	2	中林 真理子
			損害保険論A	2	柳瀬 典由
			損害保険論B	2	柳瀬 典由
			生命保険論	2	内藤 和美
			社会保障論A	2	畔上 秀人
			社会保障論B	2	畔上 秀人
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			ベンチャー・ファイナンスA (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンスB (*20)	2	姜 理恵
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	グローバル・ビジネスコース	3・4	貿易論A	2	所 康弘
			貿易論B	2	所 康弘
			国際マーケティング論A	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			国際マーケティング論B	2	鈴木 仁里
					深澤 琢也
			貿易商務論A	2	篠原 敏彦
			貿易商務論B	2	篠原 敏彦
			貿易政策論A	2	小林 尚朗
			貿易政策論B	2	小林 尚朗
			ビジネス英語A	2	山本 雄一郎
			ビジネス英語B	2	山本 雄一郎
			バーバル・ビジネス英語A	2	塩澤 恵理
			バーバル・ビジネス英語B	2	塩澤 恵理
			国際ビジネス交渉論A	2	中谷 安男
			国際ビジネス交渉論B	2	中谷 安男
			北米地域市場論	2	朝比奈 剛
			欧州地域市場論	2	道満 治彦
			中南米地域市場論	2	所 康弘
			アジア・太平洋地域市場論	2	朱 永浩
			世界経済論A	2	小林 尚朗
			世界経済論B	2	小林 尚朗
			国際経済学A	2	高浜 光信
			国際経済学B	2	高浜 光信
			国際金融論A	2	太田 壘
			国際金融論B	2	太田 壘
			国際交通論A	2	町田 一兵
			国際交通論B	2	町田 一兵
			物的流通論A	2	水谷 淳
			物的流通論B	2	水谷 淳
			国際経営論A	2	内堀 敬則
					鷲見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
					鷲見 淳
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	マネジメントコース	3・4	経営戦略論A	2	西 剛広 近藤 光
			経営戦略論B	2	西 剛広 近藤 光
			生産管理論A	2	富野 貴弘
			生産管理論B	2	富野 貴弘
			情報管理論A	2	山下 洋史
			情報管理論B	2	山下 洋史
			経営情報システム論A	2	村田 潔
			経営情報システム論B	2	村田 潔
			経営組織論 (*11)	2	佐藤 香織
			経営労務論 (*12)	2	佐藤 香織
			労使関係論A	2	久保 隆光
			労使関係論B	2	久保 隆光
			経営管理論 (*13)	2	會澤 綾子
			産業心理学 (*14)	2	東海 詩帆
			経営哲学	2	出見世 信之
			経営倫理	2	水村 典弘
			企業論 (*15)	2	會澤 綾子
			日本経営史 (*16)	2	円城寺 敬浩
			国際経営論A	2	内堀 敬則
			国際経営論A		鷺見 淳
			国際経営論B	2	内堀 敬則
			国際経営論B		鷺見 淳
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			クリエイティブ・マーケティング論A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論B	2	水野 誠
			企業と倫理A	2	出見世 信之
			企業と倫理B	2	金子 裕介
			保険リスクマネジメント論A	2	浅井 義裕
			保険リスクマネジメント論B	2	浅井 義裕
			ファッション・ビジネス論A	2	東野 香代子
			ファッション・ビジネス論B	2	東野 香代子
			企業評価論A	2	米谷 健司
			企業評価論B	2	米谷 健司
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	アカウンティング コース	3・4	財務会計論A	2	姚 俊
			財務会計論B	2	姚 俊
			原価計算論A	2	千葉 修身
			原価計算論B	2	千葉 修身
			意思決定会計論A	2	前田 陽
			意思決定会計論B	2	前田 陽
			業績管理会計論A	2	小田 康治
			業績管理会計論B	2	小田 康治
			監査論A	2	加藤 達彦
			監査論B	2	加藤 達彦
			経営分析論A	2	王 志
			経営分析論B	2	王 志
			税務会計論A	2	神田 良介
			税務会計論B	2	神田 良介
			国際会計論A	2	山本 昌弘
			国際会計論B	2	山本 昌弘
			会計情報論A	2	名越 洋子
			会計情報論B	2	名越 洋子
			企業評価論A	2	米谷 健司
			企業評価論B	2	米谷 健司
			企業法A	2	秋坂 朝則
			企業法B	2	秋坂 朝則
			租税法A	2	松原 有里
			租税法B	2	松原 有里
			コーポレート・ファイナンスA	2	朝岡 大輔
			コーポレート・ファイナンスB	2	朝岡 大輔
			金融取引論A	2	萩原 統宏
			金融取引論B	2	萩原 統宏
			実践会計論A	2	山口 不二夫
			実践会計論B	2	富田 竜一
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ

区分		配当年次	授業科目	単位数	担当者
基幹科目	クリエイティブ・ビジネスコース	3・4	異文化間コミュニケーション論	2	加藤 健太
			バイオテクノロジーとバイオビジネス	2	浅賀 宏昭
			企業と倫理 A	2	出見世 信之
			企業と倫理 B	2	金子 裕介
			企業と環境問題	2	森永 由紀
			メディアとリテラシー	2	滝口 直樹
			中国政治経済論	2	三田 剛史
			東南アジア政治経済論	2	鳥居 高
			スポーツビジネス論	2	澤井 和彦
			レジャービジネス論	2	野澤 智行
			産業立地論	2	中川 秀一
			経済予測入門 A (*17)	2	千田 亮吉
			経済予測入門 B (*18)	2	千田 亮吉
			流通システム論 A	2	原 頼利
			流通システム論 B	2	原 頼利
			ベンチャー・ファイナンス A (*19)	2	姜 理恵
			ベンチャー・ファイナンス B (*20)	2	姜 理恵
			e-ビジネス A	2	上原 衛
			e-ビジネス B	2	上原 衛
			ビジネス法務 A	2	片山 史英
			ビジネス法務 B	2	中川 達也
			ベンチャービジネス論	2	久米 信行
			実践会計論 A	2	山口 不二夫
			実践会計論 B	2	富田 竜一
			クリエイティブ・マーケティング論 A	2	水野 誠
			クリエイティブ・マーケティング論 B	2	水野 誠
			ファッション・ビジネス論 A	2	東野 香代子
			ファッション・ビジネス論 B	2	東野 香代子
			消費者行動論 A (*9)	2	佐藤 平国
			消費者行動論 B (*10)	2	佐藤 平国
			ビジネス英語 A	2	山本 雄一郎
			ビジネス英語 B	2	山本 雄一郎
			経営戦略論 A	2	西 剛広
			経営戦略論 A		近藤 光
			経営戦略論 B	2	西 剛広
			経営戦略論 B		近藤 光
			企業評価論 A	2	米谷 健司
			企業評価論 B	2	米谷 健司
		3	外国専門書購読	2	別表Ⅳ
商学専門演習		2		2	Oh-o! Meiji公開シラバス参照
		3	商学専門演習	2	
		4		2	
				2	

区分	配 当 年 次	授業科目	単 位 数	担当者
応用展開科目	1	総合講座（商学入門）	2	畑農 鋭矢
	$\frac{1}{2}$	総合講座（商学研究入門）	2	開講せず
	1	総合講座A（フューチャースキル講座）	2	高野 公三子
			2	中山 千尋
			2	松尾 隆策
			2	齋藤 美和子
			2	齋藤 美和子
	$\frac{1}{4}$	総合講座A	2	学部間共通総合講座シラバス参照
		総合講座B	2	
		総合講座C	2	
		総合講座D	2	
	$\frac{1}{2}$	会計特殊講義A	2	吉川 信将
		会計特殊講義B	2	小松 義明
	$\frac{1}{4}$	Essentials of Commerce A	2	中山 千尋
		Essentials of Commerce B	2	中山 千尋
	$\frac{3}{4}$	Applied Commerce A	2	臼井 哲也
		Applied Commerce B	2	臼井 哲也
	$\frac{1}{4}$	特別テーマ実践科目A	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ実践科目B	2	
		特別テーマ実践科目C	2	
		特別テーマ実践科目D	2	
	$\frac{1}{4}$	特別テーマ研究科目A	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ研究科目B	2	
		特別テーマ研究科目C	2	
		特別テーマ研究科目D	2	
		特別テーマ研究科目E	2	開講せず
		特別テーマ研究科目F	2	
	$\frac{1}{4}$	特別テーマ海外研修科目A	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目B	2	Oh-ol Meiji公開シラバス参照
		特別テーマ海外研修科目C	2	開講せず
		特別テーマ海外研修科目D	2	
	$\frac{1}{4}$	地域活性化システム論A	2	松尾 隆策
		地域活性化システム論B	2	樋渡 雅幸
	$\frac{3}{4}$	外国文化・言語特殊講義A	2	趙 泰昊
		外国文化・言語特殊講義B	2	趙 泰昊
	3	ジョブ・インターンシップ	2	開講せず
	上記以外の応用展開科目は今年度は開講せず			

区分	配当年次	授業科目	単位数	担当者
その他	1・2	憲法 A	2	江藤 英樹
	2	憲法 B	2	江藤 英樹
	3・4	民法 A	2	戸田 知行
		民法 B	2	戸田 知行
		商法 A	2	陳 亮
		商法 B	2	陳 亮
		労働法 A	2	小林 大祐
		労働法 B	2	小林 大祐
	1～4	ICTエレメンタリー	2	情報関係科目シラバス参照
		ICTベーシックⅠ	2	
		ICTベーシックⅡ	2	
		ICT統計解析Ⅰ	2	
		ICT統計解析Ⅱ	2	
		ICTデータベースⅠ	2	
		ICTデータベースⅡ	2	
		ICTメディア編集Ⅰ	2	
		ICTメディア編集Ⅱ	2	
		ICTアプリ開発Ⅰ	2	
		ICTアプリ開発Ⅱ	2	
		ICTコンテンツデザインⅠ	2	
		ICTコンテンツデザインⅡ	2	
		ICT総合実践Ⅰ	2	
		ICT総合実践Ⅱ	2	
大学院 商学研究科 設置科目	4		2 又は 4	大学院シラバス参照 ※卒業要件単位には含まれない
専門職大学院 会計専門職研究科 設置科目	4		2 又は 4	専門職大学院シラバス参照 ※卒業要件単位には含まれない
資格課程関係科目	1～4	日本史概論	2	資格課程関係科目シラバス参照 ※資格課程対象者のみ履修可。 ※2017年度以降の入学で資格 課程履修者は、8単位まで卒業 要件単位に含めることができる。
		東洋史概論	2	
		西洋史概論	2	
		人文地理学概論	2	
		自然地理学概論	2	
		地誌学概論	2	
		法律学概論	2	
		政治学概論	2	
		哲学概論	2	
		倫理学概論	2	
		職業指導	2	
グローバル人材育成 プログラム	1～4	グローバル人材育成プログラムシラバス参照 ※修得単位の取扱いはP47参照		
学部間共通外国語科目	1～4	学部間共通外国語シラバス参照 ※修得単位の取扱いはP32及びP47参照		

3. 科目名対照表（2021年度以前入学者用）

2021年度以前入学者はP87～101と科目名や単位数等が異なっている場合があります。以下に入学年度のカリキュラムに応じた科目名や単位数を掲載します。該当の入学年度を確認して履修してください。

	2022年度以降入学者（P71～101の科目名）	2021年度入学者	2020年度以前入学者
*1	経済史A	欧米経済史	
*2	経済史B	アジア経済史	
*3	広告論A（2単位）	同左	広告論（4単位）
*4	広告論B（2単位）	同左	
*5	インダストリアルマーケティング論A（2単位）	同左	インダストリアルマーケティング論（4単位）
*6	インダストリアルマーケティング論B（2単位）	同左	
*7	流通史A（2単位）	同左	流通史（4単位）
*8	流通史B（2単位）	同左	
*9	消費者行動論A（2単位）	同左	消費者行動論（4単位）
*10	消費者行動論B（2単位）	同左	
*11	経営組織論	同左	経営労務論A
*12	経営労務論	同左	経営労務論B
*13	経営管理論	産業心理学A	
*14	産業心理学	産業心理学B	
*15	企業論	日本経営史A	
*16	日本経営史	日本経営史B	
*17	経済予測入門A（2単位）	同左	経済予測入門（4単位）
*18	経済予測入門B（2単位）	同左	
*19	ベンチャー・ファイナンスA（2単位）	同左	ベンチャー・ファイナンス（4単位）
*20	ベンチャー・ファイナンスB（2単位）	同左	

4. 必修科目担当予定者一覧表

別表Ⅰ

基礎演習担当者
浅間 哲平
阿部 巧
石井 知章
石出 靖雄
伊藤 隆康
海田 皓介
加藤 健太
北田 葉子
木村 至聖
黒崎 典子
桑森 真介
清水 真木
高橋三和子
趙 泰昊
土屋 陽一
永井 善久
中村 成里
西山 春文
萩原 統宏
久松 健一
ハデイ ハーニ
洞口 拓磨
葛 暁鵬
姜 瑩
李 雨テイ
王 暁芸
呉 東錫
竹内久美子
余 漢燮

別表Ⅱ

文章表現担当者
石出 靖雄
永井 善久
中村 成里
西山 春文
岡田 博子
唐澤 聖月
川島みどり
武田比呂男
長沼 英二
野本 聡
羽矢みずき
深津謙一郎
柳澤 幹夫

別表Ⅲ－①
英語担当予定者

一 年	組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	I・II	口語英語 担当者	佐藤 寛子	大和久悌一郎	杉本 文四郎	横田 保恵	トウ エン	加藤 匠	高松 麻里	伊藤 健一郎	大島 有子	倉光 紀子	中川 千帆	長谷川 秀子	藤原 雅子	田中 茂彦	岡部 了也	高山 真梨子	本間 裕子
	I・II	英語講読 担当者	北沢 格	大島 有子	熊谷 順子	岩本 和良	伊藤 左千夫	佐藤 寛子	加藤 匠	柏原 俊樹	内田 大貴	加藤 健太	海田 皓介	中島 渉	伊藤 健一郎	トウ エン	横田 保恵	小川 真理	高松 麻里
	組		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
		口語Ⅰ・Ⅱ 担当者	江頭 浩樹	石黒 太郎	小川 真理	鷺尾 郁	濱田 啓志	伊藤 左千夫	岩本 和良	大島 有子	柏原 俊樹	北沢 格	熊谷 順子	トウ エン	田中 茂彦	加藤 匠	内田 大貴	中川 千帆	
		講読Ⅰ・Ⅱ 担当者	大和久悌一郎	高山 真梨子	杉本 文四郎	藤原 雅子	中川 千帆	長谷川 秀子	済藤 葵	渡辺 賢一郎	野地 薫	佐藤 寛子	青木 敬子	花田 太平	野田 恵子	小泉 勇人	式町 眞紀子	高橋 三和子	
	組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		口語Ⅰ・Ⅱ 担当者	野地 薫	佐藤 寛子	渡辺 賢一郎	式町 眞紀子	野田 恵子	青木 敬子	済藤 葵	小泉 勇人	A・ジェームズ	中川 千帆	トウ エン	三井 淳子	高松 麻里	鷺尾 郁	田中 茂彦	池田 しおり	濱田 啓志
		講読Ⅰ・Ⅱ 担当者	三井 淳子	高松 麻里	田中 茂彦	鷺尾 郁	濱田 啓志	中川 千帆	池田 しおり	伊藤 左千夫	岩本 和良	大島 有子	鷺尾 郁	小峰 祥子	倉光 紀子	杉本 文四郎	大島 有子	狩野 郁子	長谷川 秀子
	組		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
		口語Ⅰ・Ⅱ 担当者	清水 由布紀	玉川 明日美	堤 龍一郎	吉田 えりか	山下 理恵子	小峰 祥子	倉光 紀子	狩野 郁子	大島 有子	久木田 直江	佐藤 寛子	野田 恵子	本間 裕子	田中 茂彦	蒔田 裕美	近野 幹結	
		講読Ⅰ・Ⅱ 担当者	松田 隆美	トウ エン	本間 裕子	山下 理恵子	田中 茂彦	近野 幹結	横田 保恵	蒔田 裕美	久木田 直江	野田 恵子	瀧口 美香	平野井 ちえ子	玉川 明日美	岡田 優子	トウ エン	清水 由布紀	

和泉（再履修）科目

石黒 太郎
海田 皓介
高橋三和子
瀧口 美香

和泉（再履修）科目

石井英津子
高橋三和子
本間 裕子

別表Ⅲ－②

ドイツ語担当予定者

一 年	組		1	2	3	4	5	6
	初級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	長田 浩	長田 浩	渡辺 幸子	小松 真帆	広沢 絵里子	羽田野 まち子
	初級ドイツ語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	レンドラー・ ローマンD.	レンドラー・ ローマンD.	シックハウス・ トビアス	赤池 エルフリーデM	オストヴァルト・ イエンス	オストヴァルト・ イエンス
二 年	組		1	2	3	4	5	6
	中級ドイツ語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	田中 謙司	田中 謙司	羽田野 まち子	羽田野 まち子	出縄 祐介	出縄 祐介
	中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内 容	ドイツ語 コミュニケーション	ドイツ語 コミュニケーション	独検対策	時事ドイツ語	ドイツ文化講読	オーストリア 文化講読
		担当者	オストヴァルト・ イエンス	シックハウス・ トビアス	渡辺 幸子	広沢 絵里子	大類 京子	小松 真帆

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
小松 真帆
出縄 祐介
渡辺 幸子

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
オストヴァルト・イエンス
出縄 祐介
大類 京子

別表Ⅲ－③

フランス語担当予定者

一 年	組		7	8	9	10	11	12	13
	初級フランス語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	明石 伸子	松原 陽子	森 真太郎	杉村 裕史	久松 健一	浅間 哲平	久松 健一
	初級フランス語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	ドナティ・ ジャン・アレキシ C	クロズ 山口 エリアンヌ	カルトン・マルティヌ	パジェス クリストフ・S	パジェス クリストフ・S	カルトン・マルティヌ	ロラン・ローベル
二 年	組		7	8	9	10	11	12	13
	中級フランス語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	江島 宏隆	余語 毅憲	杉村 裕史	高橋 明美	富塚 真理子	杉村 裕史	余語 毅憲
	中級フランス語Ⅲ・Ⅳ (テーマ別選択)	内 容	フランス映画	フランス語会話	フランス語会話	実用フランス語講座	実践フランス語講座	英語で学ぶフランス語	フランスの文化と生活
		担当者	高橋 明美	ロラン・ローベル	クロズ 山口 エリアンヌ	富塚 真理子	久松 健一	久松 健一	明石 伸子

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
江島 宏隆
高橋 明美

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
明石 伸子
高橋 明美

別表Ⅲ－④

中国語担当予定者

一 年	組		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	I・II 初級中国語	担当者	孫 国震	陳 英招	土田 青	李 旭	劉 光赤	藤井 喜一郎	李 旭	藤井 喜一郎	劉 光赤	葉 進太郎	王 学群	李 旭	劉 光赤
二 年	III・IV 初級中国語	担当者	鈴木 仁麗	村上 太輝夫	森 美千代	野本 敬	三田 剛史	鈴木 仁麗	江田 憲治	本田 親史	村上 太輝夫	森 美千代	小林 光考	廣瀬 直記	廣瀬 直記
	組		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
二 年	I・II 中級中国語	担当者	陳 英招	藤井 喜一郎	藤井 喜一郎	劉 光赤	土田 青	陳 英招	葉 進太郎	孫 国震	李 旭	王 学群	藤井 喜一郎	葉 紅	王 学群
	III・IV 中級中国語	担当者	井口 博文	井口 博文	江田 憲治	小林 光考	森 美千代	江田 憲治	清水 享	江田 いづみ	清水 享	本田 親史	森 美千代	三田 剛史	本田 親史

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
清水 亨
孫 国震
野本 敬
藤井喜一郎
森 美千代

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
石井 知章
江田 憲治
孫 国震
三田 剛史

別表Ⅲ－⑤

韓国語担当予定者者

一 年	組		27	28	29
	初級韓国語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	李 興淑	崔 英姫	崔 先鎬
	初級韓国語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	崔 英姫	桔川 純子	金 任仲
二 年	組		27	28	29
	中級韓国語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	金 任仲	高 成鳳	崔 先鎬
	中級韓国語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	崔 先鎬	李 興淑	桔川 純子

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
崔 先鎬

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
桔川 純子

別表Ⅲ－⑥
スペイン語担当予定者

一 年	組		30	31	32	33
	初級スペイン語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	諸星 妙	敦賀 公子	渡辺 有美	渡辺 有美
	初級スペイン語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	諸星 妙	敦賀 公子	渡辺 有美	渡辺 有美
二 年	組		30	31	32	33
	中級スペイン語 Ⅰ・Ⅱ	担当者	丸山 共恵	諸星 妙	大國 雅子	敦賀 公子
	中級スペイン語 Ⅲ・Ⅳ	担当者	菅原 昭江	菅原 昭江	フィシエレフ, ヴァレリア	フィシエレフ, ヴァレリア

和泉（再履修）科目担当予定者

氏名
井関 睦美
大國 雅子

駿河台（再履修）科目担当予定者

氏名
井関 睦美
工藤 綾

別表Ⅲ－⑦

2025年度 体育・スポーツ実習A・B一覧表

曜日	時限	クラス	コース	開講期	担当者	種目	場所
水	1	23・31・32	ア	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	リエゾン棟 L2教室
				秋学期	澤井 和彦	オルタナティブスポーツ	SR11
			イ	春学期	澤井 和彦	オルタナティブスポーツ	SR11
				秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
			ウ	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	リエゾン棟 L2教室
	2	3・12・25	ア	春学期	阿部 巧	ソフトボール・サッカー	グラウンド
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	リエゾン棟 L2教室
			イ	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	リエゾン棟 L2教室
				秋学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
			ウ	春学期	今野 和志	卓球	スポーツルームA
				秋学期	阿部 巧	バスケ	メインホール
	3	5・11・22	ア	春学期	今野 和志	バスケ(3on3)・ユニホック・ダーツ	SR11
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	315教室
			イ	春学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	315教室
				秋学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
			ウ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
				秋学期	今野 和志	バレーボール・バドミントン	サブホール
木	1	2・17・26	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	SR11
				秋学期	今野 亮	フィットネス	フィットネスルーム
			イ	春学期	今野 亮	バスケ・バレー	メインホール
				秋学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
			ウ	春学期	今野 和志	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	東原 文郎	オルタナティブスポーツ	306教室
	2	1・4・33	ア	春学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
				秋学期	佐伯 徹郎	フィットネス	フィットネスルーム
			イ	春学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
				秋学期	三浦 康二	レクリエーションスポーツ	メインホール
			ウ	春学期	佐伯 徹郎	卓球	スポーツルームA
				秋学期	志賀 充	バドミントン	サブホール
	3	9・10・30	ア	春学期	阿部 巧	バレーボール・フットサル	サブホール
				秋学期	志賀 充	ゴルフ	ゴルフレンジ
			イ	春学期	志賀 充	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
			ウ	春学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
				秋学期	阿部 巧	フィットネス	フィットネスルーム
	4	6・7・21・24	ア	春学期	今野 和志	サッカー	グラウンド
				秋学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
			イ	春学期	高梨 美奈	ニュースポーツ	SR11
				秋学期	今野 和志	アルティメット・バドミントン	サブホール
			ウ	春学期	桑森 真介	卓球	スポーツルームA
				秋学期	阿部 巧	バスケ・フットサル	メインホール
土	1	16・19・27・29	ア	春学期	阿部 巧	バレーボール・フットサル	サブホール
				秋学期	高梨 美奈	ニュースポーツ	SR11
			イ	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
				秋学期	片瀬 文雄	ユニホック	スポーツルームB
			ウ	春学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
				秋学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
	2	13・14・18・20	エ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
				秋学期	木村 博人	テニス	テニスコート
			エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール
			ア	春学期	朴 周鳳	テニス	テニス場
				秋学期	木村 博人	バスケ・フットサル	メインホール
			イ	春学期	片瀬 文雄	卓球	スポーツルームA
				秋学期	後藤 肇	テニス	テニスコート
			ウ	春学期	木村 博人	バレーボール・バドミントン	サブホール
				秋学期	片瀬 文雄	フィットネス	フィットネスルーム
			エ	春学期	後藤 肇	フィットネス	フィットネスルーム
				秋学期	朴 周鳳	バレーボール・バドミントン	サブホール

履修にあたっての【注意事項】

- ① 自分のクラス以外の授業は履修できません。
- ② 初回の授業前にア・イ・ウ（クラスによってはエ）からコースを選びます。詳細は「シラバス1」の18ページをご確認ください。
- ③ 初回は服装の準備はいりません。

※種目に変更がある場合があります。

別表Ⅳ
外国専門書講読担当予定者

コース	部門	担当者
アプライド・エコノミクス	経済	小林 弦矢
		土居 拓務
マーケティング	マーケティング	佐藤 平国
		竹内 亮介
		山崎喜代宏
		姜 瑩
		王 暁芸
		首藤 禎史
		庄司 真人
		坪井 明彦
		仁平 京子
		野木村忠度
		余 漢燮
	交通	恩田 睦
		町田 一兵
		水谷 淳
ファイナンス&インシュアランス	金融	太田 壘
		萩原 統宏
	保険	内藤 和美
グローバル・ビジネス	貿易	山本雄一郎
		李 雨テイ
		高橋 文紀
マネジメント	経営・情報	円城寺敬浩
		鈴木 貴大
アカウンティング	会計	王 志
		松原 有里
		湯澤 晃明
		渡邊 智
クリエイティブ・ビジネス	クリエイティブ	竹内久美子
		村山 賢哉
	日本語	余 漢燮
	スポーツ特入	余 漢燮
	基礎英語	渡邊 智

5. 語学について

英語科目について
1. 授業の概要・目的 グローバル化と情報化が加速する現代社会において、今や緊要なコミュニケーション手段となった英語の運用能力を、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスに配慮しながら伸ばす。また、言語能力と分かち難く存在する文化的理解力を高め、幅広い教養を身につけるため、様々な教材を通じて、英語圏をはじめとした諸外国の文化に触れながら、日本文化に対する理解も深めてゆく。 和泉キャンパス（1・2年次）では、クラス指定による「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」と、習熟度に応じた選択制による「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」「上級英語Ⅰ・Ⅱ」の4種類の授業科目（週1回、春・秋学期各1単位）が開設されている。「Ⅰ」は春学期開講、「Ⅱ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ」と「Ⅱ」を1年間通して履修すること。週1回・1年分の授業を、週2回・1学期で履修する「集中基礎英語」「集中上級英語」（2単位）が開講されることもある。 駿河台キャンパス（3・4年次）では、多彩なテーマ設定による「発展英語」（週1回、1学期完結1単位）が開設されている。
2. 授業内容 「口語英語Ⅰ・Ⅱ」： 英語でのオーラル・コミュニケーション能力の習熟を目標に、発音と聴解を重視し、口語表現を中心とした授業をおこなう。 「英語講読Ⅰ・Ⅱ」： 英文読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、幅広い素材のテキストによる、講読を中心とした授業をおこなう。 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」： 公募制特別入試（大学入学共通テスト利用特別入試の出願条件が商業部門の者のみ）・スポーツ特別入試による入学者が、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」のそれぞれに代えて履修することを認められるもので、基礎的な英語力の向上を目的とする。定員約40名。 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」： 習熟度の高い学生（TOEIC 550以上または英検2級以上）が、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」のそれぞれに代えて履修することを認められるもので、総合的な英語力の向上を目的とする。定員約20名。 「発展英語」： 「上級英語」の3・4年生版ともいえるべきもので、4年間一貫教育の成果に磨きをかけ、高度な英語力の習得を目的とする。
3. 履修の注意点 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」は、1年次および2年次に、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」のそれぞれに代えて、履修することができる（2年間合計で8単位まで振り替え可能）。希望者が定員を超える場合は、初回授業時に筆記・面接・抽選などによる選抜をおこなう。 「上級英語Ⅰ・Ⅱ」は、1年次および2年次に、「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」のそれぞれに代えて、履修することができる（2年間合計で8単位まで振り替え可能）。1年次入学時に実施のTOEICのスコア、もしくは英検などの実績に基づき、受講資格を満たす者に対して、初回授業時に選抜をおこなう。入学時以外にTOEICを受験し550以上を取得している場合、または英検2級以上に相当する資格を取得している場合は、その内容を証明する書類（コピー可）を持参すること。 外国語科目では、授業回数の3分の1以上を欠席した学生には、原則として定期試験を受ける資格が認められない。担当教員によっては、さらに高い出席率を求めることがあるので注意すること。 「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」「上級英語Ⅰ・Ⅱ」「発展英語」の授業の詳細に関しては、当該のシラバスを参照のこと。クラス指定の「口語英語Ⅰ・Ⅱ」「英語講読Ⅰ・Ⅱ」については、初回授業時ならびにOh-o! Meijiのクラスウェブ上において、担当教員からの説明がある。

ドイツ語科目について
1. 授業の概要・目的 商学部は、多様な文化を理解する教養を備えた、世界で活躍できるビジネスパーソンの育成に力を入れており、英語だけでなく初習外国語を学ぶためのカリキュラムも充実している。初習外国語のひとつとして設置されているドイツ語は、大学で初めてドイツ語を学ぶ学生を対象にして初級レベルから段階的に科目を展開しているもので、4年間を通じて学習できる。ドイツ語授業の一貫した目的は、ドイツ語圏の社会や文化への理解を深めながら、ドイツ語の実践的な運用能力を高めることである。 この目的のため、和泉キャンパスでは、「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」（1年次）、および「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」（2年次）が必修科目として開設されている。（「Ⅰ」「Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ」「Ⅳ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ・Ⅱ」および「Ⅲ・Ⅳ」を1年間通して履修する。）また、入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生やドイツ語の学習歴のある学生のために、「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」（1・2年次）が和泉キャンパスの共通科目として設置されている。商学部はさらに、将来の留学・研究・ビジネスに役立つドイツ語能力を1年の秋学期から3学期連続で養成する選択科目「初級ドイツ語プラスワン」（1年次秋学期）と「中級ドイツ語プラスワン」（2年次春・秋学期）を開設している。 駿河台キャンパスでは、3・4年次でも継続してドイツ語を学習したい学生のために、「上級ドイツ語」と「発展ドイツ語」が半期科目として開講されている。いずれの科目も春学期・秋学期の連続履修と3・4年の連続履修が可能である。3・4年生を対象とするこれら2つの選択科目において、ドイツ語の基礎力をさらに発展させ、実践に役立つ高度な運用能力を養成することができる。
2. 授業内容 《必修科目》： 「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」：ドイツ語文法の基礎を学ぶ。基本的な語彙・表現を習得したり、聞き取り能力を身に付けたりする。辞書の引き方も練習する。（1年次必修科目・指定クラス・日本人教員担当） 「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」：ドイツ語コミュニケーションの授業。正しい発音やアクセントを学び、基本的な口語表現を習得するだけでなく、書く力も養う。（1年次必修科目・指定クラス・ネイティブ教員担当） 「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」：1年次から継続するドイツ語文法の学習を完成させた上で、比較的に長い文の読解を通じて、ドイツ語のテキストに習熟する。内容的には、ドイツ語圏や他のヨーロッパ諸国への関心を深めていく。（2年次必修科目・指定クラス） 「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」：5つのテーマ別クラス（「コミュニケーションドイツ語」、「独検対策」、「時事ドイツ語」、「ドイツ文化講読」、「オーストリア文化講読」）からひとつを選択し履修する。授業内容の詳細は、次ページ以降の担当者別シラバスを参照すること。（2年次必修科目・テーマ別編成クラス） *特別語学（「特別ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」と「特別ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」）：入学試験の際、外国語科目のなかからドイツ語を選択した学生を対象として開講されおり、必修科目の「初級ドイツ語」「中級ドイツ語」に代えて履修することができる。これらの科目は、ドイツ語で受験しなかった学生でも、相当するドイツ語能力があれば履修することができるので、該当する学生は入学後早々に商学部事務室（和泉）に申し出ること。 《選択科目》： 「初級ドイツ語プラスワン」：さまざまな教材やテーマに基づいてドイツ語技能をバランスよく伸ばし、将来の留学・研究・ビジネスに結びつく確かな基礎力を養成する。1年次の春学期、7月頃に選抜テストが行われる。定員15名程度。（1年次選択科目、秋学期開講） 「中級ドイツ語プラスワン」：「初級ドイツ語プラスワン」から継続して履修し、さらに実践的なドイツ語力を養成する。（2年次選択科目、春・秋学期開講） 「上級ドイツ語」：多様な教材を用いて、ドイツ語能力をより高度なレベルに向上させる。2年次までの必修単位が修得できた者は誰でも履修できる。（3・4年次選択科目） 「発展ドイツ語」：商学部のドイツ語科目のなかでもっともレベルの高い科目である。これまで養ったドイツ語能力にさらに磨きをかける。「上級ドイツ語」の単位修得者、ドイツ語圏留学経験者、「特別ドイツ語」履修者を対象としているが、これ以外の学生も受け入れている。履修希望者は初回授業に出席し、担当教員に相談すること。（3・4年次選択科目）
3. 履修の注意点 ・語学の授業では出席および積極的な参加を重視している。ドイツ語の各科目では、授業回数の3分の1を超えて欠席した学生には、原則として単位修得を認めていない（商学部の外国語科目ルール）。当然ながら、病気のととき以外、毎回出席しなければならない。 ・春学期の初回授業までに教科書を購入し、持参すること。なお、初回授業では評価方法、独和辞典の購入などについての説明があるので必ず出席すること。 ・ドイツ語は授業を通じて、さまざまな情報提供を行っている。《ドイツ語プラスワン》の選考、商学部海外協定校ブレーメン経済工科大学への留学、ミュンヘン大学付属語学学校のドイツ語夏期集中講座、ドイツ語資格試験（「独検」など）の受験料補助などについて案内する。授業でのアナウンスや配布物に注意して、ドイツ語学習に活用してほしい。 ・「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」、「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」の各授業の具体的内容については、Oh-ol Meijiのクラス・ウェブ上に掲載されている。初回の授業でも担当教員から説明がある。 ・学部間共通外国語科目による単位振り替え 2年次履修の「中級ドイツ語Ⅲ」・「中級ドイツ語Ⅳ」は、以下のいずれかの学部間共通外国語科目の履修・単位修得をもって単位振り替えをすることができる。 ア. 「ドイツ語会話ⅡA」（春学期）、「ドイツ語会話ⅡB」（秋学期）の連続履修 イ. 「ドイツ語会話ⅢA」（春学期）、「ドイツ語会話ⅢB」（秋学期）の連続履修 ※「中級ドイツ語Ⅰ」・「中級ドイツ語Ⅱ」は単位振り替えの対象とはならない。 ※上記の学部間共通外国語科目は、単位振り替えをせずに、履修することもできる。意欲的な人は、ネイティブ教員が担当する学部間共通外国語科目を積極的に活用しよう。 ・再履修について（必修科目） 履修した必修科目の単位修得ができなかった場合、その科目を再履修しなければならない。各科目の再履修者のために、以下のような再履修クラスが設置されている。各科目のⅠとⅢは春学期科目に、ⅡとⅣは秋学期科目に対応した内容となっている。 ◎1年次配当科目の単位が修得できなかった場合 「初級ドイツ語Ⅰ」と「初級ドイツ語Ⅲ」については、2年次春学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」を履修する。 「初級ドイツ語Ⅱ」と「初級ドイツ語Ⅳ」については2年次秋学期に和泉キャンパスに設置されている「初級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」を履修する。 ◎2年次配当科目の単位が修得できなかった場合 【3・4年生】 「中級ドイツ語Ⅰ」と「中級ドイツ語Ⅲ」については、春学期に駿河台キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」を履修する。 「中級ドイツ語Ⅱ」と「中級ドイツ語Ⅳ」については、秋学期に駿河台キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」を履修する。 【2年原級生】 和泉キャンパスに設置されている「中級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」、「中級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」を再履修する。 ・商学部ドイツ語ホームページの活用について ドイツ語ホームページにおいて、言語としてのドイツ語の特徴、ドイツ語カリキュラムの特色、ドイツ語圏文化の魅力などが詳しく説明されている。ドイツ語学習やドイツ留学に役立つ情報も多数掲載されているので、下記URLを随時参照すること。 【ドイツ語HPのURL】 http://www.meiji.ac.jp/shogaku/languages/german.html 「商学部HP」→「教育の特色」→「外国語教育」→「ドイツ語」

フランス語科目について

1. 授業の概要・目的

多くの日本企業が国際化していく現代において、英語が出来ることは既に常識で、さらにもう一つの外国語に習熟していることが求められています。また、英語以外の言語を学ぶことで、新たな発想や世界観を持つことができ、さらに英語圏以外の文化に触れる事が出来ます。

商学部のフランス語教育は、1年次は、新しい言語の機能的体系を学ぶ「文法クラス」（初級フランス語Ⅰ・Ⅱ）とコミュニケーション能力を身につけるための「会話クラス」（初級フランス語Ⅲ・Ⅳ）により、1年間でフランス語の基礎をしっかりと身につけてもらいます（「Ⅰ・Ⅲ」は春学期開講、「Ⅱ・Ⅳ」は秋学期開講を表すが、4月に一括して履修登録を行い、「Ⅰ」と「Ⅱ」および「Ⅲ」と「Ⅳ」を1年間通して履修すること）。

2年次では、1年時の基礎力をもとに、クラス指定によるテキストを読む能力を育成する「講読クラス」（中級フランス語Ⅰ・Ⅱ）と、学生が学ぶテーマを自由に選択できる「選択クラス」（中級フランス語Ⅲ・Ⅳ）があり、中級のフランス語能力を身につけると同時に、現代のフランス事情や、フランスの文化を幅広く知る事ができます。

また、特にフランス語に興味を持った学生は、1年次（秋学期から開講）、2年次（春学期から開講）ともに「プラスワン」のクラスを受講することもできます。

3・4年次では、商学部外国語の4年間一貫教育の方針により、一層の習熟を目指す「上級フランス語」と「発展フランス語」を受講することができます。

なお、入試でフランス語を受験した者や希望する者は、学部間共通の「特別フランス語」クラスを受けることになります。

（注意）1、2年次のフランス語の再履修者は、「再履修」クラスを受ける事になるので注意してください。

2. 授業内容

「初級フランス語Ⅰ・Ⅱ」：原則、日本人の教員によって基礎的なフランス語の文法を修得することにより新しい言語の機能的体系を学びます。

「初級フランス語Ⅲ・Ⅳ」：ネイティブ教員（フランス語を母語とする教員）により基礎的なフランス語の会話・コミュニケーション能力を修得します。

「中級フランス語Ⅰ・Ⅱ」：テキスト読解力の習熟を目標に、語彙と文法を重視し、現代フランスの幅広い素材のテキストにより、講読を中心とした授業をおこないます。

「中級フランス語Ⅲ・Ⅳ」：いくつかの選択テーマから自分の関心のある領域を自由に選び、各人思い思いの目標（例：会話力の充実、検定試験合格、実用フランス語能力の整備など）に達することがねらいです。

「初級フランス語プラスワン」：フランス語の意欲的な学習者が、さらなる基礎固めをし、中級文法に容易に接続しうる力を養成します。

「中級フランス語プラスワン」：フランス語を実際に使えるようにするべく、語学への関心興味をさらに引き出すとともに、フランスの文化・社会への興味を醸成します。

3. 履修の注意点

試験を受けるには講義の2／3以上の出席が必要です。

その他は最初の授業で説明されるので特に欠席しないこと。

初めて学ぶ言語なので、欠席（遅刻）をしないのは勿論のこと、予習・復習を欠かさず、積極的に練習問題などを自分ですること。

携帯電話のスイッチを切ること。

なお、辞書（仏和辞典）は特に指定しませんが、学習者用の中型辞書が必要で、小型のポケット辞書では十分ではありません（教員が指定する場合があります）。

中国語科目について

1. 授業の概要・目的

商学部では、ビジネスをはじめとする様々な分野で言語と文化の壁を越えて活躍する真に国際感覚ある人材を養成していくため、英語以外の初習外国語教育にも力を入れ、多様な初習外国語科目を用意しています。中国語科目も、多言語を重視する商学部の外国語教育の一環として設置されています。前世紀末から今世紀初頭に急成長した中国経済を背景に、ビジネスにおける中国語の有用性が揺るぎないものとなっていることはいまでもなく、中国語圏の人々との交流は、観光、文化、教育、スポーツ、防災、行政など多方面で深化してきています。日本と中国の関係も必ずしも順調ではありませんが、現実をみれば日中関係の重要性は全く不変です。政府も企業も中国はもとより中国語圏との関係抜きに国際戦略を立てることはできず、中国語圏の言語、文化と社会を理解しうる人材の重要性はいやがうえにも高まっています。商学部の中国語は、必修の初級と中国語以外に、より意欲的な学習者のための初級プラスワン、中級プラスワン、上級、発展の各科目を設置しています。商学部での中国語教育は、言語を通じて中国・台湾ひいては華人やアジアの文化と社会を理解し、実践的な情報収集と意思疎通が行える力を養成することを目的とします。

2. 授業内容

「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級中国語Ⅲ・Ⅳ」：中国語を初めて学習する1年生のための科目で、Ⅰ・Ⅱは主に中国語を母語とする教員が、Ⅲ・Ⅳは主に日本語を母語とする教員が担当します。春学期にはⅠ・Ⅲを、秋学期にはⅡ・Ⅳを、同一の教科書を使って二人の教員が協力して進め、発音を身につけるとともに一通りの文法事項を学んでいきます。

「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」：2年次の必修科目で主に中国語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が精選したものを使用し、会話練習などを通じてより実践的な中国語力の養成を目指します。

「中級中国語Ⅲ・Ⅳ」：2年次の必修科目で主に日本語を母語とする教員の担当科目です。教科書はそれぞれのクラスの担当者が精選したものを使用し、初級で学んだ文法事項などを基礎に実践的な読解力などを養成していきます。

「初級中国語プラスワン」：より意欲的な1年生のための科目で、秋学期のみに設置されています。1年次の7月に受講生の選抜試験を行いますので、学部からの通知に注意しておいて下さい。

「中級中国語プラスワン」：より意欲的な2年生向けの科目で、春学期・秋学期ともに設置されています。中国語を母語とする教員が、視聴覚教材を用いて臨場感ある授業を行います。

「上級中国語」：中級を学習し終え、さらに社会人として役に立つ中国語を勉強したり、中国語の資格取得を目指したりする学生のための科目です。春学期・秋学期ともに2科目ずつ設置されています。

「発展中国語」：「上級中国語」より高度な応用力を養成したい学生のための科目です。春学期・秋学期ともに1科目ずつ設置されています。

3. 履修の注意点

- ・「上級中国語」と「発展中国語」：いずれの科目も、単位取得科目や成績等による履修制限はありません。「発展中国語」のみを履修することも可能です。
- ・学部間共通外国語科目との振り替え：中国語は、学部間共通外国語科目による単位振り替えを認めていません。
- ・再履修について：初級科目の単位取得が出来なかった場合、和泉開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。中級科目の単位取得が出来なかった場合、駿河台開講の再履修科目を未取得の科目数だけ選択し履修しなければなりません。
- ・定期試験について：中国語のいずれの科目においても、授業回数の3分の1以上欠席した場合、原則として定期試験の受験を認めませんので単位は取得できません。

韓国語科目について

1. 授業の概要・目的

「多言語4年間教育」に基づき、語学教育に力を入れている商学部には、初習外国語のひとつとして韓国語の科目が設けられています。商学部の韓国語授業では言語学習の基本をなすリーディング、ライティング、ヒアリング、スピーキングの基礎力を養い、それらを用いた様々な表現を自由自在に駆使するための応用力を身につけることを目指します。また、その過程で、多様な形態の教材を用いて韓国文化に触れることになります。

以上のために、和泉校舎（1・2年次）ではクラス指定による「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」、「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」が開設されています。「Ⅰ」は春学期開講、「Ⅱ」は秋学期開講を表わしますが、4月に一括して履修登録を行います。

また、選択制による「初級韓国語プラスワン」（1年次の秋学期のみ）、「中級韓国語プラスワン」（2年次の春秋学期）の授業科目が開設されており、海外留学希望者を積極的に育成していくことと、初習外国語の学習に熱心に取り組む学生の意欲に応えることにしています。

そして、2年次には、商学部の「各種語学検定試験」の受験料補助を受けて、毎年11月に韓国語能力試験を受験し、外部の公的機関による客観的な韓国語能力の評価を受けるとともに、資格の習得に臨みます。

駿河台校舎（3・4年次）では、選択制による「上級韓国語」と「発展韓国語」が開講されます。前者では、初級・中級の学習を土台にした文法や文型のレベルをより高め、後者では様々なテーマを取り上げて多様な表現法を学びます。さらに、韓国語能力試験各級のレベルアップ対策が講じられます。

2. 授業内容

- ・「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」:「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」との間はリレー形式の授業形態をとり、前者ではハングル文字が確実に読み・書きできること、後者では基本文型をマスターして簡単な文章が作れることを目標とし、授業が進められます。
- ・「初級韓国語プラスワン」:「初級韓国語Ⅰ」を履修したばかりのレベルであるため、歌や詩などを取りあげ、歌詞を通じて発音の練習を繰り返します。そのことによって基本的な発音の仕方を楽しく、わかりやすく身に付け、韓国語の学習を持続させていくようにすることが授業の目標となります。
- ・「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」、「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」:「Ⅰ・Ⅱ」では韓国語の文法および語彙の知識を確かなものにし、かつ正確な発音を身に付けること、「Ⅲ・Ⅳ」では用言の語尾の基本的な変化について学び、それらを用いた基本文型をマスターして簡単な応用文が作れることを授業の目標とします。
- ・「中級韓国語プラスワン」:PCでハングル文字の打ち方と入力方法を学び、韓国語によるネットサーフィンや検索、メールやチャット上のコミュニケーションができるようにすることが授業の目標です。
- ・「上級韓国語」:作文・読解・会話の学習能力を深化させ、多様な表現の文章力と長文の読解力、会話能力のレベルアップを図ります。
- ・「発展韓国語」:視聴覚教材や新聞、雑誌などの多様な形態の教材を用い、その内容を理解するとともに、作文・読解・会話の応用力と活用力の向上を図ります。

3. 履修の注意点

「初級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「初級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業はリレー形式で行われ、「Ⅰ」と「Ⅲ」、「Ⅱ」と「Ⅳ」はそれぞれ連動するため、一方の授業を欠席すると、他方の授業内容が理解できなくなります。

「初級韓国語プラスワン」と「中級韓国語プラスワン」は、1年次の秋学期・2年次の春秋学期という3学期連続であり、1年次の春学期の終わり頃に募集と選考試験を行うので、希望者はガイダンスに出席してください。募集・選考試験・ガイダンスの日程はOh-o!!Meijiを通じて知らせます。

「中級韓国語Ⅰ・Ⅱ」と「中級韓国語Ⅲ・Ⅳ」の授業のうち、いずれかの授業で「ハングル能力検定試験」の4級を全員受験することになりますが、個別にレベルアップして3級や2級などを併願・受験することも可能です。

「上級韓国語」「発展韓国語」を含めて、韓国語の授業は科目種を問わず、すべて授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験を受けることを認めません。

スペイン語科目について

1. 授業の概要・目的

スペイン語は、スペインと中南米の20以上の国と地域で公用語とされる言語で、国連公用語の一つでもある。スペイン語を習得することは、広大で多様な世界に近づく一歩となり、将来国際的に活躍するチャンスにもつながるだろう。

スペイン語の1・2年次クラス指定による必修科目は以下の通りである。1年次では、春学期に「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の計4科目を履修する。各科目1単位で、1年間に計4単位を修得する。履修登録は4月に一括して行う。2年次も同様に、春学期に「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」、秋学期に「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の計4科目（4単位）を履修する。

2025年度は以下の選択科目は不開講となっている：「初級スペイン語プラスワン」「中級スペイン語プラスワン」「上級スペイン語」「発展スペイン語」。ただし「上級スペイン語」に相当する科目として、法学部開講の「上級スペイン語AⅠ」（春学期）、「上級スペイン語AⅡ」（秋学期）の履修が可能である。

2. 授業内容

「初級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「初級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」：スペイン語の基礎文法を包括的に学習する。アルファベットと発音から始め、名詞の特徴や動詞の時制を学び、直説法の文法構造の把握を目指す。簡単な会話表現も練習し、基本的なスペイン語力を養成する。

「中級スペイン語Ⅰ・Ⅱ」、「中級スペイン語Ⅲ・Ⅳ」：1年次の「初級スペイン語」で学習した内容をふまえ、総合的なスペイン語運用能力を高めていく。スペイン語圏の歴史・文化・社会に関する話題を取り上げながら、「Ⅰ・Ⅱ」はおもに読解力や作文力、「Ⅲ・Ⅳ」はおもにコミュニケーション力養成に焦点を当てる。

3. 履修の注意点

再履修について：必修科目の単位修得ができなかった場合、翌年度にその科目に相当する再履修科目を履修しなければならない。再履修科目は以下の通りである。

- 「初級スペイン語Ⅰ」と「初級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、2年次春学期開講の「初級スペイン語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」。「初級スペイン語Ⅱ」と「初級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、2年次秋学期開講の「初級スペイン語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」。
- 「中級スペイン語Ⅰ」と「中級スペイン語Ⅲ」の再履修科目は、春学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅰ・Ⅲ（再履修）」。「中級スペイン語Ⅱ」と「中級スペイン語Ⅳ」の再履修科目は、秋学期に駿河台開講の「中級スペイン語Ⅱ・Ⅳ（再履修）」。

すべてのスペイン語科目において、一学期の授業回数の3分の1以上を欠席した場合、原則として定期試験の受験資格および単位修得を認めない。

CLASP（商学部外国語アドヴァンスメント・プログラム）について

「CLASP（Commerce Language Advancement Studies Program）」は、商学部の「学理実際兼ね通ずる人材の養成」という教育理念をふまえ、グローバル社会で活躍することのできる豊かな学識と高い外国語能力を備えた、行動力あるビジネス・パーソンを育てるための外国語重点プログラムである。英語の習熟度が高く、外国語能力をさらに向上させるための強い意欲を持つ学生を対象に、商学部の専門科目を英語で学ぶための基礎を固めると同時に、海外の多様な文化・社会への理解を深め、将来の長期海外留学にも役立つ外国語能力を養うことを目的とする。

〔2022年度以降入学者向け〕 ※2021年度以前入学者は事務室に確認すること。

1 プログラムの概要

- ① 和泉キャンパスでの2年間で完結。（当プログラムへの事前申請の必要はない）
- ② 既習外国語（英語）の必修単位8単位中、6単位以上を「上級英語」の履修により修得することを柱に、下記に示す「履修科目」から一定の単位数以上を修得する。
- ③ 2年終了時に修了証書を授与。なお、2年終了時には既習外国語の必修8単位をすべて修得し、進級条件を満たしていることが前提である。
- ④ 修了者のうち、以下のいずれかの条件に該当する学生には優等修了証明書（with distinction）を授与。
 - TOEFL-iBT：100点以上、もしくはTOEIC 875点以上を取得した学生。
 - 「上級英語」の4単位以上がAまたはS評価の学生。

2 履修科目

次の（1）から（3）に示す科目から必要単位をすべて修得する。ただし、2021年度・2022年度入学者については、海外研修、夏期集中講座等が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止や縮小になったことに伴い、（3）の修了要件は免除する。

（1）英語科目

既習外国語必修8単位（卒業要件）のうち、6単位以上を「上級英語」に振り替えて履修し、修得すること。全8単位を「上級英語」に振り替えることもできる。

（2）和泉キャンパス開講の英語による講義科目

2年次終了までに2単位以上を修得すること。卒業要件に含めることができる。

<科目の例>

- 「Essentials of Commerce A」（2単位）春学期
- 「Essentials of Commerce B」（2単位）秋学期
- 他学部開講の英語による授業科目（商学部が定める「他学部履修」のルールにもとづく）

注意：学部間共通外国語科目の各講義は上記科目には該当しない。

(3) 海外研修、夏期集中講座等

次のプログラムから1つ以上に参加し、修了証もしくは修得単位を提示できること。

- ① 商学部開講「特別テーマ海外研修科目」(和泉開講)(2単位)(注1参照)
- ② 学部間共通外国語 集中講座(夏期・春期)(注2参照)
 - 夏期集中講座「英会話」「ドイツ語会話」「フランス語会話」「中国語会話」(夏季休業期間中、学内で実施)。※「英会話」以外も可。
 - 春期集中講座「英会話」(春季休業期間中、国内で実施)

(参考資料・ウェブサイト等)

- 冊子『2025年度学部間共通外国語シラバス』
 - <https://www.meiji.ac.jp/edu/foreign/index.html>
- ③ 国際教育センター主催の短期留学プログラムの内、次の研修・プログラム(注1参照)
 - 短期海外研修(春期:英語、スペイン語、中国語)※英語以外も可。
 - 短期海外研修(夏期:英語、ドイツ語、フランス語)※英語以外も可。
 - グローバル人材育成プログラム(海外実習・短期海外実習)(注3参照)

(参考資料・ウェブサイト等)

- 冊子『海外留学の手引き2025』
- <https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalcareer.html>

(注1) 卒業要件に含めることができる。

(注2) 学部間共通外国語科目で1年生から3年生までの間に履修・修得した単位は、合計で4単位までをフリーゾーンの単位として卒業に必要な単位数に含めることができる。希望する場合は、4年次に商学部事務室窓口で所定の手続きを取る。手続きの詳細は学部掲示板およびOh-o! Meijiポータルページで通知する。(2018年度から2022年度入学者まで適用)

(注3) グローバル人材育成プログラムの単位取扱いはP47・48を参照のこと。

3 申請方法

- (1) 3年進級時に商学部事務室より案内するOh-o! Meijiを通じて申請フォームを取得する。
- (2) 必要単位が修得できていることを確認したうえで、申請フォームに回答する。提出期限等は、学部掲示板およびOh-o! Meijiポータルページで通知する。

Ⅲ 特色のある授業・学部間協定留学

1. 特別テーマ実践科目
2. 特別テーマ研究科目
3. 特別テーマ海外研修科目
4. 英語で行う科目
5. 商学部協定校への留学

1. 特別テーマ実践科目

課題発見・解決力、情報発信力を磨く

「特別テーマ実践科目」では、社会に実在するさまざまな課題を読み解き、その解決策を企画・実行する。そして、その成果をまとめ報告するという一連の実践的な課題解決プロセスを、地域や企業など学外との協力関係を活用しながら経験する。課題発見力、企画構想力、課題解決力、情報発信力といった社会で実際に求められている能力の養成を目指す商学部の正課科目である。

■履修申込方法

特別テーマ実践科目の履修を希望する場合には、春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の初回授業へ出席すること。初回授業で科目担当教員が履修者を選考し、決定する。初回授業に参加できない場合には履修は認められない。なお、初回授業には必ず学生証を持参すること。担当教員から名簿に学生番号・年・組・番号・氏名を記入するように指示を受けたら、学生証を提示してから記入すること。

特別テーマ実践科目の初回授業開講期間 ◆4月10日（木）～4月16日（水）

■履修申し込みにあたっての注意事項

- ① 一部の科目では、秋学期も含めて、春学期の初回授業で履修者を選考し、決定する場合がある。
各科目のシラバス内容をよく確認すること。
- ② 本科目と同じ曜日・時限に必修科目や事前抽選科目を履修登録している場合は、履修は認められない。よく確認した上で初回授業へ出席すること。

■科目の取り方について

- ① 特別テーマ実践科目 A・B は和泉、C・D は駿河台キャンパス開講。また、A・C は春学期、B・D は秋学期の開講を意味している。
- ② 在学中、特別テーマ実践科目 A～D の各科目は 2 回までしか履修することはできない。
- ③ 同一教員による同一テーマの科目の単位は在学中に 1 回のみ修得できる。

※2025年度履修登録から「年度内に各科目 1 回のみ履修できる」というルールは廃止する。

2025年度特別テーマ実践科目開講一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	A	野田 顕彦	Rによるデータサイエンス入門 1	月	2
	A	ハディ ハーニ	イスラーム世界実践探求 I	月	3
	A	洞口 拓磨	科学の教科書を精読する 1	月	5
	A	高野 公三子	ファッションから考える～＜定点観測＞の理論と実践 I：下北・吉祥寺のファッションから考える	水	2
	A	中山 千尋	グローバルキャリアデザイン	木	3
	A	若林 幸男	地元商店街との相互コミュニケーションの促進A	金	5
秋学期	B	野田 顕彦	Rによるデータサイエンス入門 2	月	2
	B	ハディ ハーニ	イスラーム世界実践探求 II	月	3
	B	洞口 拓磨	科学の教科書を精読する 2	月	5
	B	高野 公三子	ファッションから考える～＜定点観測＞の理論と実践 II：渋谷のファッションから考える	水	2
	B	中山 千尋	変革するビジネス	木	3
	B	中山 千尋	ニューノーマル下のビジネス	木	4
	B	中川 秀一	フィールドワーク調査法	木	5
	B	若林 幸男	地元商店街との相互コミュニケーションの促進B	金	5

■駿河台キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	C	中川 秀一	地域アーカイブスの整理と作成 埼玉県小鹿野町	水	5
	C	高野 公三子	都市文化とファッションの関係 I：都市のカルチュラルナラティブ	金	2
	C	東野 香代子	広報活動によるブランディングと取材の基本	木	2
	C	松尾 隆策	地域振興と観光まちづくり・基礎編	金	2
	C	樋渡 雅幸	コンサルティング実践（課題抽出フェーズ）	金	5
	C	村田 潔・久米 信行	起業家の課題解決アクティブラーニング	金	5
秋学期	D	中山 千尋	転換期のビジネス	月	2
	D	所 康弘	SDGs映画祭	月	5
	D	松尾 隆策	南房総市における地域活性化の取り組み	月	4
	D	高野 公三子	都市文化とファッションの関係 II：商業施設から考える	金	2
	D	東野 香代子	広報活動によるブランディングと取材の基本	木	2
	D	中林 真理子	ラテンアメリカ異文化交流プログラム 展開編	木	3
	D	松尾 隆策	地域振興と観光まちづくり・応用編	金	2
	D	村田 潔・久米 信行	NPOの課題解決アクティブビジネスラーニング	金	4
	D	樋渡 雅幸	コンサルティング実践（戦略立案フェーズ）	金	5

2. 特別テーマ研究科目

商学部の教員から最新の研究成果を学ぼう

商学部では専任の教員を中心とした多くの研究グループが、各学問領域の先端的なテーマで共同研究を展開している。これらの研究成果を商学部生に分かりやすく説明する授業が「特別テーマ研究科目」である。授業は商学部教員がコーディネータとなって実施される。主にコーディネータの教員が講義を担当する科目と、複数の講師でリレー式に行われる科目がある。「特別テーマ研究科目」は、理論的な研究成果を基に講義が行われるものから、実際の企業活動を題材にした研究成果を講義内容とするものまで、多様なテーマがそろっている。積極的に履修し、力を伸ばしてほしい。

■履修申込方法

- ① 特別テーマ研究科目は事前の履修申し込みは不要。
- ② 履修を希望する場合は、通常の履修登録期間【4/12～4/14】に自分で登録すること。

■科目の取り方について

- ① 特別テーマ研究科目A・Bは和泉、C・Dは駿河台キャンパス開講。また、A・Cは春学期、B・Dは秋学期、Eは集中の開講を意味する。
- ② 在学中、特別テーマ研究科目A～Dの各科目は2回までしか履修することはできない。
- ③ 同一教員による同一テーマの科目の単位は在学中に1回のみ修得できる。

※2025年度履修登録から「年度内に各科目1回のみ履修できる」というルールは廃止する。

特別テーマ研究科目一覧表

■和泉キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	A	ハディ ハーニ	イスラーム概論：教養としてのイスラームの文化・社会・歴史Ⅰ	月	2
	A	松尾 隆策	社会調査法A	月	3
	A	竹村 正明	マーケティング総論A	火	1
	A	高野 公三子	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズⅠ	水	3
	A	所 康弘	ラテンアメリカン・スタディーズ入門Ⅰ	木	3
	A	東野 香代子	海外ラグジュアリーブランドの広報活動	木	3
	A	井関 睦美	コンタクト・ゾーンと物質文化Ⅰ	木	3
	A	洞口 拓磨	科学的リテラシー：放射線編〔M〕	※	※
	A	洞口 拓磨	災害と情報科学：災害を理解する〔M〕	※	※
秋学期	B	ハディ ハーニ	イスラーム概論：教養としてのイスラームの文化・社会・歴史Ⅱ	月	2
	B	竹村 正明	マーケティング総論B	火	1
	B	高野 公三子	ファッション文化論～東京ファッションスタディーズⅡ	水	3
	B	所 康弘	ラテンアメリカン・スタディーズ入門Ⅱ	木	3
	B	東野 香代子	海外ラグジュアリーブランドの広報活動	木	3
	B	井関 睦美	コンタクト・ゾーンと物質文化Ⅱ	木	3
	B	松尾 隆策	社会調査法B	金	3
	B	佐々木 美加	司法・犯罪心理学を識る〔M〕	※	※
	B	洞口 拓磨	科学的リテラシー：電磁波編〔M〕	※	※
	B	洞口 拓磨	災害と情報科学：災害と対峙する〔M〕	※	※

■駿河台キャンパス

開講学期	科目名	担当教員	テーマ	曜日	時限
春学期	C	姚 俊	Fundamentals of Accounting	火	6
	C	ハディ ハーニ	中東国際政治概論：パレスチナ問題と世界	金	2
	C	洞口 拓磨	数理モデル入門1：現象のモデル化〔M〕	※	※
秋学期	D	ハディ ハーニ	世界教養としての基本アラビア語	金	2
	D	洞口 拓磨	数理モデル入門2：数理モデルの解析〔M〕	※	※

※フルオンデマンド型のメディア授業科目です。他の科目との曜日時限の重複は発生しません。

3. 特別テーマ海外研修科目

商学部独自の海外研修科目でグローバルな視野を広げよう

商学部では近年「商学のグローバル展開」に力を入れている。海外協定校との連携を深め、商学部生の短期海外留学を積極的に促進している。

特別テーマ海外研修科目は半期14回の授業に相当し、留学先の研修プログラムに加え、留学前の準備学習と、留学後の成果報告会での発表を経て、2単位を修得することができる。

科目により研修内容は異なる。ビジネスの世界で通用する実践的な英語力を身につけたい、あるいは、ファッションの本場でブランド・マネジメントに必要な専門知識を得たい等、海外で様々な人と交流し、多様な文化に触れたい学生はぜひ履修してほしい。

■履修申込方法

- ① 履修制限単位数を超えて履修できる。
- ② 履修登録方法、募集要項等の詳細は確定次第、Oh-o! Meiji 等で通知する。

和泉キャンパス

No.	科目名	コーディネータ	テーマ	研修先	研修期間 (予定)
1	B	東野香代子	フレンチファッション・プログラム	モデル・インターナショナル学院 (フランス)	2026年 2月中旬～下旬 約2週間
2	B	ジェームズ・ アンドリュース	The World of Australian Wine (WAW)	カーティン大学 (西オーストラリア)	2026年 2月下旬～3月上旬 約3週間

研修先での授業例

○フレンチファッション・プログラム

フランス、パリでのラグジュアリーに特化した研修。「ファッションとメディア」「オートクチュールとデザイナー」「ファッションショウの企画・制作」「ビジュアル・マーチャンダイジング」「フランスの香水産業」など、ブランド・マネジメントやマーケティングに必要となるファッションビジネスの理論や実務に関する講義を午前中に英語で実施。午後からはブランド本店や工房、文化財団の見学などのフィールドワーク。

○The World of Australian Wine

オーストラリア西海岸の町、パースにあるカーティン大学でワインの製造やワイナリーのブランド戦略などを切り口に、ビジネスを学ぶことができる明大生のための研修プログラムである。スワン・バレー地域にあるワイナリーを見学し、テーマとなるワインのロゴデザインやポスターの制作も行う。英語はもちろんのこと、ワインのテイस्टイングの作法や原料となるブドウの品種に至るまで、深い教養と実践的なスキルを身につけることができる。

4. 英語で行う科目

《英語》で商学部科目を学ぶ

《英語で授業を行う科目》を卒業要件に含めることが可能である。

専門知識と教養を深めながら、英語力を高めることができる。積極的な受講が、あなたの自信につながる。

英語力を高めたい学生へ

まずは講義を聞いてみて欲しい。リスニングの力を高めるには、とにかく「聞く」量をふやすこと、そして、教科書や関連図書を多く読むこと。

留学を目指している学生へ

専門分野の語彙を増やそう。《英語で授業を行う科目》にチャレンジしてみよう。講義の中で使われる単語は、専門分野の学習に不可欠だ。

●受講方法は簡単

- ① このページで、商学部生が履修できる《英語で授業を行う科目》を確認。
- ② 商学部の「時間割」（和泉・駿河台）で開講時限・曜日・教室を確認。
- ③ 期日を守って各自で履修登録。

「他学部履修」でも《英語による科目》を履修できます。

「他学部履修」を使用して英語授業を履修することもできる。商学部では、4年間で最大20単位まで他学部履修を認めている。他学部履修が可能な科目にも、英語授業があるため、ぜひチャレンジしてみしてほしい。希望者は、各学部シラバスで確認すること。

◆和泉キャンパス

開講期	科目名	担当者	曜日	時限
春学期	Essentials of Commerce A	中山 千尋	木	2
秋学期	Essentials of Commerce B	中山 千尋	木	2

◆駿河台キャンパス

開講期	科目名	担当者	曜日	時限
春学期	経営戦略論 A	近藤 光	月	5
	国際経営論 A	鷺見 淳	月	3
	特別テーマ研究科目 C (Fundamentals of Accounting) ※	姚 俊	火	6
	Applied of Commerce A	臼井 哲也	水	2
	国際会計論 A	山本 昌弘	金	1
	異文化間コミュニケーション論	加藤 健太	金	4
秋学期	経営戦略論 B	近藤 光	月	5
	国際経営論 B	鷺見 淳	月	3
	Applied of Commerce B	臼井 哲也	水	2

※グローバル・ビジネス研究科との相乗り科目。6限は18：55～20：25までの90分。授業回数は全15回。

5. 商学部協定校への留学

商学部では、学部生の海外派遣を積極的に行っている。商学部が独自に学生交流を行っている海外の協定校は以下の通り。学部間協定校留学制度を活用し、海外留学に挑戦してみたい。

■協定留学とは

留学先大学（明治大学の協定校）で開講される正規授業を履修し、半年間、もしくは1年間留学する中長期留学制度を協定留学という。協定留学は主に以下3種類がある。

・学部間協定留学

商学部独自の協定を結んでいる大学に留学をする制度

・大学間協定留学

明治大学で協定を結んでいる大学に留学をする制度

・認定留学

自身で正規課程を履修できる留学先の大学（高等教育機関）を選んで出願し、学部に認定留学を承認された上で留学する制度

■学部間協定留学のメリット

- ・商学部生のみを対象に募集・選考を行う為、学部生により多く留学の機会を提供できる。
- ・派遣先大学で修得した単位は、帰国後、商学部の単位として認定することができる。
- ・非英語圏の大学であっても英語による授業を履修し、同時に現地語を修得することができる。
- ・JASSO奨学金も学部間協定枠として確保しているため、奨学金ありで留学しやすい。

■留学をするために準備すること

- ・応募要項及び必要書類は商学部HPに掲載する。希望者は必ず募集要項を確認すること。
- ・出願のために、資格試験の語学要件を取得する必要がある。希望する協定校の語学要件を確認し、早めに語学勉強に励むこと。語学検定について一部検定補助があるので、そちらも確認すること。
(<https://www.meiji.ac.jp/shogaku/kentei.html>)
- ・JASSO奨学金は、JASSOが定めるGPA要件の基準を満たした者のみ申請ができるため、優秀な成績を目指すこと。
- ・留学に行きたい時期や期間を早めに計画し、計画的に履修登録をすること。
- ・各大学の所在地や特色については、商学部HPや各協定校のHPを参照すること。
- ・大学の留学経費助成制度が利用できる。詳しくは国際連携・留学のHPを確認すること。

■協定留学参考情報

- ・単位認定手続きについて
単位認定の手続き方法について掲載している。
(<https://www.meiji.ac.jp/shogaku/exchange/studyabroadaccreditation.html>)
- ・大学間協定留学について
国際教育センターのHPを確認すること。
(<https://www.meiji.ac.jp/cip/from/index.html>)
- ・認定留学について
商学部HPを確認すること。
(<https://www.meiji.ac.jp/shogaku/exchange/shogakuninte.html>)
その他、留学報告書や単位認定実績等はガイダンスグループを確認すること。

■商学部の学部間協定校一覧

■レンヌ商科大学【フランス】 Rennes School of Business

出願条件	TOEFL iBT 79点以上、IELTS 5.5以上、TOEIC785点以上 フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者（※参照）
募集人数	5名前後
留学期間	半年間（例年9月～12月）、または1年間（例年9月～5月）
手続き	所定の留学志願書・誓約書・語学能力証明書・最新の成績通知書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付） 渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年8月～9月末頃
選考時期	例年10月下旬頃

■パリ商業高等大学マネジメント学部【フランス】 Institut Supérieur du Commerce Paris School of Management

出願条件	TOEFL iBT 79点以上、TOEFL IPT 543点以上、TOEIC 785点以上、IELTS 6.5以上 フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者（※参照）
募集人数	1～2名
留学期間	半年間（例年9月～12月）、または1年間（例年9月～5月）
手続き	所定の留学志願書・誓約書・語学能力証明書・最新の成績通知書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付） 渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年8月～9月末
選考時期	例年10月下旬頃

■ブレーメン経済工科大学【ドイツ】 Hochschule Bremen (HSB)

出願条件	TOEFL iBT 71点以上、IELTS5.5以上、英検準1級、TOEIC700点程度 ドイツ語による基本的なコミュニケーション能力を有すること（独検3級程度）（※参照）
募集人数	2名前後
留学期間	半年間（例年4月～8月／9月～3月）、または1年間（4月～3月／10月～8月）
手続き	所定の留学志願書・誓約書・語学能力証明書・最新の成績通知書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付） 渡航費・現地での生活費等は自己負担（ドイツ語学授業履修希望の場合は語学授業料のみ自己負担）
募集期間	例年8月～9月末頃
選考時期	例年10月下旬頃

■カーディフ大学・カーディフビジネススクール【イギリス】 Cardiff Business School, Cardiff University

出願条件	TOEFL iBT 60点以上、 IELTS: 6.0以上（Listening, Speaking, Reading, Writing各セッション5.5以上）（※参照）
募集人数	1～2名
留学期間	1年間（例年9月～6月）
手続き	所定の留学志願書・誓約書・語学能力証明書・最新の成績通知書を募集期間内に提出 提出書類審査及び面接による選考
費用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の授業料は納付） 渡航費・現地での生活費等は自己負担
募集期間	例年8月～9月末
選考時期	例年10月下旬頃

※昨年度派遣募集要項内容になります。年度によって出願条件、募集内容を変更することがありますのでHPやOh-ol Meijiにて必ず最新情報を確認してください。

Ⅳ 商学部カリキュラムマップ

商学部商学科カリキュラムマップ

商学部の具体的到達目標として、以下の目標を掲げています。そして、本学学則に定める期間に在学し、基礎教育科目、外国語科目、総合教育科目、保健体育科目、基本科目、基幹科目、演習科目などからなる所定の単位（126単位）を修得することにより、教育目標に到達したと認定し、学士（商学）を授与します。

■商学部商学科 学位授与方針（具体的到達目標）

- （1）商学部の専門知識と深い教養の知識を兼ね備えて、理論的思考で事象を考えることができる
- （2）外国語運用能力を備えた総合的な国際性、現代社会を理解する知識を身につける
- （3）商学の最先端分野に関する理論的・実証的研究の成果を習得する
- （4）「総合的市場科学」の視点より市場現象に関わる多様な課題を的確に分析し、それらを解決できる能力を有する
- （5）自ら主体的に学び、行動する積極性、様々な人々と協働できるチーム力及びコミュニケーション力で課題解決に取り組むことができる

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
基礎教育科目							
基礎演習	1	2	◎				○
文章表現	1	2	◎				○
経済学A・B	1	4	◎		○		
総合教育科目／文化と芸術							
日本文化史A	1・2	2	○				
日本文化史B	1・2	2	○				
西洋文化史A	1・2	2	○				
西洋文化史B	1・2	2	○				
日本語表現論A	1・2	2	○				
日本語表現論B	1・2	2	○				
日本近代文学A	1・2	2	○				
日本近代文学B	1・2	2	○				
日本古典文学A	1・2	2	○				
日本古典文学B	1・2	2	○				
宗教学A	1・2	2	○				
宗教学B	1・2	2	○				
外国文学（西洋）A	3・4	2	○				
外国文学（西洋）B	3・4	2	○				
外国文学（東洋）A	3・4	2	○				
外国文学（東洋）B	3・4	2	○				
芸術（音楽）A	3・4	2	○				
芸術（音楽）B	3・4	2	○				
芸術（美術）A	3・4	2	○				
芸術（美術）B	3・4	2	○				
総合教育科目／地域と社会							
法学A	1・2	2	○				
法学B	1・2	2	○				
アジア史A	1・2	2	○				
アジア史B	1・2	2	○				
地理学A	1・2	2	○				
地理学B	1・2	2	○				
社会学A	1・2	2	○				
社会学B	1・2	2	○				
社会思想史A	1・2	2	○				
社会思想史B	1・2	2	○				
日本思想史A	3・4	2	○				
日本思想史B	3・4	2	○				
政治学A	3・4	2	○				
政治学B	3・4	2	○				
人類学A	3・4	2	○				
人類学B	3・4	2	○				
総合教育科目／人間と自然							
哲学A	1・2	2	○				
哲学B	1・2	2	○				
自然科学概論A	1・2	2	○				
自然科学概論B	1・2	2	○				
生命科学A	1・2	2	○				
生命科学B	1・2	2	○				
線型数学A	1・2	2	○				
線型数学B	1・2	2	○				
解析数学A	1・2	2	○				
解析数学B	1・2	2	○				
物理学A	3・4	2	○				
物理学B	3・4	2	○				
化学A	1・2	2	○				
化学B	1・2	2	○				
言語学A	1・2	2	○				
言語学B	1・2	2	○				
論理学A	1・2	2	○				
論理学B	1・2	2	○				
心理学A	1・2	2	○				
心理学B	1・2	2	○				
環境科学A	3・4	2	○				
環境科学B	3・4	2	○				
外国人留学生のための科目							
日本事情A	1・2	2	○				
日本事情B	1・2	2	○				
日本事情C	1・2	2	○				

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
日本事情 D	1・2	2	○				
日本事情 E	1・2	2	○				
日本事情 F	1・2	2	○				
総合学際演習							
総合学際演習	2～4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)A	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)B	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)C	3・4	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(総合教育科目)D	3・4	2	○	○			◎
卒論指導科目A	3	2	○	○			◎
卒論指導科目B	3	2	○	○			◎
特別認定科目(総合教育科目)	1～4	2	○	○			◎
外国語科目							
既習外国語							
口語英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
口語英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅰ	1・2	1		◎			○
英語講読Ⅱ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
基礎英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中基礎英語	1・2	2		◎			○
上級英語Ⅰ	1・2	1		◎			○
上級英語Ⅱ	1・2	1		◎			○
集中上級英語	1・2	2		◎			○
発展英語	3・4	1		◎			○
初習外国語							
初級ドイツ語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ドイツ語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ドイツ語Ⅳ	2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別ドイツ語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級フランス語Ⅰ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅱ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅲ	1	1		◎			○
初級フランス語Ⅳ	1	1		◎			○
中級フランス語Ⅰ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅱ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅲ	2	1		◎			○
中級フランス語Ⅳ	2	1		◎			○
特別フランス語Ⅰ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅱ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅲ	1・2	1		◎			○
特別フランス語Ⅳ	1・2	1		◎			○
初級中国語Ⅰ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級中国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級中国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅲ	2	1		◎			○
中級中国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級韓国語Ⅰ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅱ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅲ	1	1		◎			○
初級韓国語Ⅳ	1	1		◎			○
中級韓国語Ⅰ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅱ	2	1		◎			○
中級韓国語Ⅲ	2	1		◎			○

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
中級韓国語Ⅳ	2	1		◎			○
初級スペイン語Ⅰ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅱ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅲ	1	1		◎			○
初級スペイン語Ⅳ	1	1		◎			○
中級スペイン語Ⅰ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅱ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅲ	2	1		◎			○
中級スペイン語Ⅳ	2	1		◎			○
初級ロシア語Ⅰ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅱ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅲ	1	1		◎			○
初級ロシア語Ⅳ	1	1		◎			○
中級ロシア語Ⅰ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅱ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅲ	2	1		◎			○
中級ロシア語Ⅳ	2	1		◎			○
日本語（１年）Ⅰ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅱ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅲ	1	1		◎			○
日本語（１年）Ⅳ	1	1		◎			○
日本語（２年）Ⅰ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅱ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅲ	2	1		◎			○
日本語（２年）Ⅳ	2	1		◎			○
初級ドイツ語プラスワン	1	1		◎			○
初級フランス語プラスワン	1	1		◎			○
初級中国語プラスワン	1	1		◎			○
初級韓国語プラスワン	1	1		◎			○
初級スペイン語プラスワン	1	1		◎			○
中級ドイツ語プラスワン	2	1		◎			○
中級フランス語プラスワン	2	1		◎			○
中級中国語プラスワン	2	1		◎			○
中級韓国語プラスワン	2	1		◎			○
中級スペイン語プラスワン	2	1		◎			○
上級ドイツ語	3・4	1		◎			○
上級フランス語	3・4	1		◎			○
上級中国語	3・4	1		◎			○
上級韓国語	3・4	1		◎			○
上級スペイン語	3・4	1		◎			○
発展ドイツ語	3・4	1		◎			○
発展フランス語	3・4	1		◎			○
発展中国語	3・4	1		◎			○
発展韓国語	3・4	1		◎			○
発展スペイン語	3・4	1		◎			○
保健体育科目							
体育・スポーツ実習Ａ	1	1					◎
体育・スポーツ実習Ｂ	1	1					◎
選択スポーツ実習	2	1					○
選択集中スポーツ実習	2～4	1					○
スポーツとグローバリゼーション	1・2	2	◎	○			
スポーツと健康	1・2	2	◎				
基本科目							
ミクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
マクロ経済学	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
理論経済学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
経済史Ａ	1・2	2	○	○	◎	○	
経済史Ｂ	1・2	2	○	○	◎	○	
商業総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
商業総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
経営学総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
簿記学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
簿記学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
会計学総論Ａ	1・2	2	○		◎	○	
会計学総論Ｂ	1・2	2	○		◎	○	
統計学Ａ	1・2	2	○		◎	○	
統計学Ｂ	1・2	2	○		◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
金融総論A	1・2	2	○		◎	○	
金融総論B	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論A	1・2	2	○		◎	○	
貿易総論B	1・2	2	○		◎	○	
ビジネス・インサイト	1	2	○		◎	○	
商学入門	1	2	○		◎	○	
商学研究入門	1・2	2	○		◎	○	
Essentials of Commerce A	1～4	2	○	○	◎	○	
Essentials of Commerce B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ演習科目(基本科目)A	2	2	○	○			◎
特別テーマ演習科目(基本科目)B	2	2	○	○			◎
特別認定科目(基本科目)	1～4	2	○	○			◎
商学専門演習(2年)	2	2	○		○	◎	○
基幹科目							
経済政策論A	3・4	2	○		◎	○	
経済政策論B	3・4	2	○		◎	○	
公共経済学	3・4	2	○		◎	○	
財政学	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論A	3・4	2	○		◎	○	
中小企業論B	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論A	3・4	2	○		◎	○	
産業組織論B	3・4	2	○		◎	○	
地域経済論A	3・4	2	○		◎	○	
地域経済論B	3・4	2	○		◎	○	
国際経済学A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経済学B	3・4	2	○	○	◎	○	
日本経済論A	3・4	2	○		◎	○	
日本経済論B	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学A	3・4	2	○		◎	○	
環境経済学B	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学A	3・4	2	○		◎	○	
計量経済学B	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論A	3・4	2	○		◎	○	
商業経営論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング管理論B	3・4	2	○		◎	○	
市場調査論A	3・4	2	○		◎	○	
市場調査論B	3・4	2	○		◎	○	
広告論A	3・4	2	○		◎	○	
広告論B	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
インダストリアルマーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
商品学A	3・4	2	○		◎	○	
商品学B	3・4	2	○		◎	○	
流通史A	3・4	2	○		◎	○	
流通史B	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論A	3・4	2	○		◎	○	
消費者行動論B	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論A	3・4	2	○		◎	○	
流通システム論B	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画A	3・4	2	○		◎	○	
マーケティング企画B	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
競争戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
交通論A	3・4	2	○		◎	○	
交通論B	3・4	2	○		◎	○	
物の流通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
物の流通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際交通論B	3・4	2	○	○	◎	○	
都市・地域交通論A	3・4	2	○		◎	○	
都市・地域交通論B	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論A	3・4	2	○		◎	○	
公益事業論B	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論A	3・4	2	○		◎	○	
観光事業論B	3・4	2	○		◎	○	
金融論A	3・4	2	○		◎	○	
金融論B	3・4	2	○		◎	○	
コーポレート・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コーポレート・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論A	3・4	2	○		◎	○	
金融機関論B	3・4	2	○		◎	○	
国際金融論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際金融論B	3・4	2	○	○	◎	○	
金融取引論A	3・4	2	○		◎	○	
金融取引論B	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論A	3・4	2	○		◎	○	
証券市場論B	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論A	3・4	2	○		◎	○	
機関投資家論B	3・4	2	○		◎	○	
保険学A	3・4	2	○		◎	○	
保険学B	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論A	3・4	2	○		◎	○	
損害保険論B	3・4	2	○		◎	○	
生命保険論	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論A	3・4	2	○		◎	○	
社会保障論B	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論A	3・4	2	○		◎	○	
保険リスクマネジメント論B	3・4	2	○		◎	○	
貿易論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易論B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際マーケティング論B	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易商務論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易商務論B	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易政策論A	3・4	2	○	○	◎	○	
貿易政策論B	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語A	3・4	2	○	○	◎	○	
バーバル・ビジネス英語B	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際ビジネス交渉論B	3・4	2	○	○	◎	○	
北米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
欧州地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
中南米地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
アジア・太平洋地域市場論	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論A	3・4	2	○	○	◎	○	
世界経済論B	3・4	2	○	○	◎	○	
経営戦略論A	3・4	2	○		◎	○	
経営戦略論B	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論A	3・4	2	○		◎	○	
生産管理論B	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論A	3・4	2	○		◎	○	
情報管理論B	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論A	3・4	2	○		◎	○	
経営情報システム論B	3・4	2	○		◎	○	
経営組織論	3・4	2	○		◎	○	
経営労務論	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論A	3・4	2	○		◎	○	
労使関係論B	3・4	2	○		◎	○	
経営管理論	3・4	2	○		◎	○	
産業心理学	3・4	2	○		◎	○	
経営哲学	3・4	2	○		◎	○	
経営倫理	3・4	2	○		◎	○	
企業論	3・4	2	○		◎	○	
日本経営史	3・4	2	○		◎	○	
国際経営論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際経営論B	3・4	2	○	○	◎	○	
財務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
財務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論A	3・4	2	○		◎	○	
原価計算論B	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論A	3・4	2	○		◎	○	
意思決定会計論B	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論A	3・4	2	○		◎	○	
業績管理会計論B	3・4	2	○		◎	○	
監査論A	3・4	2	○		◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
監査論B	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論A	3・4	2	○		◎	○	
経営分析論B	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論A	3・4	2	○		◎	○	
税務会計論B	3・4	2	○		◎	○	
国際会計論A	3・4	2	○	○	◎	○	
国際会計論B	3・4	2	○	○	◎	○	
会計情報論A	3・4	2	○		◎	○	
会計情報論B	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論A	3・4	2	○		◎	○	
企業評価論B	3・4	2	○		◎	○	
企業法A	3・4	2	○		◎	○	
企業法B	3・4	2	○		◎	○	
租税法A	3・4	2	○		◎	○	
租税法B	3・4	2	○		◎	○	
異文化間コミュニケーション論	3・4	2	○	○	◎	○	
バイオテクノロジーとバイオビジネス	3・4	2	○		◎	○	
企業と倫理A	3・4	2	○		◎	○	
企業と倫理B	3・4	2	○		◎	○	
企業と環境問題	3・4	2	○		◎	○	
メディアとリテラシー	3・4	2	○		◎	○	
中国政治経済論	3・4	2	○	○	◎	○	
東南アジア政治経済論	3・4	2	○	○	◎	○	
スポーツビジネス論	3・4	2	○		◎	○	
レジャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
産業立地論	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門A	3・4	2	○		◎	○	
経済予測入門B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスA	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャー・ファイナンスB	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスA	3・4	2	○		◎	○	
e-ビジネスB	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務A	3・4	2	○		◎	○	
ビジネス法務B	3・4	2	○		◎	○	
ベンチャービジネス論	3・4	2	○		◎	○	
実践会計論A	3・4	2	○		◎	○	
実践会計論B	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論A	3・4	2	○		◎	○	
クリエイティブ・マーケティング論B	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論A	3・4	2	○		◎	○	
ファッション・ビジネス論B	3・4	2	○		◎	○	
特別認定科目(基幹科目)	1～4	4	○	○	◎	○	
基幹英語科目							
外国専門書講読	3	4	○	○	◎	○	
Applied Commerce A	3・4	2	○	○	◎	○	
Applied Commerce B	3・4	2	○	○	◎	○	
特別認定科目(基幹英語科目)	1～4	4	○	○	◎	○	
商学専門演習							
商学専門演習(3年)	3	2	○		○	◎	○
商学専門演習(4年)	4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)C	3・4	2	○		○	◎	○
特別テーマ演習科目(基幹科目)D	3・4	2	○		○	◎	○
卒論指導科目C	3	2	○		○	◎	○
卒論指導科目D	3	2	○		○	◎	○
応用展開科目							
総合講座A	1～4	2	○		◎	○	
総合講座B	1～4	2	○		◎	○	
総合講座C	1～4	2	○		◎	○	
総合講座D	1～4	2	○		◎	○	
文化と芸術特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
地域と社会特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
人間と自然特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義A	3・4	2	○		◎	○	
外国文化・言語特殊講義B	3・4	2	○		◎	○	
スポーツ科学特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
商業特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
交通特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
金融・証券特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
保険特殊講義	3・4	2	○		◎	○	

科目区分／科目名称	配当学年	単位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
貿易特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
経営特殊講義	3・4	2	○		◎	○	
会計特殊講義A	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義B	1・2	2	○		◎	○	
会計特殊講義C	3・4	2	○		◎	○	
ジョブ・インターンシップ	3	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目C	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ実践科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目A	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目B	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目C	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目D	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目E	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ研究科目F	1～4	2	○		◎	○	
特別テーマ海外研修科目A	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目B	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目C	1～4	2	○	○	◎	○	
特別テーマ海外研修科目D	1～4	2	○	○	◎	○	
地域活性化システム論A	1～4	2	○		◎	○	
地域活性化システム論B	1～4	2	○		◎	○	
その他	1～4	各2	○		○		
資格課程関係科目群	1～4	各2	○				
学部間共通外国語科目群※	1～4	各2		◎			○
グローバル人材育成プログラム群	1～4	各2		◎			
大学院商学研究科設置科目群※	4	各2			◎		
専門職大学院会計専門職研究科設置科目群※	4	各2			◎		

※卒業要件外

2025年4月1日 印刷・発行

発行所 明治大学商学部
駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台1-1
電 話 03-3296-4160～4161

和泉キャンパス

東京都杉並区永福1-9-1
電 話 03-5300-1142

印刷所 株式会社気生堂印刷所

東京都大田区大森西4-6-13
電 話 03-3766-1976

本書は再生紙を利用しております

年度入学	学生番号	番
商学部	商 学科	
	年 組	番
氏 名		

(駿河台キャンパス) 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1 - 1
明治大学 商学部事務室
電話 03-3296-4160～4161

(和泉キャンパス) 〒168-8555 東京都杉並区永福 1 - 9 - 1
明治大学 和泉商学部事務室
電話 03-5300-1142